

身近な生きものの生息状況調査報告書

平成24年3月

武蔵野市

はじめに

環境を構成する要素として、大気、水、土、気候、食、住まい、文化財、地域コミュニティなどが考えられ、生きものもそれらの一つに挙げられます。生きものと生きものの相互の関係を表す言葉として、「生物多様性」という言葉があり、近年、関心が高まっています。平成 22 年度には、名古屋で生物多様性条約第 10 回締結国会議（COP10）が開催され、重要性が再認識されつつあります。生物多様性は、都市にとって無関係と思われがちですが、都市生活は、衣食住、医薬品、科学技術等のあらゆる場面において、生物多様性の恵みに支えられています。また、生物多様性というと「みどり」を想像されると思いますが、みどりが都市生活にうるおいをもたらすことを考えても、都市において生活の質を向上させる要素であることがわかります。

市内生物に関する過去のデータを含めた実態、また、種の多様性を究明するものとしては、平成 12 年度に、武蔵野市生物生息状況調査を実施しています。今回、平成 12 年度に実施した生物生息状況調査から 10 年ぶりに市内の生きもの調査を実施いたしました。今回の調査では、市民のみなさんにとって、身近な生きものの調査となるよう、まず生きものの目撃情報を募集し、専門家の方の意見を伺いながら、武蔵野市で調査すべき 66 種を選定、その 66 種を中心に調査を行いました。また、市民の皆さんに身近な生きものに目を向けていただく目的で、調査結果を反映した「武蔵野市生きものマップ」を作成いたしました。

本調査に、多くの市民のみなさんに協力いただいたことは、非常に大きな成果です。また、調査を踏まえ、第三期武蔵野市環境基本計画を策定、中期目標として、生物多様性に配慮した暮らしへの転換を、長期目標として、武蔵野市らしい自然の保全・創出を設定するに至りました。一方、調査対象は多岐にわたるため、今後も引き続きデータを積み重ねていくことがより効果的な活用につながると考えています。今後、市民のみなさんの積極的な活動により、本調査に沿ったモニタリング調査が進むことを期待しています。

おわりに、調査では、ご厚意により協力いただいた市民の調査協力員の皆様、お忙しい中にも関わらず協力いただいた専門家の専門調査員の皆様の多大なる努力により、データの収集を進めることができました。さらに、企画段階では、武蔵野市環境市民会議の田畑委員長、須田副委員長、梅田委員にご指導賜りました。また、生きもの目撃情報の募集から多くの市民のみなさんに関心をもってくださいました。ご協力いただいた市民の皆様ならびに関係各位に心からお礼を申し上げますとともに、なお一層のご指導ご協力をお願い申し上げます。

—目次—

1. 調査の概要	1
1) 目的	2
2) 内容	2
2. 調査対象種ごとの調査記録	7
・ 木本 (18 種)	10
・ 草本 (18 種)	54
・ ほ乳類 (3 種)	90
・ 鳥類 (10 種)	96
・ は虫類 (4 種)	122
・ 両生類 (2 種)	130
・ 魚貝類 (2 種)	134
・ 昆虫類 (7 種)	138
3. 考察	159
1) 調査結果について	160
2) 調査の企画・運営について	162
3) 生きものマップについて	164
4) 本調査データの活用方法について	164
5) 今後の生物生息状況調査への提言	165

— 資料 —

- 資料 1 環境区分図
- 資料 2 武蔵野市生物生息状況調査スタッフ
- 資料 3 調査対象種一覧
- 資料 4 対象種外リスト

1. 調査の概要

1. 調査の概要

1) 目的

武蔵野市では、平成 22 年度に第三期環境基本計画を策定するため、生物多様性の問題についても、どの生きものがどの場所に生息しているかの知見を経て、検討する必要があった。その基礎的な資料となるよう生物生息状況調査を、市民参加により実施することにした。あわせて、市民意識を高めるために環境学習のツールとして武蔵野市生きものマップを作成した。生物生息状況調査は親しみやすくする目的で、生きもの調査とも表現している。

生物生息状況調査は、単年度での調査となったため、方法や精度について、工夫はしたが、十分とは言えず、その課題は「3. 考察」で述べる。今回、市民参加の方法での調査や武蔵野市生きものマップにより、市民に生きものに目を向けてもらう意味もあった。また、調査の結果だけでなく、方法も含めた考察は、生物多様性の保全に対して、市がどのような施策や事業を実施するべきかの参考資料になると考えている。

2) 内容

平成 22 年度に生物生息状況調査を実施し、武蔵野市生きものマップを作成した。また、平成 21 年度に、生物生息状況調査を実施する下準備として、生きもの目撃情報を募集している。ここでは、平成 21 年度からの一連の調査等をまとめ、身近な生きもの生息状況調査とし、報告書にまとめる。なお、身近な生きもの生息状況調査は、生態系の基礎情報に関する把握や調査の企画・運営、武蔵野市生きものマップの作成に関して、株式会社タム地域環境研究所に事業を委託し実施してきた。

(1) 生きもの目撃情報の募集

平成 22 年 2 月 12 日から 3 月 3 日まで、市内の生きものの傾向を把握する目的や、市民に身近な生きものへの理解を深める目的で、平成 21 年 1 月から 1 年間に目撃した生きもの情報（10 種類）について募集した。

生きもの	目撃情報（件）	生きもの	目撃情報（件）
ヨモギ	28	ヒキガエル	39
タンポポ	49	トカゲ	37
エノキ	8	アオスジアゲハ	24
コウモリ	44	シオカラトンボ	12
ツバメ	30	ヒグラシ	31

(2) 生物生息状況調査（生きもの調査）

全4回の調査会と、調査員からの情報提供により、生息状況を把握した。

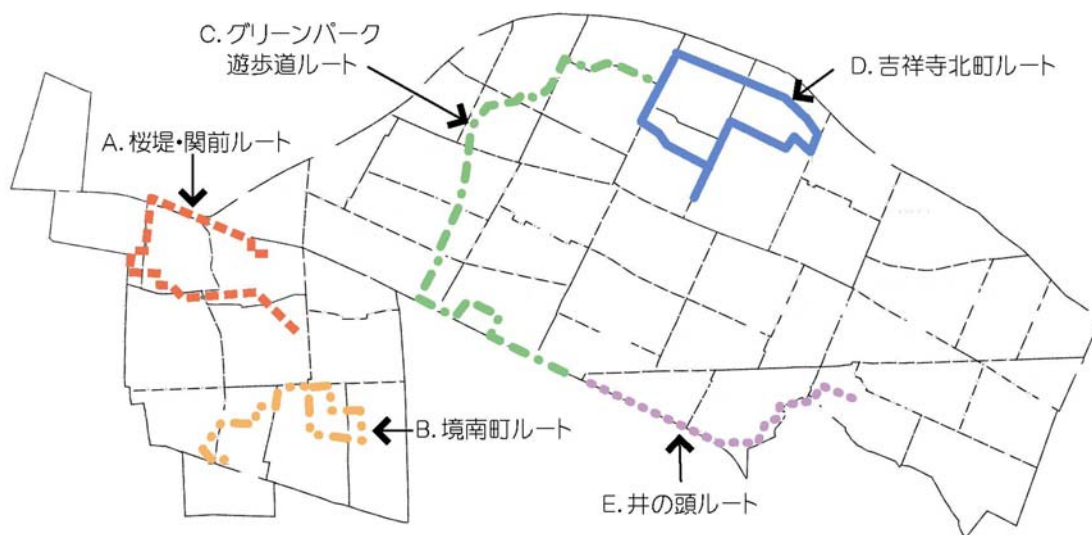
①調査会

調査会では、市内の5ルートに別れ、公募市民と専門家、市職員、委託先スタッフにより、調査対象種を中心に実踏で調査を実施した。また、専門家である専門調査員に、生きものやそれらが生息する環境についての解説・案内もしていただいた。調査会実施日は以下のとおりである。

	実施日	備考
第1回（春）	平成22年 5月 22日（土）	
第2回（夏）	平成22年 7月 19日（月・祝）	
第3回（秋）	平成22年 9月 25日（土）	悪天候のため中止
第4回（冬）	平成22年 11月 27日（土）	

②調査場所、調査会実施場所

生物生息状況調査は、市内全域を対象としたが、調査会では、以下のルートで調査を実施した。調査会以外には、ルートによらず市内全域での情報を収集した。



③調査員

・調査協力員

生きものに関心のある方を公募し、主に市民のみなさんに調査協力員として、調査に協力していただいた。調査協力員のみなさんには、全 4 回の調査会に参加していただくとともに、調査会以外でも生きものの生息状況の記録をしていただいた。

・専門調査員

動植物の生態に詳しいNPO法人武蔵野自然塾などの専門家に、専門調査員として、調査会で生きものの特徴や生きもの同士のつながり、生息環境などについての解説をしていただくなど、協力していただいた。

④調査対象

調査は、以下を選定基準とした 66 種の調査対象種を中心に実施した。

- ・武蔵野市らしい自然環境に生息する種
- ・武蔵野市において姿を消しつつある種
- ・同定しやすいと考えられる種

（詳細は、P.7以降の調査対象種ごとの調査記録及び巻末資料3を参照）

さらに、武蔵野市を特徴づける環境を、以下の9つに区分し、種の記録とともに、本調査においては可能な範囲で記録した。

- | | | |
|--------|-----|---------------|
| ・樹林 | ・並木 | ・大木・シンボリックツリー |
| ・生垣 | ・公園 | ・農地 |
| ・宅地・庭先 | ・水辺 | ・ビオトープ |

⑤調査の方法

以下のツールにより、知識の差があっても参加がしやすいよう工夫をするともに、記録すべき項目を明確にした。また、調査会以外でも記録が可能となるようにし、第1回調査会を実施した5月から1月中旬までのデータを収集した。

・観察の手引き



調査対象の生きものの写真を掲載し、生きものの特徴や観察時に気をつけることなど、ポイントを解説するために作成した。



・観察シート

調査会の調査ルートで見られた生きものについて記録するシート。

1面24種まで記入でき、裏表3枚とそれぞれのルート地図をつけて配布。調査会終了後に回収。



・観察記録ノート

調査協力員が、調査会以外の調査結果を記録するためのノート。記録は次の調査会に提出してもらう。

⑥調査の記録

以下の表のように、日時、天候、調査者（記録者）氏名、生きものの種、観察された場所（施設名など）、観察された場所の環境区分、観察された数や量、所在地（町丁目まで、番地・号は不要）を記録した。調査結果は、調査協力員による情報提供とともに、集計した。

日時	2010年5月29日(土)	天候	はれ	
調査者	武蔵野 花子			
種	場所	環境区分	数、量	所在地
コナラ	小金井公園	公園環境	10本	桜堤3
ツバメ	〃	〃	3羽	〃

（３）武蔵野市生きものマップの作成

①デザイン・構成

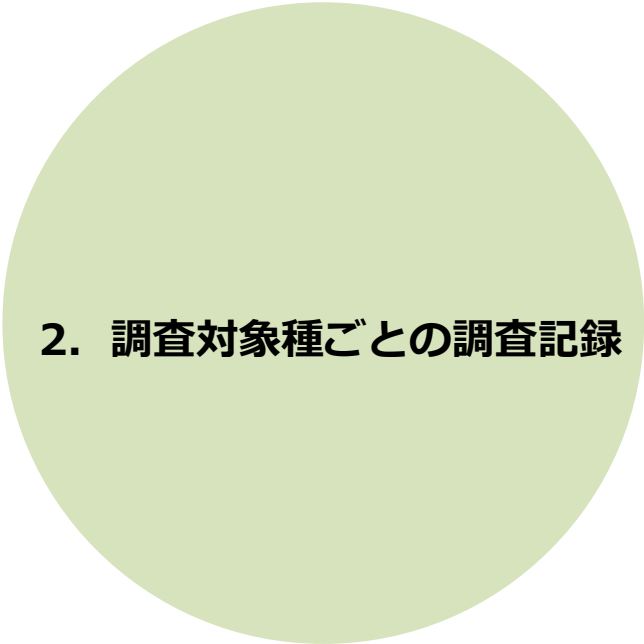
武蔵野市生きものマップ（A2 両面、カラー）は、平成 22 年度生物生息状況調査を踏まえて、デザイン方針を検討し、全体の構成を行った。マップを見ながら、身近な生きものを観察できるよう、また、過去の武蔵野市の様子についてもふれるなど、武蔵野市の環境に興味を持ってもらえるよう構成を検討した。

②原稿の作成

生物多様性についての解説、武蔵野市で見られる生きもの（生物生息状況調査で調査対象とした 66 種の解説）、特徴的なまちの環境（生物生息状況調査で設定した 9 つの環境区分の解説）、生きもの観察のポイント、環境区分図から構成される。地図の作成にあたっては、平成 21 年度「生態系基礎情報図作成委託」で作成したデータ、及び東京都都市計画地理情報システムデータをもとに加工した。生きものの写真については、NPO 法人武蔵野自然塾の提供によるものを中心に収集、整理し、加工した。

③配布

小中学校をはじめ、公共施設で配布した。



2. 調査対象種ごとの調査記録

2. 調査対象種ごとの調査記録

調査会（第1、2、4回）のデータ及び調査協力員により各調査会後に記録をとった観察記録ノートのデータ、専門調査員による荒天のため中止になった第3回調査会の補足データを調査対象種ごとに整理した。

1) 調査対象種の特徴

生息環境や形態、食性など、種の特徴を生態学的視点で解説した。種ごとの調査記録に記載している調査対象種の特徴は生物生息状況調査で参加者に配布した「観察の手引き」に掲載した内容と同じである。

2) 観察された環境区分

環境区分については、4ページのとおりであり、ここでは調査対象種が観察された場所の代表的な環境を示している。また、今回の調査では、町丁目単位でデータ整理を行ったため参考記録とする。

3) 観察記録

生物生息状況調査を通して、記録されたデータを一覧にしている。調査会で得られたデータには、記入者欄に観察された調査ルートをアルファベットで記載している（調査ルートについては3ページ参照）。調査会以外のデータには、記入者欄に調査協力員によるデータか専門調査員によるデータを記載している。

4) 確認された場所（町丁目ごと）

該当する生きものが観察された町丁目に、色を塗っている。内訳については、凡例の通りである。

no.	種名	分類	科・属
01	アカマツ	木本	マツ科マツ属

1. 調査対象種の特徴

尾根筋や岩山など土壌の痩せたところや乾燥地でもよく生える常緑高木で、二次林の構成樹種。日当たりが大好きな陽樹であり、他の樹木が茂って陰になると急速に衰弱する。樹皮が赤褐色であることが特徴。葉は2葉性で、雌雄同株。球果は翌年の秋に熟し、種鱗が開いて種子が飛び出る。クロマツに比べて葉先が痛くなく柔らかいので、雌松の別名がある。

門松は門から外に向って右側にクロマツ（雄松）、左側にアカマツ（雌松）を飾るのが正式と言われている。材は粘りがあり、梁をはじめ建築に使われる。また、薪として火力が強いため、製陶に使用される。マツタケ菌が共生していることで有名。近年、マツノマダラカミキリとマツノザイセンチュウによるマツ枯れが大きな問題になっている。マツの名前はマツが神の宿る依りしろとして、神が宿るのを待つという意味からつけられたとの説があるが、英名のpine にも、思いこがれる、切望するの意味がある。マツカレハの幼虫、スジコガネがよく見られる。

2. 観察された環境区分

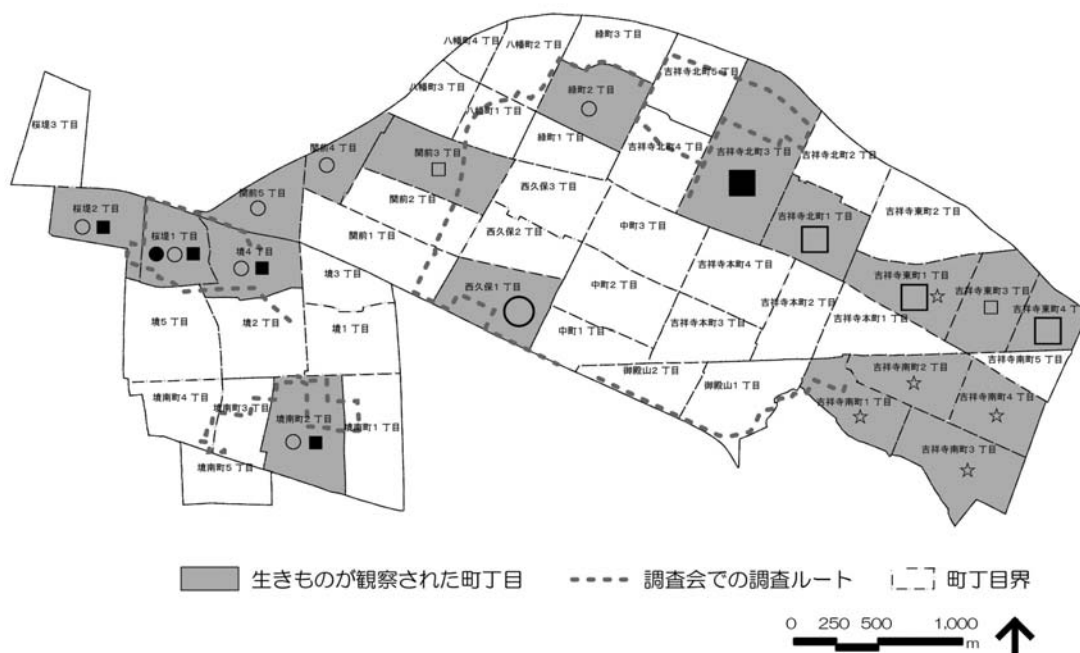
① 樹林環境	② 並木環境	③大木・ ツボ・リクツリ	④ 生垣環境	⑤ 公園環境	⑥ 農地環境	⑦ 宅地・庭先	⑧ 水辺環境	⑨ ビ・ホ-フ
●	●		●	●		●	●	●

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は 調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
5	22	晴	桜堤1丁目				●	●		●	●		1		●	A
5	22	晴	桜堤1丁目				●	●		●	●		3		●	A
5	22	晴	境4丁目		●						●		1			調査協力員
5	27	晴	境4丁目		●								1			調査協力員
5	30	晴	桜堤2丁目					●					1			調査協力員
5	22	晴	西久保1丁目					●					1			調査協力員
6	3	晴	関前5丁目					●					1			調査協力員
6	3	晴	関前4丁目		●								1			調査協力員
6	13	晴	緑町2丁目		●								1			調査協力員
6	20	曇	西久保1丁目		●								10			調査協力員
6	20	曇	西久保1丁目		●								1			調査協力員
7	11	晴	境南町2丁目									●	4			調査協力員
7	4	-	桜堤1丁目					●					1			調査協力員
7	15	晴	桜堤1丁目	●									1			調査協力員
9	21	晴	境南町2丁目	●				●			●		1			専門調査員
9	22	-	桜堤1丁目				●	●		●	●		1			専門調査員
9	22	-	桜堤2丁目	●				●					1			専門調査員
9	22	-	境4丁目	●				●					1			専門調査員
10	13	曇	吉祥寺北町3丁目					●					6	高木で遊具を囲む		専門調査員
10	13	曇	吉祥寺北町3丁目					●			●		8			専門調査員
10	9	曇	関前3丁目					●					1			調査協力員
10	16	晴	吉祥寺東町1丁目							●			1			調査協力員
11	15	曇	吉祥寺東町1丁目							●			4			調査協力員
11	16	晴	吉祥寺東町1丁目							●			4			調査協力員
11	16	晴	吉祥寺北町1丁目							●			15			調査協力員
11	17	雨	吉祥寺東町1丁目							●			1			調査協力員
11	17	雨	吉祥寺東町3丁目							●			4			調査協力員
11	17	雨	吉祥寺東町4丁目					●					10			調査協力員
11	17	雨	吉祥寺南町4丁目							●			3			調査協力員

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
11	28	晴	吉祥寺東町1丁目							●			1			調査協力員
1	10	晴	吉祥寺南町2丁目							●			2			調査協力員
1	10	晴	吉祥寺南町1丁目							●			2			調査協力員
1	12	晴	吉祥寺東町1丁目							●			1			調査協力員
1	12	晴	吉祥寺南町3丁目							●			9			調査協力員
1	12	晴	吉祥寺南町4丁目							●			3			調査協力員
1	21	晴	吉祥寺東町1丁目							●			2			調査協力員

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9本）、●（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9本）、○（のべ10本以上）	●
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9本）、▲（のべ10本以上）	
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9本）、△（のべ10本以上）	●
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9本）、□（のべ10本以上）	●
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9本）、★（のべ10本以上）	
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9本）、☆（のべ10本以上）	●

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.	種名	分類	科・属
02	スギ	木本	スギ科スギ属

1. 調査対象種の特徴

適湿地に多く自生する常緑高木で日本固有種。葉は長さ約1cmの鎌状の針形で、枝に螺旋状につく。葉の基部は次第に細まり、枝に流れる。枯れると小枝ごと落ちるのが特徴。雌雄同株。花期は3～4月で、風で飛散する花粉は、花粉症の原因の1つとなっており、花粉の少ない品種への植え替えが始まっている。球果はその年の秋に熟す。

材は建築材として重要で、各地で非常に多く植林されている。葉は乾燥後に粉末にされ、線香に使われる（高級線香は香木とタブノキの葉や樹皮からとれる粘液で製造）。古い切り株にはスギヒラタケという食用キノコが生じることがあるが、近年、有毒なスギヒラタケが出現したことで話題となった。

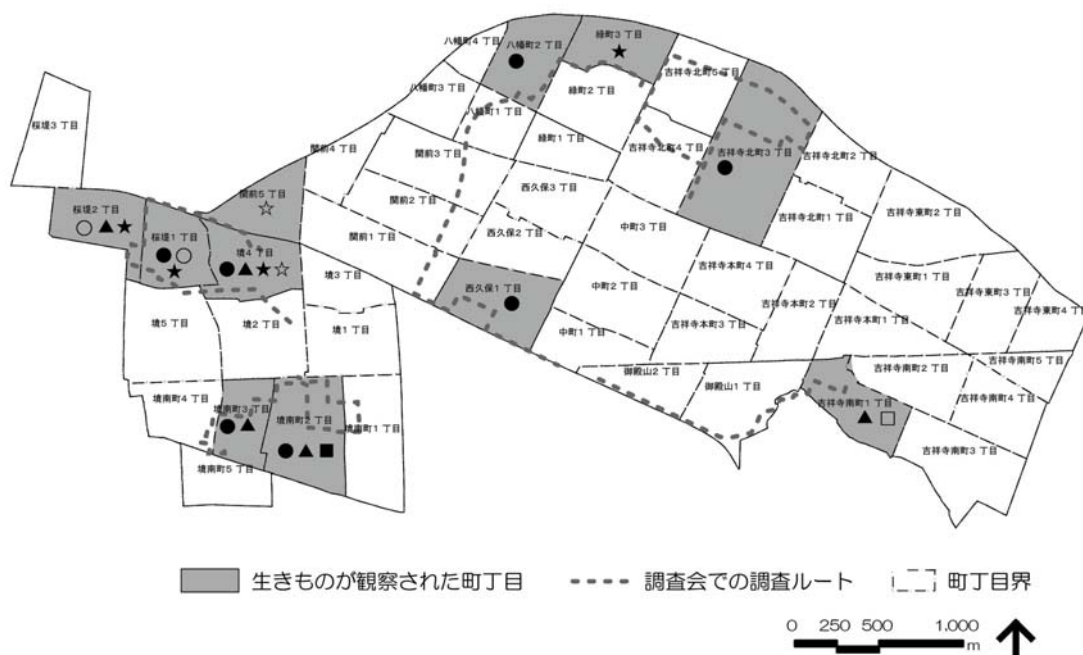
2. 観察された環境区分

①	②	③大木・ ツバ・リクツリ	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
樹林環境	並木環境		生垣環境	公園環境	農地環境	宅地・庭先	水辺環境	ビオトープ
●	●		●	●		●	●	

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は 調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
5	22	晴	桜堤1丁目				●	●		●	●		1		●	A
5	22	晴	桜堤1丁目				●	●		●	●		3		●	A
5	22	晴	境4丁目								●		1		●	A
5	22	晴	境南町3丁目					●		●			1		●	B
5	22	晴	境南町2丁目	●									1		●	B
5	22	晴	八幡町2丁目	●				●					1		●	C
5	22	晴	西久保1丁目	●				●					1		●	C
5	22	晴	吉祥寺北町3丁目		●								1		●	D
5	22	晴	桜堤2丁目	●				●					1			調査協力員
7	4	-	桜堤1丁目					●					1			調査協力員
7	19	晴	桜堤2丁目					●					1		●	A
7	19	晴	境4丁目								●		1		●	A
7	19	晴	境南町3丁目					●					1		●	B
7	19	晴	境南町2丁目	●				●					2		●	B
7	19	晴	吉祥寺南町1丁目										1		●	E
9	21	晴	境南町2丁目	●									1			専門調査員
11	5	晴	吉祥寺南町1丁目					●					1			調査協力員
11	27	晴	桜堤1丁目				●	●		●	●		1		●	A
11	27	晴	桜堤2丁目										1		●	A
11	27	晴	境4丁目								●		1		●	A
11	27	晴	緑町3丁目										1		●	C
12	19	-	境4丁目							●			1			調査協力員
1	2	晴	関前5丁目		●								1			調査協力員

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9本）、●（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9本）、○（のべ10本以上）	●
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9本）、▲（のべ10本以上）	
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9本）、△（のべ10本以上）	●
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9本）、□（のべ10本以上）	●
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9本）、★（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9本）、☆（のべ10本以上）	●

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.	種名	分類	科・属
03	オニグルミ	木本	クルミ科クルミ属

1. 調査対象種の特徴

川沿いや窪地など湿気の多いところで見られる落葉高木。枝は太くて細かくは分枝しない。葉は枝先に集まってつき、互生で長さ40～60cmの奇数羽状複葉。葉柄と葉軸には褐色の軟毛が密生し、小葉は5～9対（テウチグルミは4対程度）。雌雄同株。殻が固くて割るのは大変だが、味は良い。

オニグルミの変種にヒメグルミがあり、この堅果は扁平で幅が広く、中の仁が取り出しやすい特徴があり、堅果の形からハートグルミの別名もある。葉を食べるクルミハムシの幼虫や材をあらすカタジロゴマフカミキリの幼虫が見られる。クルミハムシが見られるところでは天敵のカメノコテントウも見られる。

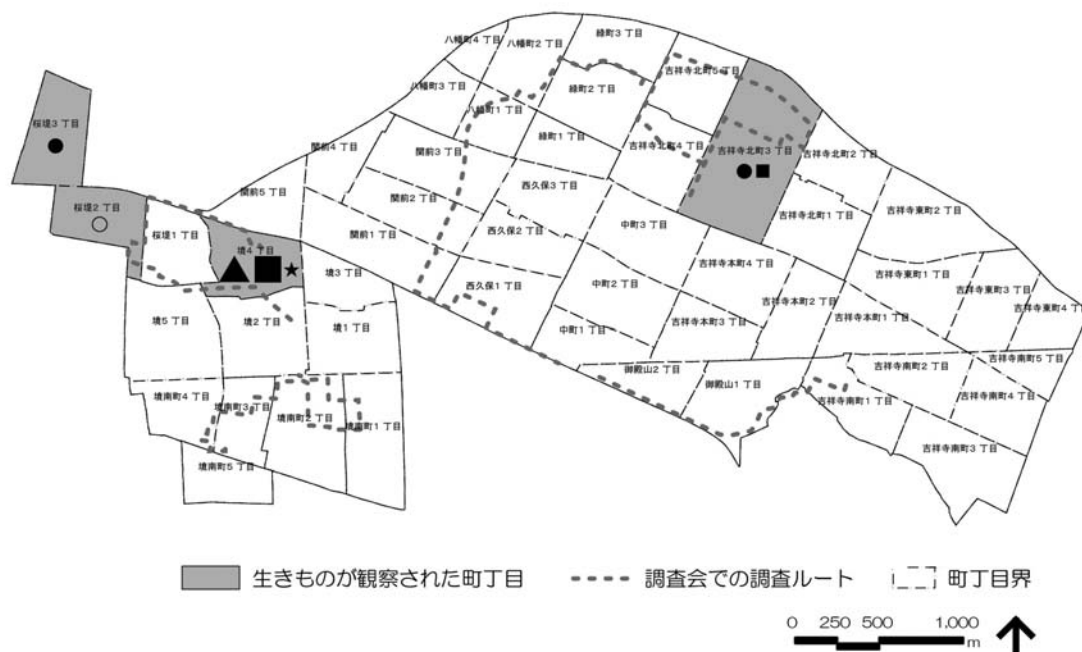
2. 観察された環境区分

①	②	③大木・ シブ・リクツリ	④ 生垣環境	⑤ 公園環境	⑥ 農地環境	⑦ 宅地・庭先	⑧ 水辺環境	⑨ ビオトープ
●	●			●			●	

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は 調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
5	22	晴	桜堤3丁目					●					1		●	A
5	22	晴	桜堤3丁目		●			●					1		●	A
5	22	晴	吉祥寺北町3丁目					●			●		1		●	D
5	22	晴	桜堤2丁目	●									1			調査協力員
7	19	晴	境4丁目								●		複		●	A
9	22	-	境4丁目								●		複			専門調査員
9	22	-	境4丁目	●				●			●		1			専門調査員
10	13	曇	吉祥寺北町3丁目					●			●		1			専門調査員
11	27	晴	境4丁目								●		1		●	A
11	27	晴	境4丁目								●		1		●	A
11	27	晴	境4丁目								●		1		●	A

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9本）、●（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9本）、○（のべ10本以上）	●
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9本）、▲（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9本）、△（のべ10本以上）	
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9本）、□（のべ10本以上）	
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9本）、★（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9本）、☆（のべ10本以上）	

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.	種名	分類	科・属
04	イヌシデ	木本	カバノキ科クマシデ属

1. 調査対象種の特徴

雑木林に多く見られる落葉高木。幹は滑らかで、白っぽい網目模様が目立つ。葉は互生で葉身は4～8cm、幅2～4cmの卵形～卵状楕円形、先端は鋭く尖り、基部は円形～広い楔形。縁には鋭く細かい重鋸歯があり、側脈は12～15対。葉柄に毛が残存・密生するのが特徴。雌雄同株。

アカシデに比べて毛が多いことからイヌシデの名がついた。ブナに対するイヌブナと同様の発想。「シデ」の語源は、果穂の形が、しめ縄につりさげる紙製のシデ（四手←幣）の形に似ているところから。ソロメフクレダニによって作られたイヌシデメフクレフシという虫こぶが時に見られる。

2. 観察された環境区分

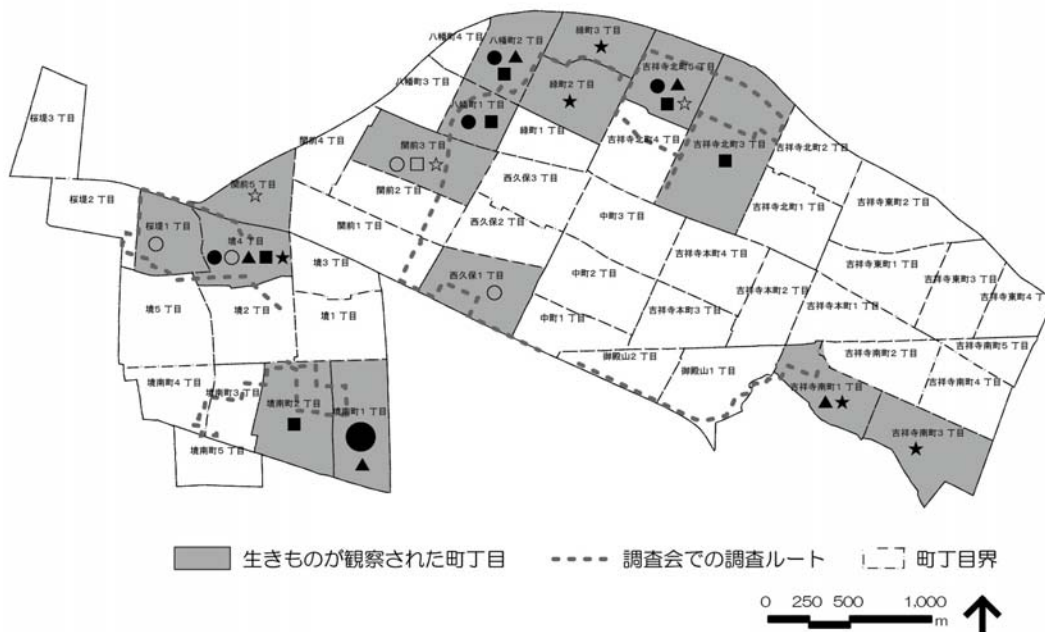
①	②	③大木・ ソポリックツリ	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
樹林環境	並木環境		生垣環境	公園環境	農地環境	宅地・庭先	水辺環境	ビオトープ
●	●			●	●	●	●	●

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は 調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
5	22	晴	境4丁目	●				●					1		●	A
5	22	晴	境4丁目	●				●					1		●	A
5	22	晴	境南町1丁目	●				●					複		●	B
5	22	晴	八幡町2丁目	●				●					1		●	C
5	22	晴	八幡町1丁目									●	1		●	C
5	22	晴	吉祥寺北町5丁目	●									1		●	D
5	27	晴	関前3丁目					●					1			調査協力員
5	27	晴	境4丁目		●			●					1			調査協力員
5	27	晴	境4丁目					●					1			調査協力員
5	22	晴	関前3丁目					●					1			調査協力員
6	20	曇	西久保1丁目		●			●					3			調査協力員
7	3	-	関前3丁目					●					5			調査協力員
7	4	-	桜堤1丁目					●					1			調査協力員
7	19	晴	境4丁目					●					1		●	A
7	19	晴	境南町1丁目	●				●					2		●	B
7	19	晴	八幡町2丁目					●					1		●	C
7	19	晴	吉祥寺北町5丁目	●									1		●	D
7	19	晴	吉祥寺南町1丁目							●			1		●	E
9	18	-	八幡町2丁目	●				●					1			専門調査員
9	18	-	八幡町1丁目					●					1	タネの比較		専門調査員
9	21	晴	境南町2丁目	●				●					1			専門調査員
9	22	-	境4丁目	●				●					1			専門調査員
10	13	曇	吉祥寺北町5丁目	●				●					6	アベリアで囲っている		専門調査員
10	13	曇	吉祥寺北町3丁目					●		●			1			専門調査員
10	9	曇	関前3丁目					●					1			調査協力員

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
11	27	晴	境4丁目					●			●		1		●	A
11	27	晴	緑町3丁目					●		●			1		●	C
11	27	晴	緑町2丁目					●		●			1		●	C
11	27	晴	吉祥寺南町3丁目							●			1		●	E
11	27	晴	吉祥寺南町1丁目	●						●			1		●	E
11	27	晴	吉祥寺北町5丁目					●					1	種		調査協力員
1	2	晴	関前3丁目						●				2			調査協力員
1	2	晴	関前5丁目		●								1			調査協力員
1	20	晴	関前3丁目					●					1			調査協力員
1	20	晴	関前3丁目					●					1			調査協力員

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9本）、●（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9本）、○（のべ10本以上）	●
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9本）、▲（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9本）、△（のべ10本以上）	
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9本）、□（のべ10本以上）	●
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9本）、★（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9本）、☆（のべ10本以上）	●

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.	種名	分類	科・属
05	コナラ	木本	ブナ科コナラ属

1. 調査対象種の特徴

山野に普通に見られる落葉高木。樹皮は灰黒色で縦に不規則な裂け目があり、白っぽい樹皮が帯状に目立つ。葉は互生で葉身は長さ5～15cm、幅4～6cmの倒卵形。先端は鋭く尖り、基部は楔系。縁には大型の鋸歯がある。葉の表面は緑色ではじめ絹毛があるが、のち無毛となる。裏面は星状毛と絹毛が生えて灰白色。葉柄は長さ1cm。雌雄同株。果実は開花の年の秋に熟す。

殻斗は鱗片が瓦重ね状に並んだ様相。クヌギと同様に萌芽性が強いので、薪炭用として多く植えられた。それが「雑木林」と呼ばれているが、実態はエネルギー生産摂取林。アカシジミ、ミズイロオナガシジミの食草。堅果にハイロチョッキリが産卵する。

2. 観察された環境区分

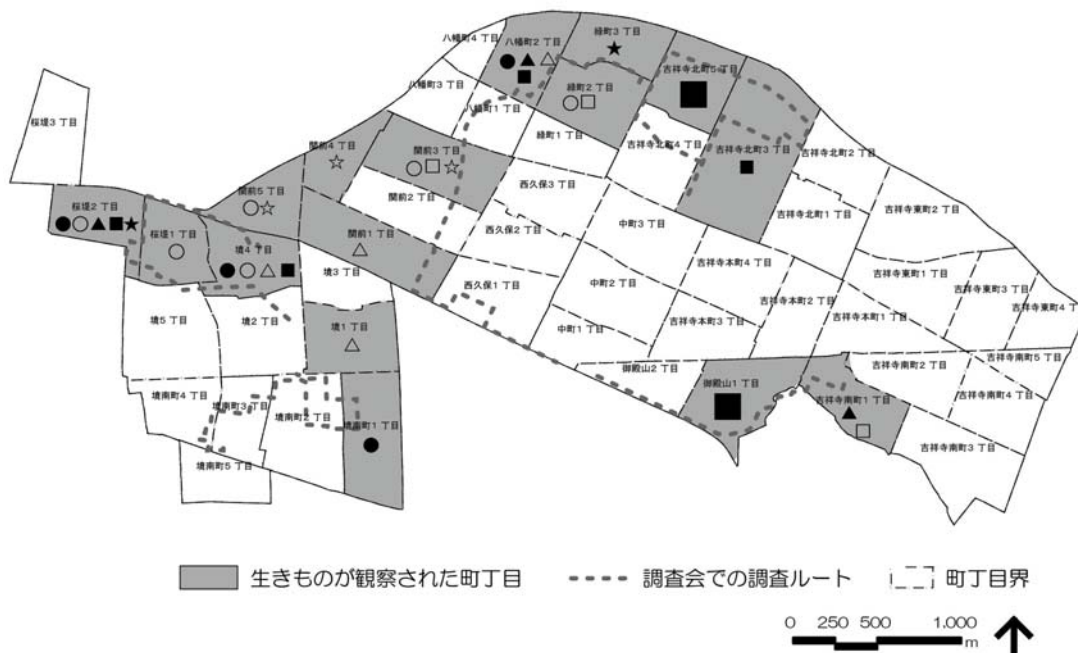
①	②	③大木・ ソノ リックツリ	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
樹林環境	並木環境		生垣環境	公園環境	農地環境	宅地・庭先	水辺環境	ビオトープ
●	●			●	●	●	●	

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は 調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
5	22	晴	桜堤2丁目					●			●		1		●	A
5	22	晴	境4丁目	●				●					1		●	A
5	22	晴	境4丁目	●									1		●	A
5	22	晴	境南町1丁目	●									1		●	B
5	22	晴	八幡町2丁目	●				●					1		●	C
5	30	曇	緑町2丁目		●								1			調査協力員
5	22	晴	境4丁目					●					1			調査協力員
5	27	晴	境4丁目					●					1			調査協力員
5	30	晴	桜堤2丁目					●					1			調査協力員
6	3	晴	境4丁目					●					1			調査協力員
7	3	-	関前3丁目					●					2			調査協力員
7	4	-	関前5丁目								●		1			調査協力員
7	4	-	桜堤1丁目					●					1			調査協力員
7	19	晴	桜堤2丁目					●					1		●	A
7	19	晴	八幡町2丁目	●				●					6		●	C
7	19	晴	吉祥寺南町1丁目	●				●					1		●	E
7	19	晴	八幡町2丁目					●					1			調査協力員
8	4	晴	関前1丁目					●					5			調査協力員
8	21	晴	境1丁目					●					1	実たくさん		調査協力員
8	22	晴	境4丁目					●					1			調査協力員
9	18	-	関前1丁目								●		複			調査協力員
9	18	-	八幡町2丁目	●				●					1			専門調査員
9	18	-	八幡町2丁目	●				●					1	ドングリ※ハイロチョッキリの知恵		専門調査員
9	22	-	桜堤2丁目					●			●		1			専門調査員
9	22	-	桜堤2丁目	●				●					1			専門調査員
9	22	-	境4丁目	●				●					1			専門調査員
9	23	曇/雨	吉祥寺北町5丁目	●									複			専門調査員
9	24	晴	御殿山1丁目	●									複			専門調査員
10	13	曇	吉祥寺北町3丁目					●					1			専門調査員
10	13	曇	吉祥寺北町3丁目								●		2	下流にあたる東側から		専門調査員

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
10	8	晴	緑町2丁目		●								1			調査協力員
10	9	曇	関前3丁目					●					1			調査協力員
11	5	晴	吉祥寺南町1丁目					●					2			調査協力員
11	27	晴	桜堤2丁目					●			●		1		●	A
11	27	晴	緑町3丁目					●		●			1		●	C
1	2	晴	関前3丁目						●		●		3			調査協力員
1	2	晴	関前4丁目								●		1			調査協力員
1	2	晴	関前5丁目		●								1			調査協力員
1	20	晴	関前3丁目					●					1			調査協力員

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9本）、●（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9本）、○（のべ10本以上）	●
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9本）、▲（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9本）、△（のべ10本以上）	●
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9本）、□（のべ10本以上）	●
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9本）、★（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9本）、☆（のべ10本以上）	●

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.			
06	クヌギ	木本	ブナ科コナラ属

1. 調査対象種の特徴

適湿地に見られる落葉高木。樹皮は灰褐色で、厚く不規則に深く割れる。葉は互生し、葉身は長さ8～15cm、幅3～5cmの長楕円状披針形で、洋紙質。先端は鋭く尖り、基部は枝先の葉は楔形、枝の付け根の葉は丸味を帯びる。縁には波状の鋸歯があり、鋸歯の先端は長さ2～3mmの針となって緑色が抜ける。雌雄同株。果実は堅果で翌年の秋に成熟。殻斗には線形の鱗片が螺旋状に多数つく。

萌芽性が強いので薪炭用としてコナラとともに多く植えられた。カミキリムシやガの幼虫が空けた穴から樹液がでることが多く、ハチ、カブトムシ、クワガタ、各種タテハチョウ類、ジャノメチョウ類などが樹液に集まる。

2. 観察された環境区分

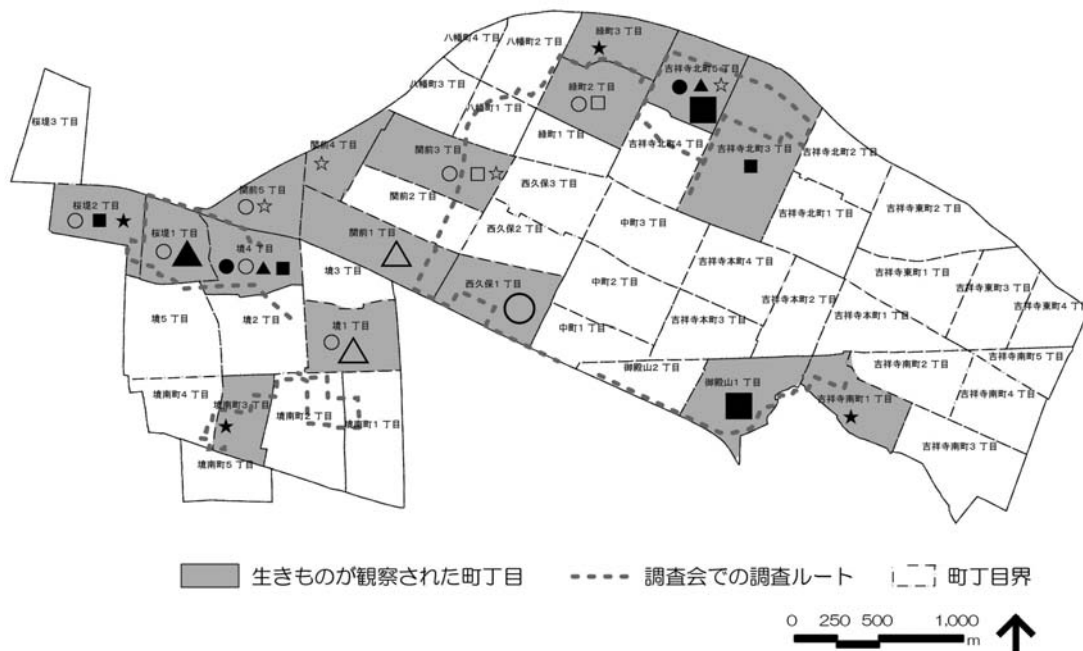
①	②	③大木・	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
樹林環境	並木環境	シンボルツリー	生垣環境	公園環境	農地環境	宅地・庭先	水辺環境	ヒートアップ
●	●			●		●	●	

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
5	22	晴	境4丁目	●				●					1		●	A
5	22	晴	境4丁目	●									1		●	A
5	22	晴	吉祥寺北町5丁目	●									1		●	D
5	22	晴	境4丁目					●					1			調査協力員
5	22	晴	境4丁目					●					1			調査協力員
5	27	晴	関前3丁目					●					1			調査協力員
5	27	晴	関前3丁目					●					1			調査協力員
5	27	晴	境4丁目					●					1			調査協力員
5	30	晴	桜堤2丁目					●					1			調査協力員
5	30	曇	緑町2丁目		●								1			調査協力員
6	20	曇	西久保1丁目		●								13	根元にキノコが生えていたもの、腐ったような樹液がでてコハエなどがたくさんかっているものがあった。		調査協力員
6	1	-	境1丁目					●					1	本村公園のドングリ広場には9本のクヌギがありまう。その中の1本だけが樹液を出して虫をひき寄せます		調査協力員
6	3	晴	関前5丁目					●					1			調査協力員
6	3	晴	境4丁目					●					1			調査協力員
7	3	-	関前3丁目					●					6			調査協力員
7	4	-	桜堤1丁目					●					1			調査協力員
7	19	晴	桜堤1丁目							●			複		●	A
7	19	晴	桜堤1丁目								●		1		●	A
7	19	晴	境4丁目										1		●	A
7	19	晴	吉祥寺北町5丁目	●									1		●	D
8	4	晴	境1丁目		●			●					複			調査協力員
8	19	-	境1丁目					●					1	実たくさん		調査協力員
9	18	-	関前1丁目								●		複			調査協力員
9	22	-	桜堤2丁目	●				●					1			専門調査員
9	22	-	桜堤2丁目	●							●		1			専門調査員
9	22	-	境4丁目	●				●					1			専門調査員
9	23	曇/雨	吉祥寺北町5丁目	●									複			専門調査員
9	24	晴	御殿山1丁目	●									複			専門調査員
10	13	曇	吉祥寺北町5丁目	●									3			専門調査員
10	13	曇	吉祥寺北町3丁目					●					6			専門調査員
10	8	晴	緑町2丁目		●								1			調査協力員
10	9	曇	関前3丁目					●					1			調査協力員

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
11	27	晴	桜堤2丁目					●			●		1		●	A
11	27	晴	境南町3丁目					●		●			1		●	B
11	27	晴	緑町3丁目					●		●			1		●	C
11	27	晴	吉祥寺南町1丁目	●						●			1		●	E
11	27	晴	吉祥寺北町5丁目					●					1	果実（ドングリ）		調査協力員
1	2	晴	関前4丁目								●		1			調査協力員
1	2	晴	関前5丁目		●								1			調査協力員
1	20	晴	関前3丁目					●					1			調査協力員

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9本）、●（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9本）、○（のべ10本以上）	●
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9本）、▲（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9本）、△（のべ10本以上）	●
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9本）、□（のべ10本以上）	●
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9本）、★（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9本）、☆（のべ10本以上）	●

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.	種名	分類	科・属
07	アカガシ	木本	ブナ科コナラ属

1. 調査対象種の特徴

宮城・新潟以西の山地に自生する常緑高木。樹皮は老木になると割れ目が目立つ。葉は互生で、葉身は長さ7～15cm、幅3～5cmの長楕円形で、やや硬い革質。先端は長く尖り、基部は広い楔形。縁は普通全縁で葉柄が2～4cmと長いのが特徴。雌雄同株。果実は堅果で、卵球形、翌年の秋に成熟する。

殻斗には鱗片が合着した同心円状の輪が10個ほど並び、褐色の軟毛があり、フェルト帽の感触。材は緻密で粘りがあるため、木刀、ゲートボールのスティック、農具やカンナの台、船の櫓や舵、荷車の心棒などに使われる。名前はシラカシに比べて材が淡紅褐色で赤味がつよいことによる。

2. 観察された環境区分

①	②	③大木・	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
樹林環境	並木環境	シホ リックツリ	生垣環境	公園環境	農地環境	宅地・庭先	水辺環境	ビオトープ
				●				

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は 調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
5	27	晴	境4丁目					●					1			調査協力員

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9本）、●（のべ10本以上）	
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9本）、○（のべ10本以上）	●
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9本）、▲（のべ10本以上）	
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9本）、△（のべ10本以上）	
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9本）、□（のべ10本以上）	
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9本）、★（のべ10本以上）	
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9本）、☆（のべ10本以上）	

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.	種名	分類	科・属
08	ノイバラ	木本	バラ科バラ属

1. 調査対象種の特徴

林縁、河原などにふつうに見られる落葉低木。高さ2mほどになり、よく枝分かれて、ほかのものに寄りかかり這い上ることも多い。よく似た仲間が多いが、ノイバラの刺は、下向きに鉤型に曲がること（オオフジイバラの刺は垂直）、托葉は葉柄に合着して縁はクシの歯状に深く切れ込み、先端は赤色の腺になり、腺毛も混じるのが特徴。

オオフジイバラの托葉はクシの歯状に深くは切れ込まず、短毛状になるのみで、葉軸・葉柄・托葉ともに赤いことで区別できる。テリハノイバラの葉には光沢があり、モリイバラの花や果実は普通1個だけなので区別できる。コアオハナムグリ、キチョウが吸蜜に訪れ、葉をマメコガネ、ヒメコガネが食し、シロオビアワフキやアオバハゴロモが汁を吸う。

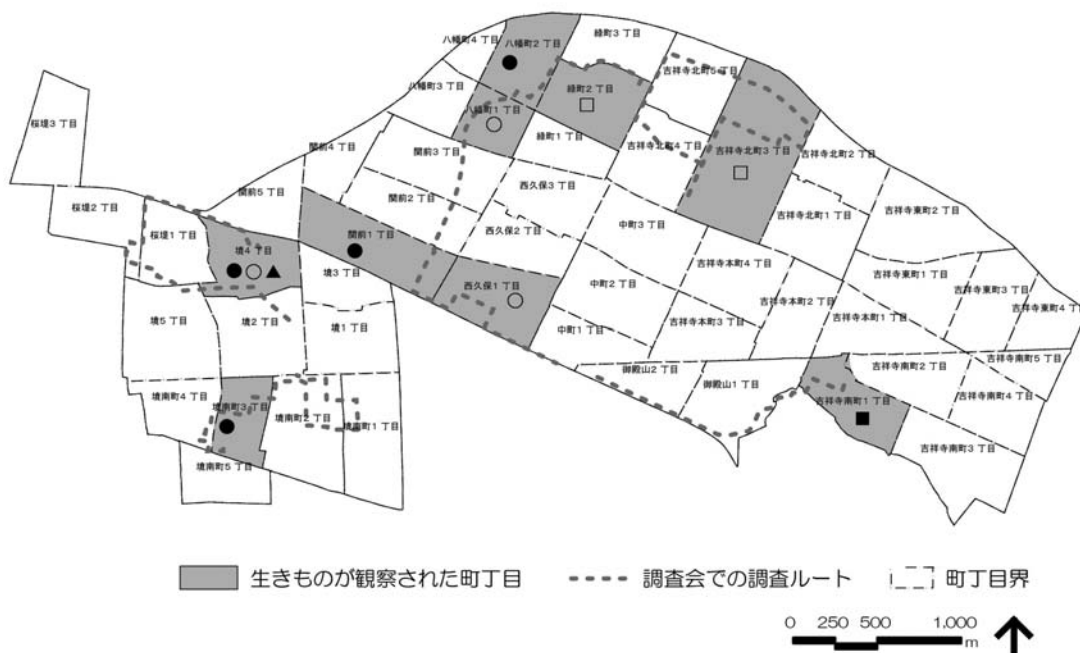
2. 観察された環境区分

①	②	③大木・ ツバキ・リクツリ	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
樹林環境	並木環境		生垣環境	公園環境	農地環境	宅地・庭先	水辺環境	ビオトープ
●	●			●		●	●	

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は 調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
5	22	晴	境4丁目	●				●					1		●	A
5	22	晴	境南町3丁目					●					1		●	B
5	22	晴	八幡町2丁目	●				●					1		●	C
5	22	晴	関前1丁目					●					1		●	C
5	22	晴	境4丁目					●					1			調査協力員
5	22	晴	八幡町1丁目		●								1			調査協力員
5	24	-	西久保1丁目							●			2			調査協力員
5	27	晴	境4丁目		●								1			調査協力員
7	19	晴	境4丁目					●					1		●	A
7	19	晴	境4丁目					●					1		●	A
9	24	晴	吉祥寺南町1丁目					●					1			専門調査員
10	11	晴	吉祥寺北町3丁目							●			1			調査協力員
10	8	晴	緑町2丁目		●								1			調査協力員

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9本）、●（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9本）、○（のべ10本以上）	●
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9本）、▲（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9本）、△（のべ10本以上）	
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9本）、□（のべ10本以上）	●
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9本）、★（のべ10本以上）	
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9本）、☆（のべ10本以上）	

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.	種名	分類	科・属
09	カラスザンショウ	木本	ミカン科サンショウ属

1. 調査対象種の特徴

崩壊地、伐採跡、切り通し、河原など、明るい裸地に真っ先に侵入してくるパイオニアプラント（先駆樹種）の1つ。落葉高木で傘状の樹冠となり、幹や枝には刺があり、古い幹にはイボ状突起が残る。枝はあまり分枝せず、若枝は緑色。葉は長さ30～80cmの大形の奇数羽状複葉で互生し、枝の上部に集まってつく。

雌雄別株で、7～8月に、枝先に散房花序を出し緑白色の目立たない花を密につける。クロアゲハ、モンキアゲハ、ミヤマカラスアゲハなどの食草の1つ。

2. 観察された環境区分

①	②	③大木・ シボリックツリー	④ 生垣環境	⑤ 公園環境	⑥ 農地環境	⑦ 宅地・庭先	⑧ 水辺環境	⑨ ビオトープ
樹林環境	並木環境			●				●

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は 調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
5	27	晴	境4丁目					●					1			調査協力員
7	11	晴	境南町2丁目									●	1			調査協力員

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9本）、●（のべ10本以上）	
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9本）、○（のべ10本以上）	●
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9本）、▲（のべ10本以上）	
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9本）、△（のべ10本以上）	
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9本）、□（のべ10本以上）	
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9本）、★（のべ10本以上）	
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9本）、☆（のべ10本以上）	

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.	種名	分類	科・属
10	アカメガシワ	木本	トウダイグサ科アカメガシワ属

1. 調査対象種の特徴

伐採跡地や崩壊地、林縁などの明るい所に真っ先に生えてくるパイオニアプラント（先駆植物）の1つで、落葉高木。樹皮は灰褐色で縦に浅い裂け目があり、若枝には星状毛が密生する。葉は互生し、葉身は長さ7～20cm、幅5～14cmの卵形または広卵形。縁は全縁、ときに浅く3裂する。

葉の両面に星状毛がある。葉の表面基部には蜜腺があり、裏面には黄褐色のちいさな腺点がある。水平方向に伸びた枝の上面につく葉の葉柄は、極端に短くなり、他の葉の太陽光吸収を邪魔しないようになっている。新葉は紅色を帯び、カシワの葉と同じように、大きな葉に食物をのせるのに使ったことからアカメガシワの名がついた。雌雄別株。

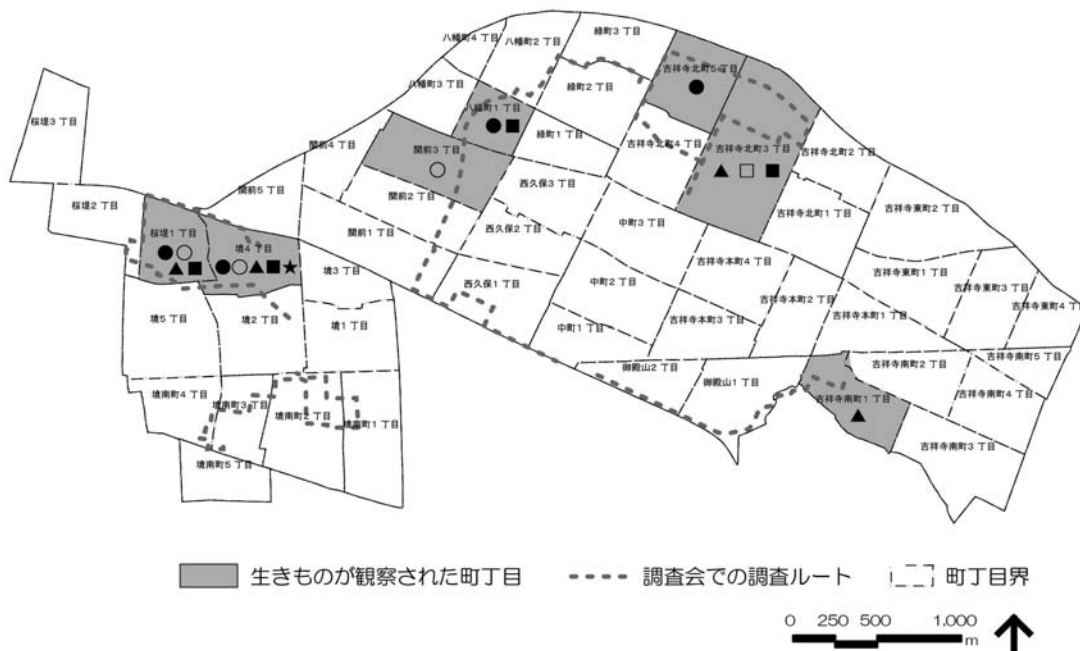
2. 観察された環境区分

①	②	③大木・ ツボ・リクツリ	④ 生垣環境	⑤ 公園環境	⑥ 農地環境	⑦ 宅地・庭先	⑧ 水辺環境	⑨ ビオトープ
●			●	●		●	●	●

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は 調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
5	22	晴	桜堤1丁目				●	●		●	●		1		●	A
5	22	晴	境4丁目	●				●					1		●	A
5	22	晴	八幡町1丁目									●	1		●	C
5	22	晴	吉祥寺北町5丁目	●									1		●	D
5	22	晴	桜堤1丁目					●					1			調査協力員
5	22	晴	境4丁目					●					1			調査協力員
5	22	晴	関前3丁目					●					1			調査協力員
7	11	晴	境4丁目					●					1			調査協力員
7	19	晴	桜堤1丁目							●			1		●	A
7	19	晴	境4丁目					●					1		●	A
7	19	晴	吉祥寺北町3丁目					●			●		1		●	D
7	19	晴	吉祥寺南町1丁目							●			1		●	E
9	18	-	八幡町1丁目					●					1			専門調査員
9	22	-	桜堤1丁目				●	●		●	●		1			専門調査員
9	22	-	境4丁目								●		1			専門調査員
9	22	-	境4丁目	●				●					1			専門調査員
10	13	曇	吉祥寺北町3丁目					●					1			専門調査員
10	11	晴	吉祥寺北町3丁目							●			1			調査協力員
11	27	晴	境4丁目								●		1		●	A
11	27	晴	境4丁目								●		1		●	A

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9本）、●（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9本）、○（のべ10本以上）	●
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9本）、▲（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9本）、△（のべ10本以上）	
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9本）、□（のべ10本以上）	●
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9本）、★（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9本）、☆（のべ10本以上）	

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.	種名	分類	科・属
11	ヌルデ	木本	ウルシ科ウルシ属

1. 調査対象種の特徴

林縁などに普通にみられる落葉小高木。パイオニアプラント（先駆植物）の1つ。枝は太く細分枝しない。葉は互生で枝先に集まってつき、長さ30～60cmの奇数羽状複葉、葉軸に翼があることが特徴。雌雄別株。果実は扁球形の核果、白い物質を分泌し、酸塩味があるのでシオノミと呼ばれている。幹から出る白色の樹液が塗料に用いられヌルデの名がついた。

葉にヌルデシロアブラムシが寄生して出来た虫えい（虫こぶ）は、タンニン含有率が高いため、薬用やインクなどの染料に利用され、お歯黒にも用いられた。お歯黒は虫歯および歯槽膿漏の予防効果があった模様。赤水（鉄+水で生じる二酸化鉄）とタンニンと反応させて黒い液体をお歯黒にもちいたが、下級武士の奥方は、もっと安価な、キブシの実から抽出したタンニンをつかったお歯黒を用いた模様。聖徳太子がヌルデの材で四天王を彫り、物部氏との戦いで、崇仏派の蘇我氏の必勝を祈った伝説からショウグンボク（勝軍木）という別名もあり、正月にヌルデの材で作った人形を飾る風習もある。

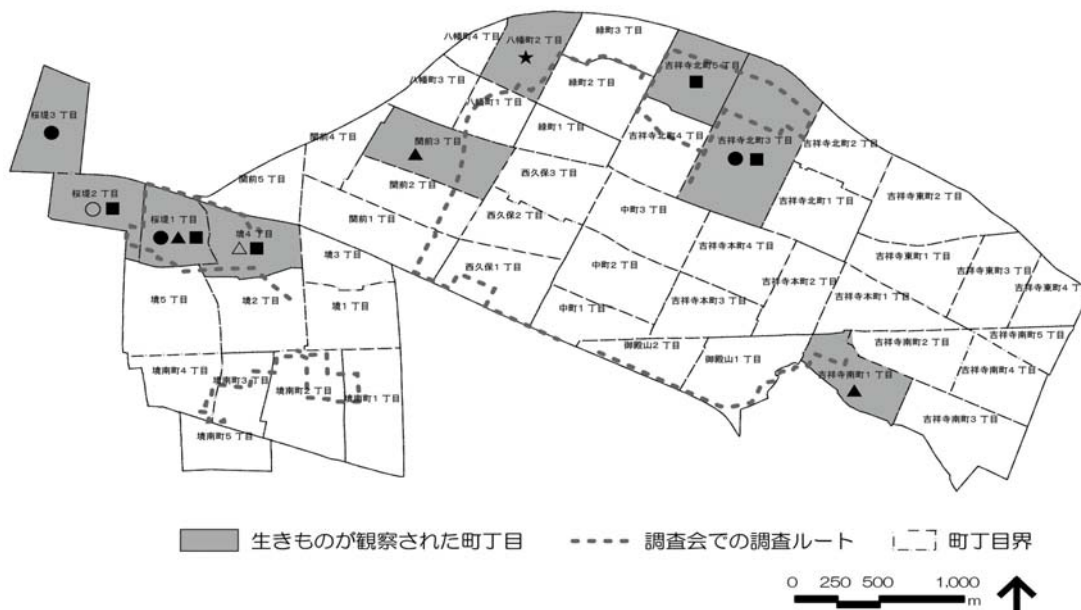
2. 観察された環境区分

①	②	③大木・ シボ リックツリ	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
樹林環境	並木環境		生垣環境	公園環境	農地環境	宅地・庭先	水辺環境	ビオトープ
●	●		●	●		●	●	

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は 調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
5	22	晴	桜堤3丁目		●								1		●	A
5	22	晴	桜堤1丁目				●	●		●	●		1		●	A
5	22	晴	吉祥寺北町3丁目								●		1		●	D
5	22	晴	桜堤2丁目	●									1			調査協力員
7	19	晴	桜堤1丁目								●		1		●	A
7	19	晴	関前3丁目					●		●			1		●	C
7	19	晴	吉祥寺南町1丁目	●				●					1		●	E
8	22	晴	境4丁目					●					1			調査協力員
9	22	-	桜堤1丁目				●	●		●	●		1			専門調査員
9	22	-	桜堤2丁目	●							●		1			専門調査員
9	22	-	境4丁目								●		2			専門調査員
10	13	曇	吉祥寺北町3丁目								●		8			専門調査員
10	13	曇	吉祥寺北町5丁目	●									1	実生		専門調査員
11	27	晴	八幡町2丁目					●					1		●	C

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9本）、●（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9本）、○（のべ10本以上）	●
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9本）、▲（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9本）、△（のべ10本以上）	●
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9本）、□（のべ10本以上）	
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9本）、★（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9本）、☆（のべ10本以上）	

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.	種名	分類	科・属
12	ゴンズイ	木本	ミツバウツギ科ゴンズイ属

1. 調査対象種の特徴

日当たりの良い林縁で見られる落葉小高木。枝は疎らに分枝して太い。樹皮には縦長の白い筋がはいる。葉は、対生し、長さ10～30cmの奇数羽状複葉で、2～5対の小葉があり、小葉にも柄がある。葉の縁には芒状の鋸歯がある。

材が臭く、脆くて役に立たないので、同じように役に立たない魚であるゴンズイの名がついたとの説がある。しかし、皮目の模様が、ゴンズイが群がっている時（ゴンズイ玉）の模様にも見える。黒い種子は、クラフトを作る時の、人形の目玉としてよく使われる。

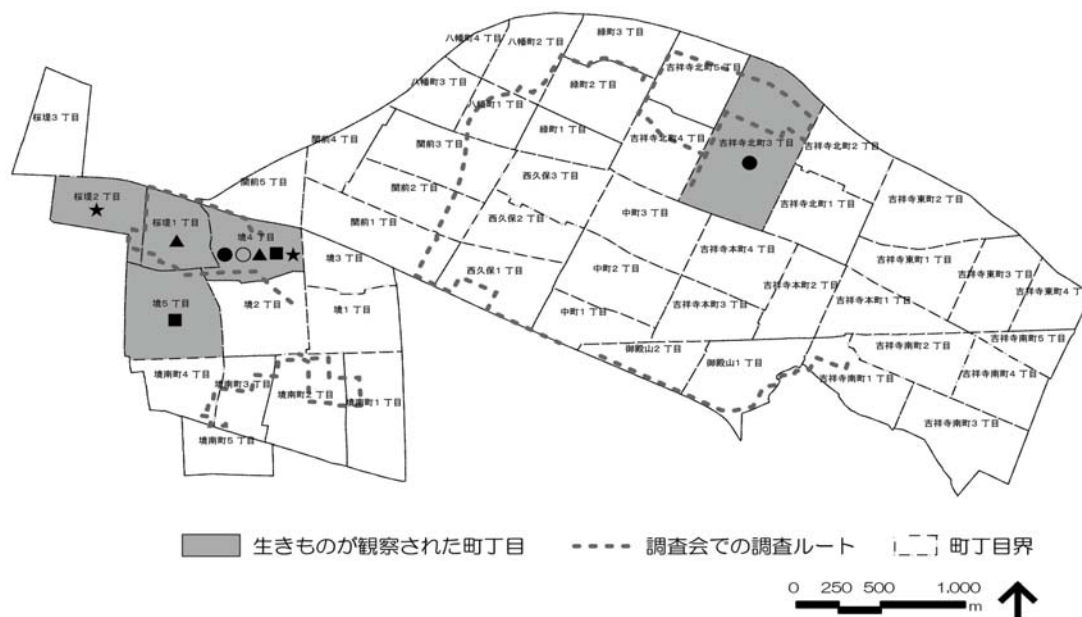
2. 観察された環境区分

①	②	③大木・ シボ・リクツリ	④ 生垣環境	⑤ 公園環境	⑥ 農地環境	⑦ 宅地・庭先	⑧ 水辺環境	⑨ ビオトープ
●	●			●		●	●	

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は 調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
5	22	晴	境4丁目	●				●					2		●	A
5	22	晴	境4丁目								●		1		●	A
5	22	晴	吉祥寺北町3丁目					●			●		1		●	D
5	22	晴	境4丁目		●						●		1			調査協力員
7	19	晴	桜堤1丁目							●			1		●	A
7	19	晴	境4丁目								●		1		●	A
9	22	-	境5丁目		●								1	△シコブあり		専門調査員
9	22	-	境4丁目								●		1	花		専門調査員
11	27	晴	桜堤2丁目					●			●		1		●	A
11	27	晴	境4丁目								●		1		●	A

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9本）、●（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9本）、○（のべ10本以上）	●
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9本）、▲（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9本）、△（のべ10本以上）	
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9本）、□（のべ10本以上）	
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9本）、★（のべ10本以上）	
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9本）、☆（のべ10本以上）	●

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.	種名	分類	科・属
13	ミズキ	木本	ミズキ科ミズキ属

1. 調査対象種の特徴

丘陵～山地の沢沿いに多く見られる落葉高木。枝張りが階段状の樹形になるのが特徴。若枝は紫紅色で美しい。葉は互生し、枝先に集まってつく。葉身は長さ6～15cm、幅3～8cmの広卵形または広楕円形で、先端は短く尖り、基部は広い楔形、縁は全縁。表面は無毛だが、裏面は粉白色で、T字状の伏毛がある。5～6月、枝先に散房花序を出し、小さな白花を多数つける。

よく似たクマノミズキは葉が対生する。材は白く節の部分が少ないため、こけし作りに利用されるほか、冬に赤味をました若枝は、どんど焼きの団子を刺す木に使われる。ミズキは早春に枝を切ると水が滴ることからの名前。同様の発想に、暖地に自生するショウベンノキがある。枝から汁を吸うエサキモンツノカメムシやアカスジキンカメムシがよく見られる。

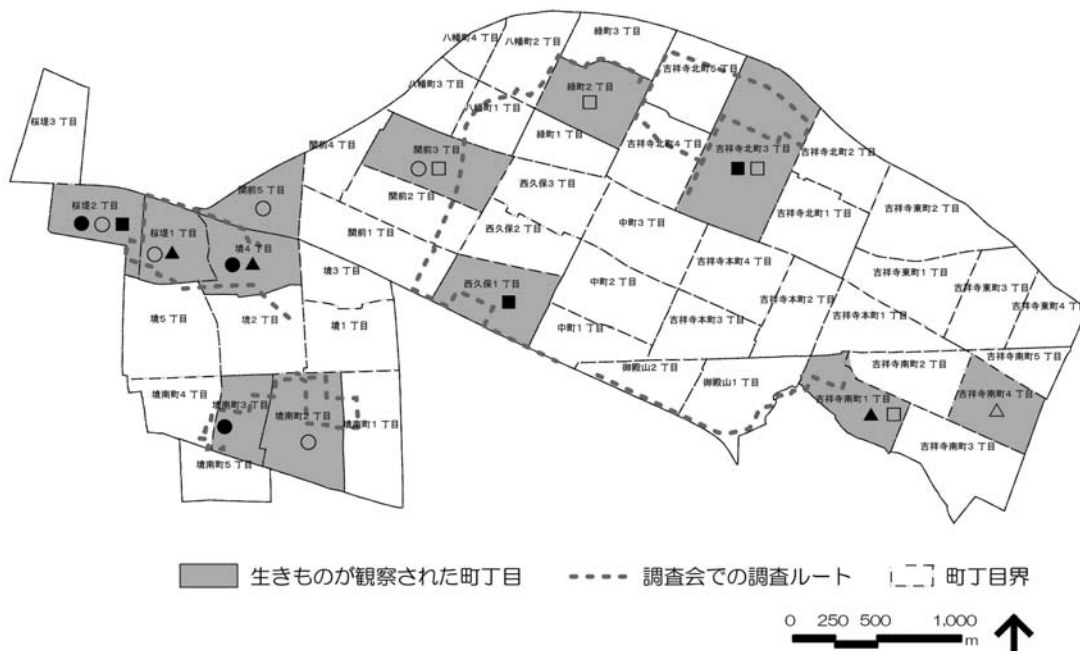
2. 観察された環境区分

①	②	③大木・ シブ・リクツリ	④ 生垣環境	⑤ 公園環境	⑥ 農地環境	⑦ 宅地・庭先	⑧ 水辺環境	⑨ ビオトープ
●	●			●		●	●	●

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は 調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
5	22	晴	桜堤2丁目					●			●		1		●	A
5	22	晴	境4丁目					●			●		1		●	A
5	22	晴	境南町3丁目					●					1		●	B
5	22	晴	桜堤1丁目					●		●			1			調査協力員
5	27	晴	関前3丁目					●					1			調査協力員
5	27	晴	関前3丁目					●					1			調査協力員
5	27	晴	関前3丁目					●				●	1			調査協力員
6	3	晴	関前5丁目					●					1			調査協力員
7	4		桜堤1丁目					●					1			調査協力員
7	11	晴	境南町2丁目		●								複	葉に元気がない(変色) 枯れている枝も		調査協力員
7	11	晴	桜堤2丁目		●								3			調査協力員
7	19	晴	桜堤1丁目							●			1		●	A
7	19	晴	桜堤1丁目							●			1		●	A
7	19	晴	境4丁目								●		1		●	A
7	19	晴	吉祥寺南町1丁目	●				●					1		●	E
7	19	晴	吉祥寺南町1丁目							●			1		●	E
8	1		吉祥寺南町4丁目							●			4			調査協力員
9	18	-	西久保1丁目								●		1			専門調査員
9	22	-	桜堤2丁目		●								1			専門調査員
10	13	曇	吉祥寺北町3丁目		●								1			専門調査員
10	13	曇	吉祥寺北町3丁目								●		1			専門調査員
10	8	晴	緑町2丁目		●								1			調査協力員
10	9	曇	関前3丁目					●					1			調査協力員
10	11	晴	吉祥寺北町3丁目							●			1			調査協力員
11	5	晴	吉祥寺南町1丁目					●					3			調査協力員

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9本）、●（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9本）、○（のべ10本以上）	●
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9本）、▲（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9本）、△（のべ10本以上）	●
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9本）、□（のべ10本以上）	
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9本）、★（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9本）、☆（のべ10本以上）	

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.	種名	分類	科・属
14	エゴノキ	木本	エゴノキ科エゴノキ属

1. 調査対象種の特徴

雑木林や溪谷・小川のほとりなどで普通に見られる落葉小高木。ひこばえを出して株立ちになるものが多い。葉は互生で、長さ4～8cm、幅2～4cmの卵形、先端は尖り、基部は楔形。縁は全縁か浅い鋸歯がある。裏面は淡緑色で脈腋に毛叢がある。5～6月、新枝の先に白色の両性花が垂れ下がってつく。

果実は蒴果。未熟な果皮はサポニンを含むので、潰して石鹸の代用にしたり、小川に流して魚をとるのに使用した。サポニンのえぐい味からエゴノキの名がついた。枝から汁を吸うウシツラヒゲナガゾウムシがよく見られる。枝先につく緑白色の花のようなものは、エゴノネコアシアブラムシが寄生してできた虫えい。

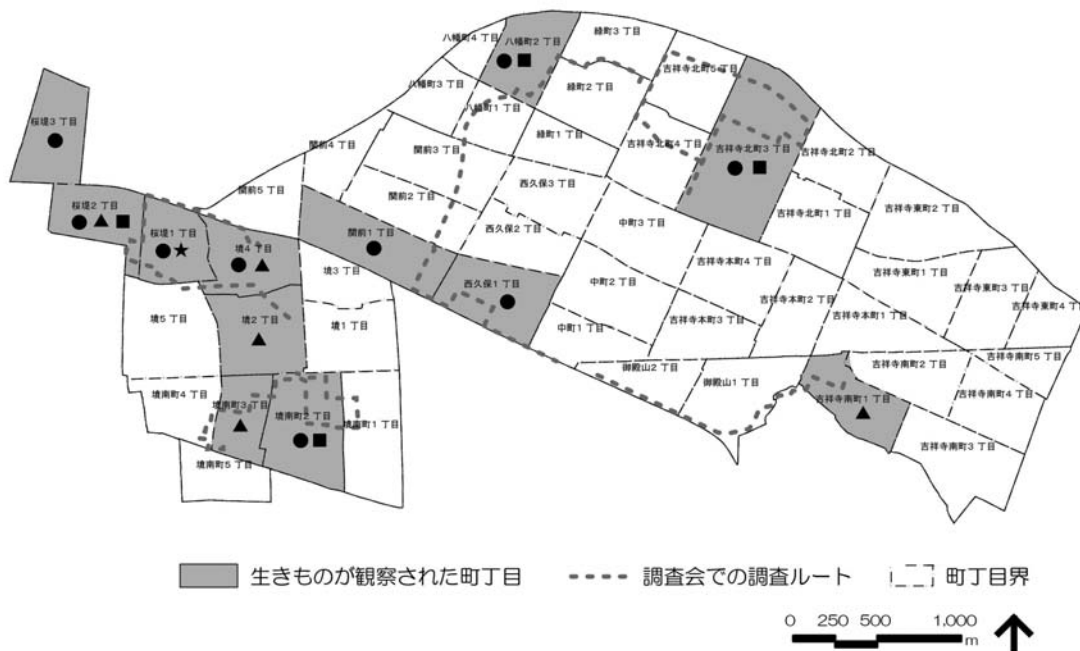
2. 観察された環境区分

①	②	③大木・ ソポリックツリ	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
樹林環境	並木環境		生垣環境	公園環境	農地環境	宅地・庭先	水辺環境	ビオトープ
●	●			●		●	●	

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
5	22	晴	桜堤3丁目					●					1		●	A
5	22	晴	桜堤2丁目					●			●		1		●	A
5	22	晴	桜堤1丁目					●		●			1		●	A
5	22	晴	境4丁目	●				●					1		●	A
5	22	晴	境4丁目								●		1		●	A
5	22	晴	境南町2丁目					●					2		●	B
5	22	晴	八幡町2丁目	●				●					3		●	C
5	22	晴	関前1丁目					●					3		●	C
5	22	晴	西久保1丁目	●				●					1		●	C
5	22	晴	吉祥寺北町3丁目								●		1		●	D
7	19	晴	境2丁目							●			1		●	A
7	19	晴	境4丁目							●			1		●	A
7	19	晴	桜堤2丁目					●					1		●	A
7	19	晴	桜堤2丁目								●		1		●	A
7	19	晴	境4丁目								●		1		●	A
7	19	晴	境4丁目					●					1		●	A
7	19	晴	境南町3丁目							●			1		●	B
7	19	晴	吉祥寺南町1丁目	●				●					1		●	E
9	18	-	八幡町2丁目	●				●					1	実		専門調査員
9	21	晴	境南町2丁目					●					1			専門調査員
9	22	-	桜堤2丁目		●								3	実		専門調査員
10	13	曇	吉祥寺北町3丁目								●		3			専門調査員
11	27	晴	桜堤1丁目								●		1		●	A

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9本）、●（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9本）、○（のべ10本以上）	
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9本）、▲（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9本）、△（のべ10本以上）	
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9本）、□（のべ10本以上）	
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9本）、★（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9本）、☆（のべ10本以上）	

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.	種名	分類	科・属
15	イボタノキ	木本	モクセイ科イボタノキ属

1. 調査対象種の特徴

山野の林縁にふつうに見られる落葉低木。よく分枝し、短枝が発達、こんもりと茂る。樹皮は灰白色～灰褐色、若枝には細毛がある。葉は対生し、葉身は長さ2～7cm、幅7～20mmの長楕円形で全縁、先端は丸味を帯び、基部は楔形。葉柄は長さ1～2mmと短い。花は5～6月、新枝の先に総状花序をだし、白い花を多数つける。刈り込みに強いので生け垣などによく使われる。

洋種イボタ(=Privet)は他人の土地との境界を示す垣根によく用いられたが、そのことがPrivate、Privacyの語源になっているとの見方もある。樹皮につくイボタロウムシが分泌する白いロウをイボタロウと呼び、薬用のほかつや出しや滑りをよくするための用途に使われた。

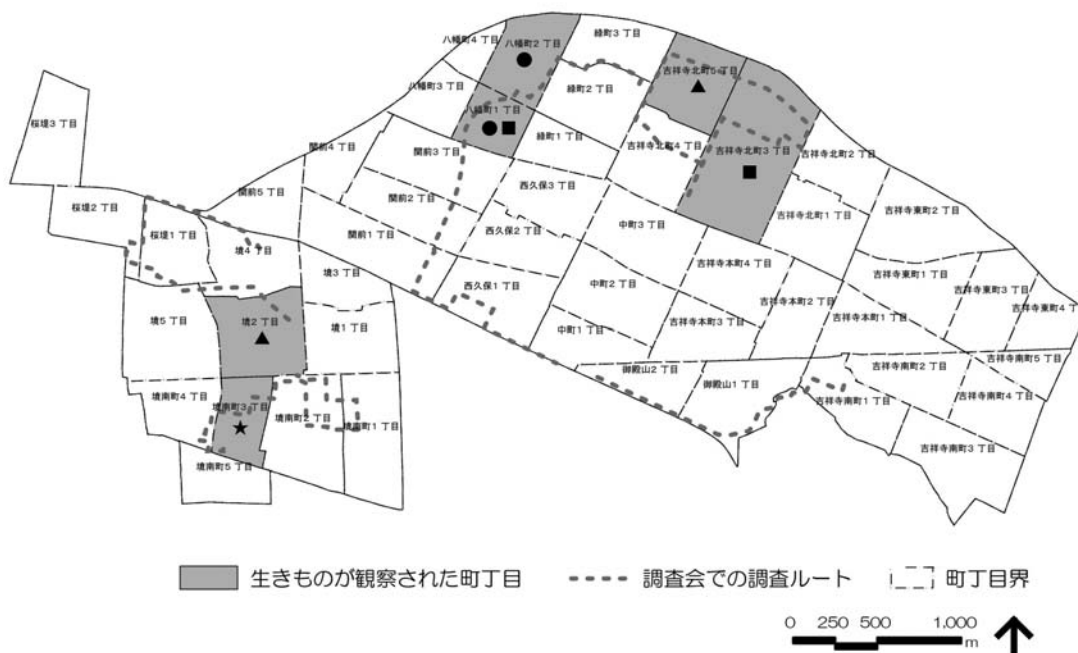
2. 観察された環境区分

①	②	③大木・ シボ [*] リックツリー	④ 生垣環境	⑤ 公園環境	⑥ 農地環境	⑦ 宅地・庭先	⑧ 水辺環境	⑨ ヒ [*] オ-フ [*]
●				●		●	●	●

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は 調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
5	22	晴	八幡町2丁目	●				●					1		●	C
5	22	晴	八幡町1丁目					●				●	1		●	C
7	19	晴	境2丁目							●			1		●	A
7	19	晴	吉祥寺北町5丁目	●									1		●	D
9	18	-	八幡町1丁目									●	1	ウラゴマダラシジミの食草		専門調査員
10	13	曇	吉祥寺北町3丁目								●		1			専門調査員
11	27	晴	境南町3丁目					●		●			1		●	B
11	27	晴	境南町3丁目					●		●			1		●	B

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9本）、●（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9本）、○（のべ10本以上）	
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9本）、▲（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9本）、△（のべ10本以上）	
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9本）、□（のべ10本以上）	
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9本）、★（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9本）、☆（のべ10本以上）	

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.	種名	分類	科・属
16	クサギ	木本	クマツヅラ科クサギ属

1. 調査対象種の特徴

日当たりの良い林縁などに見られる落葉小高木。葉は対生し、葉身は長さ8～15cm、幅5～10cmの三角状ハート形～広卵形。両面とも有毛。葉には強い臭気（アリナミン臭）があるためクサギの名がついた。夏に萼は紅紫色で花弁は白色の両性花を多数つける。

訪蝶花として有名で、筒形の花の蜜を吸うための口吻の長いアゲハチョウやヤスズメガの仲間がよく吸蜜に訪れる。また、花後に萼は濃紅色になり果実は藍色となって、二色効果でよく目立たせ、鳥を呼ぶ工夫をしている。若葉は山菜、青い果実は草木染めの染料として使われた。

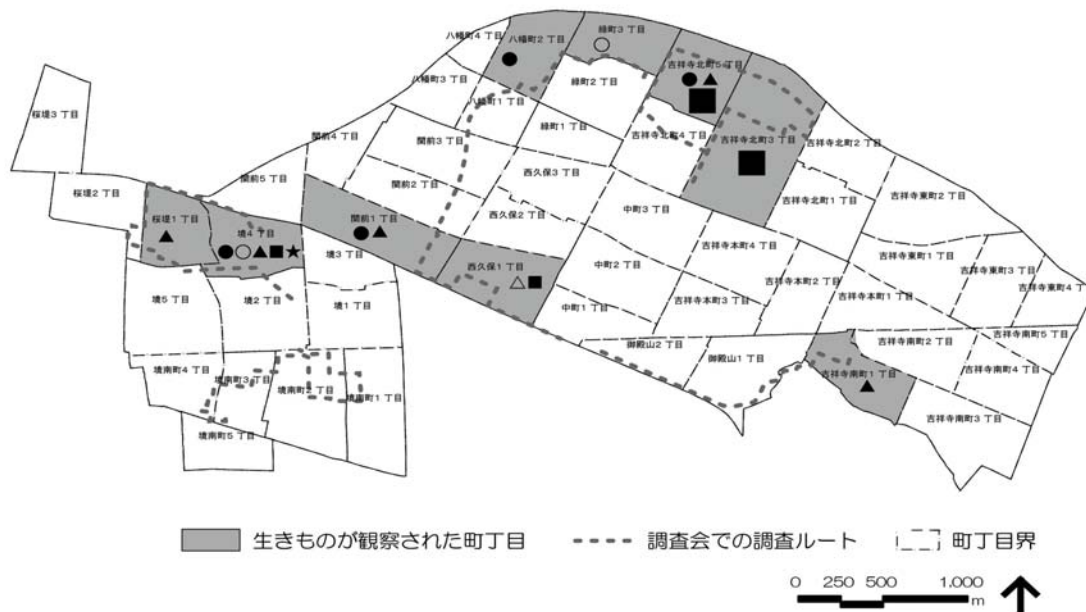
2. 観察された環境区分

①	②	③大木・ シボ・リクツリ	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
樹林環境	並木環境		生垣環境	公園環境	農地環境	宅地・庭先	水辺環境	ビオトープ
●	●			●			●	

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	は調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
5	22	晴	境4丁目	●				●					1		●	A
5	22	晴	八幡町2丁目	●				●					1		●	C
5	22	晴	関前1丁目								●		1		●	C
5	22	晴	吉祥寺北町5丁目	●									1		●	D
5	22	晴	境4丁目					●					1			調査協力員 調査協力員
6	13	晴	緑町3丁目		●								2	川の土手に存在する		
7	19	晴	桜堤1丁目								●		1		●	A
7	19	晴	境4丁目								●		1		●	A
7	19	晴	関前1丁目								●		1		●	C
7	19	晴	吉祥寺北町5丁目	●									1		●	D
7	19	晴	吉祥寺南町1丁目	●				●					1		●	E
7	19	晴	西久保1丁目								●		1			調査協力員
9	18	-	西久保1丁目								●		1	実花		専門調査員
9	22	-	境4丁目								●		1			専門調査員
9	22	-	境4丁目	●				●					1			専門調査員
9	23	曇/雨	吉祥寺北町3丁目								●		複			専門調査員
10	13	曇	吉祥寺北町5丁目		●								複			専門調査員
11	27	晴	境4丁目								●		1		●	A
11	27	晴	境4丁目								●		1		●	A

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9本）、●（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9本）、○（のべ10本以上）	●
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9本）、▲（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9本）、△（のべ10本以上）	●
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9本）、□（のべ10本以上）	
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9本）、★（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9本）、☆（のべ10本以上）	

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.	種名	分類	科・属
17	ガマズミ	木本	スイカズラ科ガマズミ属

1. 調査対象種の特徴

丘陵～山地に見られる落葉低木。葉は対生し、葉身は長さ6～14cm、幅3～13cmの倒卵形・卵形・円形と変化が多い。縁に浅い鋸歯があり、両面ともに有毛、裏面葉身基部付近に大きい腺点が2～3個あることが特徴。葉柄は長さ1～2.5cmで、コバノガマズミ（葉柄は6mm以下）に比べて長く、葉の先端が尾状に長く伸びて尖るミヤマガマズミに比べて、葉先の尖り方が鈍い。果実は赤く熟し、強い酸味がある。

ガマズミの漢名である筵迷（キョウメイ）がカメ・カマに転じ、それに酸実がついてガマズミとなったとの説がある。赤熟した果実は、果実酒にしたり、漬物を赤く染めるのに使用する。サンゴジュハムシなどに食害される。

2. 観察された環境区分

①	②	③大木・	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
樹林環境	並木環境	シホ・リクツリ	生垣環境	公園環境	農地環境	宅地・庭先	水辺環境	ビオトープ
●				●	●	●	●	

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	は調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
5	22	晴	桜堤2丁目					●			●		1		●	A
5	22	晴	桜堤1丁目					●		●			1		●	A
5	22	晴	境4丁目	●				●					1		●	A
5	22	晴	関前5丁目					●	●		●		1		●	A
5	22	晴	桜堤1丁目					●		●			1			調査協力員
5	22	晴	関前5丁目					●	●				1			調査協力員
9	22	-	境4丁目	●				●					1	実		専門調査員
11	27	晴	境4丁目								●		1		●	A

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9本）、●（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9本）、○（のべ10本以上）	●
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9本）、▲（のべ10本以上）	
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9本）、△（のべ10本以上）	
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9本）、□（のべ10本以上）	
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9本）、★（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9本）、☆（のべ10本以上）	

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.	種名	分類	科・属
18	ニワトコ	木本	スイカズラ科ニワトコ属

1. 調査対象種の特徴

林縁や沢沿いなどで見られる落葉低木～小高木。枝は下部からよく分枝して、放物線を描くように伸びる。葉は対生し、奇数羽状複葉で、長さ8～30cm。小葉は花がつく枝の葉で2～3対、花がつかない枝の葉で3～6対。3～5月、新枝の先に円錐花序を出し、直径3～5mmの小さな両性花を多数つける。花色は黄白色で時に淡紫色を帯びる。

古い幹や枯れ枝には、キノコの仲間のアラゲキクラゲが付きやすい。新芽（花芽と新葉の混芽）は山菜として人気が高いが、多食は避けた方がよい。新芽には多数のニワトコフクレアブラムシがついているのが見られるが、同時に捕食者であるテントウムシやヒラタアブの幼虫も見られる。

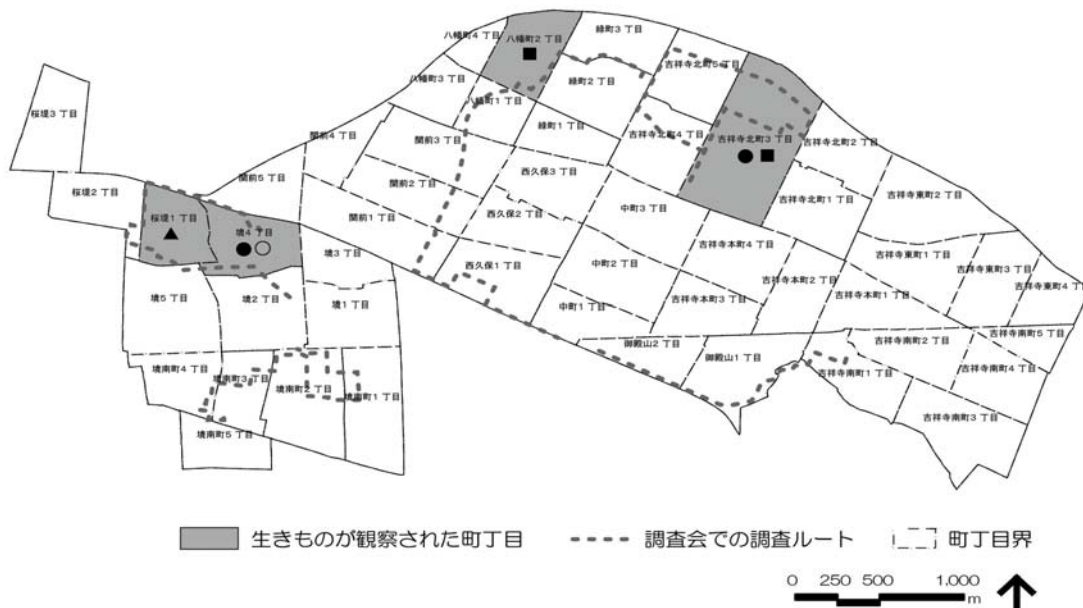
2. 観察された環境区分

①	②	③大木・ シホ リックツリ	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
樹林環境	並木環境		生垣環境	公園環境	農地環境	宅地・庭先	水辺環境	ビオトープ
	●						●	

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	は調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
5	22	晴	境4丁目								●		1		●	A
5	22	晴	吉祥寺北町3丁目		●								1		●	D
5	27	晴	境4丁目		●								1			調査協力員
7	19	晴	桜堤1丁目								●		1		●	A
9	18	-	八幡町2丁目		●								1	接骨木		専門調査員
10	13	曇	吉祥寺北町3丁目								●		2			専門調査員

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9本）、●（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9本）、○（のべ10本以上）	●
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9本）、▲（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9本）、△（のべ10本以上）	
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9本）、□（のべ10本以上）	
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9本）、★（のべ10本以上）	
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9本）、☆（のべ10本以上）	

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.	種名	分類	科・属
19	ツリガネニンジン	草本	キキョウ科ツリガネニンジン属

1. 調査対象種の特徴

山野にふつうに見られる多年草。茎は高さ0.4～1.0mになり、殆ど分枝しない。根生葉と茎葉では形が異なる。根生葉は円心形で長柄があるが、花時には枯れてなくなる。茎葉は3～4枚がふつう輪生し、まれに対生・互生し、長さ4～8cmの卵状楕円形で鋸歯があり、葉柄はごく短い。茎葉を千切ると白い乳液がでる。8～10月に茎頂に円錐形の花序を出し、1～数個の花が輪生してやや下向きにつく。花冠は鐘形で淡紫色～白色。春の若芽を山菜名では「トトキ」とよび、「山で美味しいはオケラにトトキ、里で美味しいはウリ、ナスビ」と里謡に謳われている。

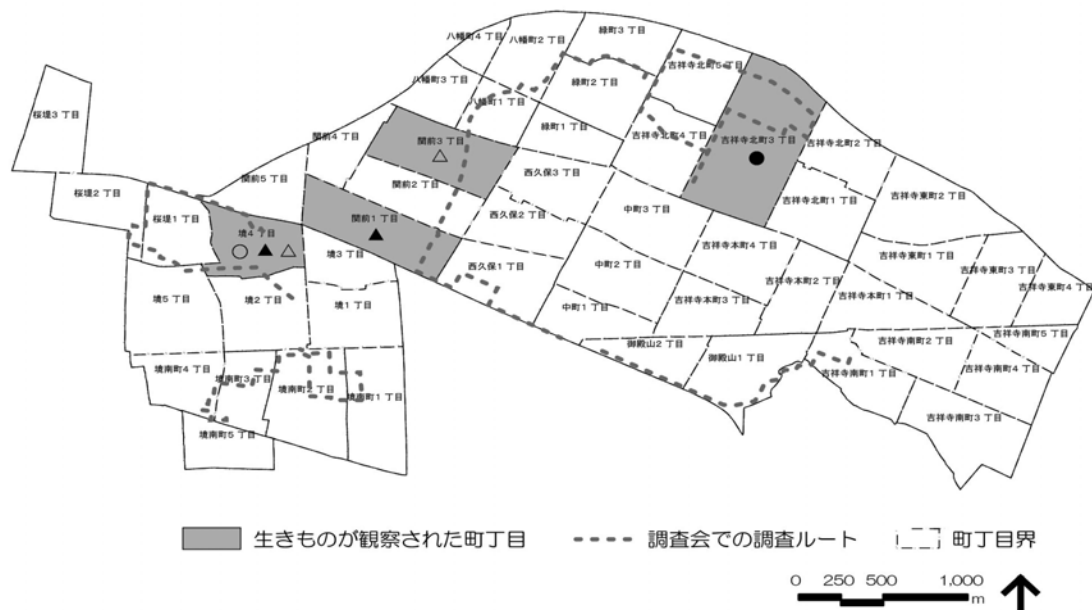
2. 観察された環境区分

①	②	③大木・	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
樹林環境	並木環境	ツボ・リックツリ	生垣環境	公園環境	農地環境	宅地・庭先	水辺環境	ビオトープ
	●			●			●	

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
5	22	晴	吉祥寺北町3丁目					●			●		1		●	D
5	27	晴	境4丁目		●								1			調査協力員
7	19	晴	境4丁目								●		1		●	A
7	19	晴	関前1丁目		●								1		●	C
8	22	晴	関前3丁目					●					1			調査協力員
8	31	晴	境4丁目					●					1			調査協力員

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9本）、●（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9本）、○（のべ10本以上）	●
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9本）、▲（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9本）、△（のべ10本以上）	●
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9本）、□（のべ10本以上）	
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9本）、★（のべ10本以上）	
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9本）、☆（のべ10本以上）	

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.	種名	分類	科・属
20	カラスウリ	草本	ウリ科カラスウリ属

1. 調査対象種の特徴

やぶなどで見られるツル性の多年草で、地下に大きな塊根がある。葉は長さ、幅とも6～10cmの卵心形または腎心形で、ふつう3～5浅裂する。表面には粗毛が密生し、光沢はない。花は暗くなってから咲き、夜明け前に萎む。スズメガの仲間が吸蜜に訪れる。花冠の縁がレースのように細かく裂ける。

名前は人間ではなく、カラスが食べるウリの意味であるが、果実の赤い色から、「唐の朱の色のウリ」の「カラシュウリ」がなまったものという説もある。また、別名をタマズサ（玉章）というが、これは種子の形を結び文に例えての名前。種子の形を大黒様に見立てて、財布に入れる風習もある。葉には、クロウリハムシ、アトボシハムシ、トホシテントウなどがよく見られる。果実が黄色いキカラスウリの根からとった澱粉は、天瓜粉と呼ばれ、あせもに使われた。

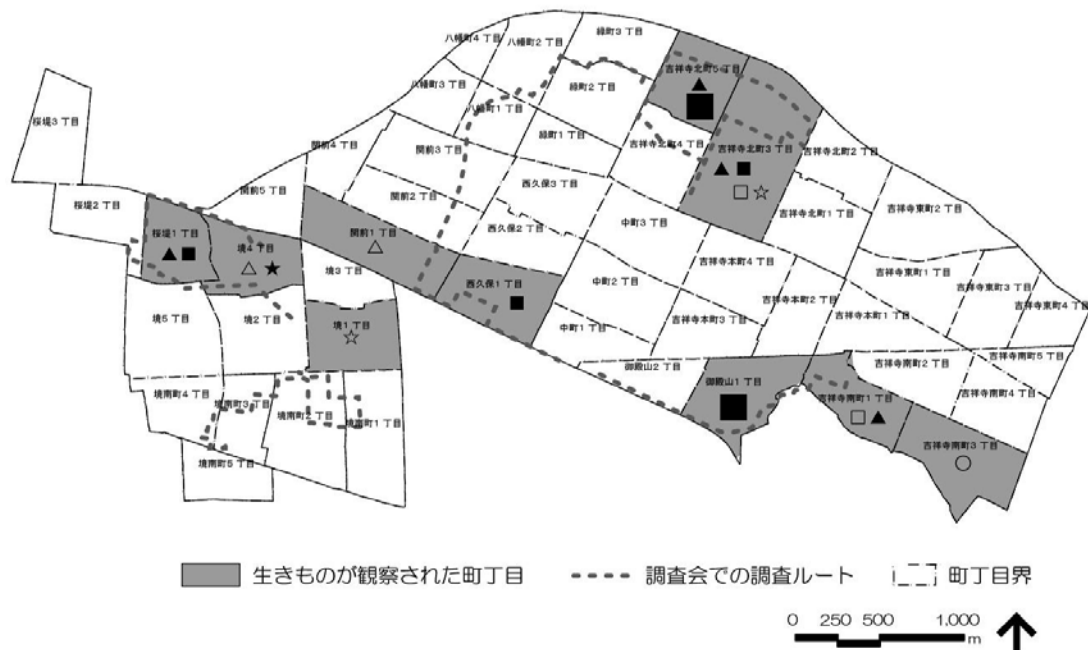
2. 観察された環境区分

①	②	③大木・ ツボ・リックツリ	④生垣環境	⑤公園環境	⑥農地環境	⑦宅地・庭先	⑧水辺環境	⑨ビオトープ
●	●		●	●	●	●	●	

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は 調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
6	29	曇	吉祥寺南町3丁目							●			5			調査協力員
7	19	晴	桜堤1丁目								●		1		●	A
7	19	晴	吉祥寺北町5丁目	●									1		●	D
7	19	晴	吉祥寺北町3丁目					●			●		1		●	D
7	19	晴	吉祥寺南町1丁目	●				●					1		●	E
8	14	晴	関前1丁目		●								1			調査協力員
8	22	晴	境4丁目					●					1			調査協力員
9	18	-	西久保1丁目								●		1			専門調査員
9	22	-	桜堤1丁目				●	●		●	●		1			専門調査員
9	23	曇/雨	吉祥寺北町5丁目						●				複			専門調査員
10	1	晴	御殿山1丁目	●									複			専門調査員
10	13	曇	吉祥寺北町5丁目		●								1			専門調査員
10	13	曇	吉祥寺北町3丁目		●								1	北側の壁からはみ出て		専門調査員
10	11	晴	吉祥寺北町3丁目					●		●			1			調査協力員
11	5	晴	吉祥寺南町1丁目					●					3			調査協力員
11	27	晴	境4丁目					●			●		1		●	A
11	27	晴	境4丁目					●			●		1		●	A
11	27	晴	吉祥寺北町3丁目				●						2	果実		調査協力員
1	30	晴	境1丁目							●			4	枯れて乾いて風に吹かれていた		調査協力員

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9本）、●（のべ10本以上）	
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9本）、○（のべ10本以上）	●
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9本）、▲（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9本）、△（のべ10本以上）	●
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9本）、□（のべ10本以上）	●
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9本）、★（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9本）、☆（のべ10本以上）	●

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.	種名	分類	科・属
21	タチツボスミレ	草本	スミレ科スミレ属

1. 調査対象種の特徴

山地から人家付近の道ばたまで広く分布し、普通に見られるスミレで、花の後、花茎が10cmほどに高く伸びること、托葉が櫛の歯状に深裂することが特徴。

タチツボスミレの名は、花茎がたち、坪（庭さき）で見られるスミレという意味。花の色は濃淡の変化が多い。花のあと、花弁が退化した閉鎖花をつける。また、アリに種子を運んでもらうためのエライオソーム（種枕）を種子につけている。ツマグロヒョウモンなどの食草となっている。

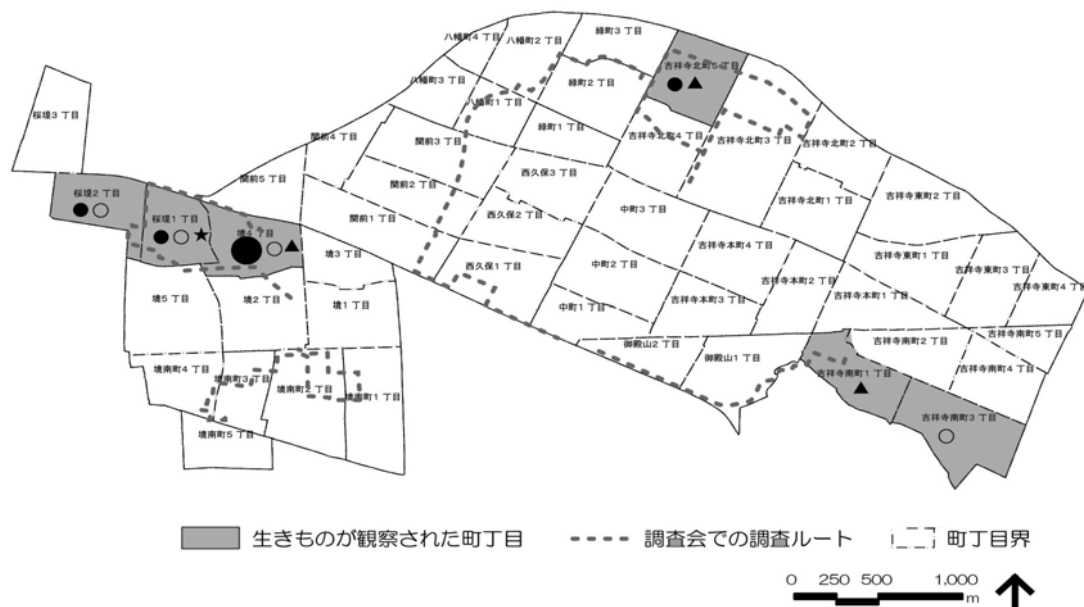
2. 観察された環境区分

①	②	③大木・ ツボ リックツリ	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
樹林環境	並木環境		生垣環境	公園環境	農地環境	宅地・庭先	水辺環境	ビオトープ
●	●		●	●		●	●	

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は 調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
5	22	晴	桜堤2丁目					●			●		1		●	A
5	22	晴	桜堤1丁目							●			1		●	A
5	22	晴	桜堤1丁目				●	●		●	●		1		●	A
5	22	晴	境4丁目	●				●					複		●	A
5	22	晴	吉祥寺北町5丁目	●									1		●	D
5	22	晴	桜堤1丁目							●			1			調査協力員
5	22	晴	境4丁目					●					1			調査協力員
5	27	晴	境4丁目					●					1			調査協力員
5	30	晴	桜堤2丁目		●						●		1			調査協力員
6	11	曇	吉祥寺南町3丁目							●			5			調査協力員
7	19	晴	境4丁目								●		複		●	A
7	19	晴	吉祥寺北町5丁目	●									1		●	D
7	19	晴	吉祥寺南町1丁目	●				●					1		●	E
11	27	晴	桜堤1丁目				●	●		●	●		1		●	A

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9本）、●（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9本）、○（のべ10本以上）	●
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9本）、▲（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9本）、△（のべ10本以上）	
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9本）、□（のべ10本以上）	
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9本）、★（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9本）、☆（のべ10本以上）	

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.	種名	分類	科・属
22	メドハギ	草本	マメ科ハギ属

1. 調査対象種の特徴

日当たりのよい道ばたや草地に生える多年草。草丈は0.6～1 m。茎はやや木質化する。葉は3小葉で、茎に密生する。小葉は長さ1～2.5cm、幅2～4mmの倒披針形で、裏面には伏毛がある。花は葉腋に数個ずつつき、黄白色。

豆果は扁平な円形～広楕円形。メドハギは、メトギハギがなまったもので、茎を占いの筈（ゼイ、めとぎ、薔）に用いたことからの名前。シロチョウ科のキチョウ（キタキチョウ）はメドハギに好んで産卵する。

2. 観察された環境区分

①	②	③大木・	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
樹林環境	並木環境	シボ リックツリ	生垣環境	公園環境	農地環境	宅地・庭先	水辺環境	ビオトープ
				●			●	

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
7	19	晴	吉祥寺北町3丁目					●			●		1		●	D
10	13	曇	吉祥寺北町3丁目					●			●		複			専門調査員

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9本）、●（のべ10本以上）	
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9本）、○（のべ10本以上）	
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9本）、▲（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9本）、△（のべ10本以上）	
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9本）、□（のべ10本以上）	
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9本）、★（のべ10本以上）	
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9本）、☆（のべ10本以上）	

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.	種名	分類	科・属
23	クズ	草本	マメ科クズ属

1. 調査対象種の特徴

山野にふつうに見られるツル性の多年草。全体に黄褐色の粗い毛がある。葉は3小葉からなり、裏面に白毛が密生する。小葉は長さ10～15cmで浅く2～3裂するものが多い。花は総状に多数つき、紅紫色で長さ1.8～2cm。豆果は長さ5～10cmで褐色の剛毛が密生する。

根からとった澱粉が葛粉で、奈良県の国栖（くす）が葛粉の産地であったことからの名前。根を乾燥したものを、風邪薬の「葛根湯」に用い、茎からとった繊維で葛布をつくる。花の香りは良く、秋の七草の1つ。花は、雄しべ10本が合着して1本になっているのが特徴。ウラギンシジミ幼虫、ヒメコガネ、オジロアシナガゾウムシ、コフキゾウムシ、クズノチビタマムシなどがクズを利用している。

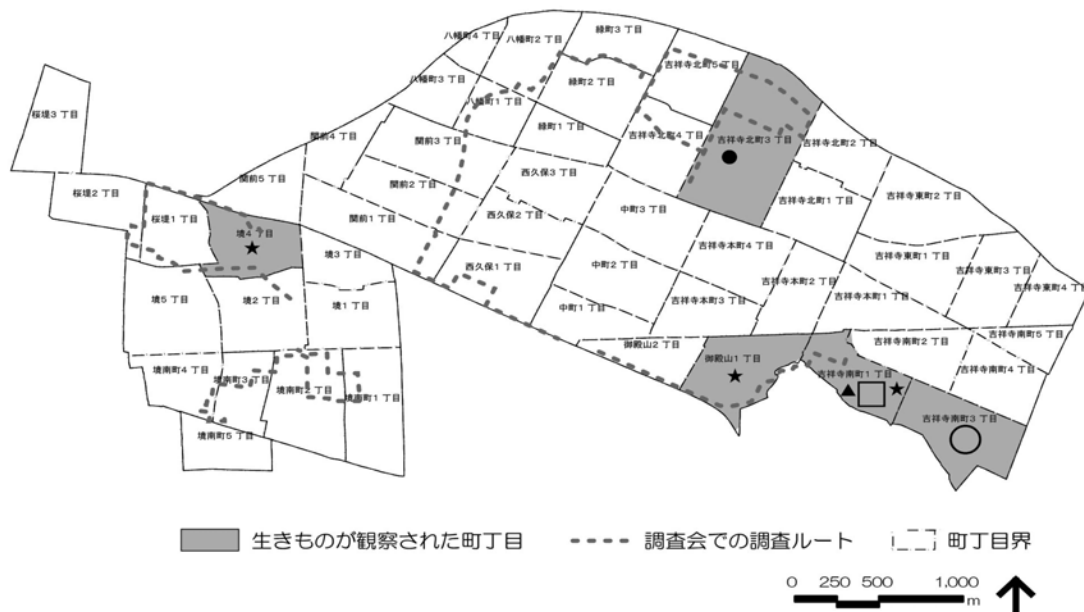
2. 観察された環境区分

①	②	③大木・ シホ リックツリ	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
樹林環境	並木環境		生垣環境	公園環境	農地環境	宅地・庭先	水辺環境	ビオトープ
				●		●	●	

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は 調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
5	22	晴	吉祥寺北町3丁目					●			●		1		●	D
6	11	曇	吉祥寺南町3丁目							●			複			調査協力員
7	19	晴	吉祥寺南町1丁目								●		1		●	E
11	5	晴	吉祥寺南町1丁目					●					複	一群		調査協力員
11	27	晴	境4丁目					●					1		●	A
11	27	晴	吉祥寺南町1丁目					●					1		●	E
11	27	晴	御殿山1丁目							●			1		●	E

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9本）、●（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9本）、○（のべ10本以上）	●
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9本）、▲（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9本）、△（のべ10本以上）	
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9本）、□（のべ10本以上）	●
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9本）、★（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9本）、☆（のべ10本以上）	

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.	種名	分類	科・属
24	ヘビイチゴ	草本	バラ科ヘビイチゴ属

1. 調査対象種の特徴

あぜ道や小川の土手などやや湿ったところに生える多年草。茎は地面を這い、節から根を出して増える。葉は3出複葉で黄緑色。3節目以降の節から長い柄をだして黄色の花を1個つける。副萼片は萼片よりも大きい。果床は淡紅色でしわがあり、瘦果にもシワがある。有毒ではないが果汁がなく、おいしくはない。

よく似たヤブヘビイチゴは、藪や林縁に見られ、葉は濃緑色で、果床は濃紅色で光沢があり、瘦果にはシワがなく艶があることで区別できる。オヘビイチゴは5小葉であり、ヘビイチゴ属ではなく、キシムシロ属なので、果実の果床は膨らまず苺形にならない。

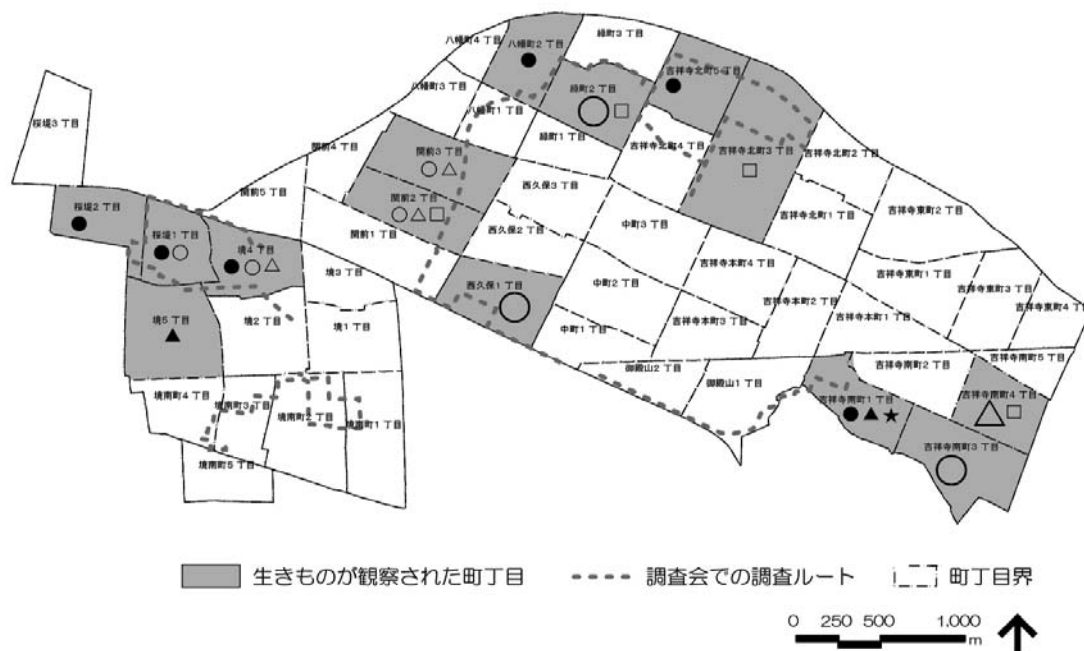
2. 観察された環境区分

①	②	③大木・ シボ・リクツリ	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
樹林環境	並木環境		生垣環境	公園環境	農地環境	宅地・庭先	水辺環境	ビオトープ
●	●			●		●	●	

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は 調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
5	22	晴	桜堤2丁目					●			●		1		●	A
5	22	晴	桜堤1丁目							●			1		●	A
5	22	晴	境4丁目	●				●					1		●	A
5	22	晴	八幡町2丁目	●				●					6		●	C
5	22	晴	吉祥寺北町5丁目	●									1		●	D
5	22	晴	吉祥寺南町1丁目								●		1		●	E
5	22	晴	桜堤1丁目							●			1			調査協力員
5	22	晴	境4丁目					●					1			調査協力員
5	27	晴	関前3丁目					●					1			調査協力員
6	3	晴	関前2丁目							●			1			調査協力員
6	11	曇	吉祥寺南町3丁目							●			複			調査協力員
6	13	晴	緑町2丁目		●								複			調査協力員
6	20	曇	西久保1丁目		●								複			調査協力員
6	26	晴	境4丁目					●					1			調査協力員
7	19	晴	境5丁目							●			1		●	A
7	19	晴	吉祥寺南町1丁目										1		●	E
8	1	-	吉祥寺南町4丁目							●			10			調査協力員
8	22	晴	関前3丁目					●					1			調査協力員
8	31	晴	境4丁目					●					1			調査協力員
9	21	晴	関前2丁目							●			1			調査協力員
9	29	晴	関前2丁目							●			1			調査協力員
10	11	晴	吉祥寺北町3丁目							●			1			調査協力員
10	8	晴	緑町2丁目		●								1			調査協力員
10	15	-	吉祥寺南町4丁目							●			5			調査協力員
10	27	晴	関前2丁目							●			1			調査協力員
11	21	晴	関前2丁目							●			1			調査協力員
11	27	晴	吉祥寺南町1丁目					●					1		●	E

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9本）、●（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9本）、○（のべ10本以上）	●
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9本）、▲（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9本）、△（のべ10本以上）	●
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9本）、□（のべ10本以上）	●
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9本）、★（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9本）、☆（のべ10本以上）	

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.	種名	分類	科・属
25	キンミズヒキ	草本	バラ科キンミズヒキ属

1. 調査対象種の特徴

路傍や草地でみられる多年草で、草丈30~80cm。葉は奇数羽状複葉で、小葉は5~9枚。大小が不揃いで、裏面に腺点があることが特徴。花は黄色で直径6~10mm、萼筒がよく発達し、萼片は5個。萼筒の縁にはカギ状の刺が多数ある。瘦果は萼筒と萼片に包まれて熟し、刺で動物にくっつく。名前は細長い花序をタデ科のミズヒキにたとえ、花が黄色であることから。

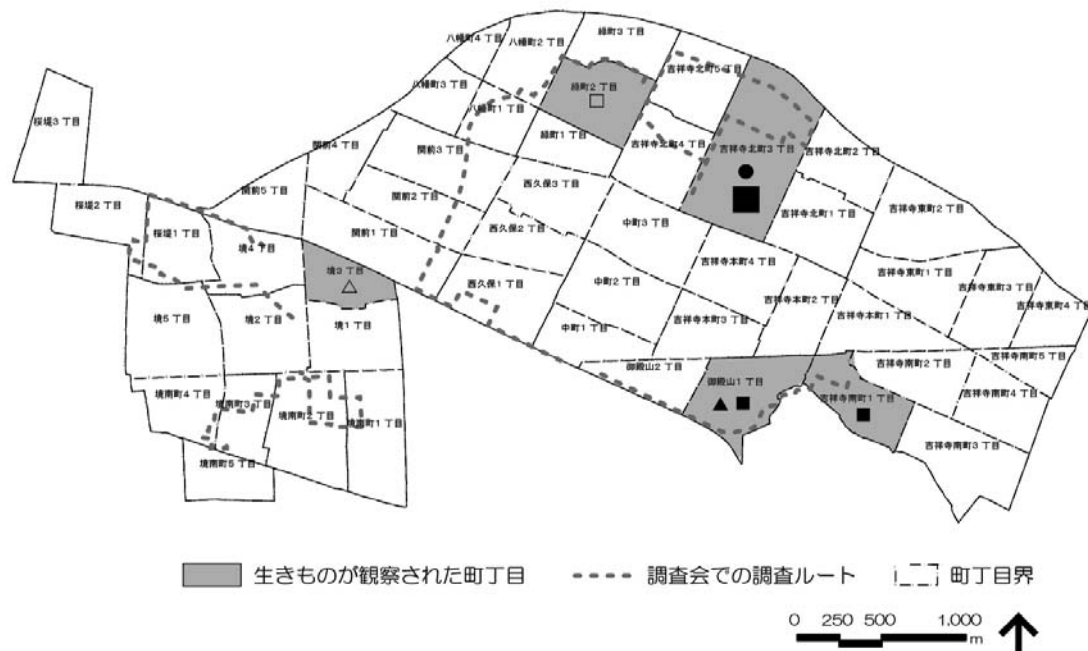
2. 観察された環境区分

①	②	③大木・ ツボ・リクツリ	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
樹林環境	並木環境		生垣環境	公園環境	農地環境	宅地・庭先	水辺環境	ビオトープ
●	●			●			●	

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は 調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
5	22	晴	吉祥寺北町3丁目					●			●		1		●	D
7	19	晴	御殿山1丁目					●			●		1		●	E
9	24	晴	境3丁目								●		1			調査協力員
9	23	曇/雨	吉祥寺北町3丁目					●			●		複			専門調査員
9	24	晴	御殿山1丁目	●									1			専門調査員
9	24	晴	吉祥寺南町1丁目					●					1			専門調査員
10	13	曇	吉祥寺北町3丁目					●			●		複			専門調査員
10	8	晴	緑町2丁目		●								1			調査協力員

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9本）、●（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9本）、○（のべ10本以上）	
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9本）、▲（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9本）、△（のべ10本以上）	●
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9本）、□（のべ10本以上）	●
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9本）、★（のべ10本以上）	
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9本）、☆（のべ10本以上）	

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.	種名	分類	科・属
26	クサノオウ	草本	ケシ科クサノオウ属

1. 調査対象種の特徴

日当たりのよい路傍や草地で見られる草丈30~80cmの2年草。全体に縮毛がおおく、白っぽく見える。葉は1~2回羽状に裂ける。花は鮮黄色で直径約2cm。蒴果は長さ3~4cmの細長い円柱形。茎や葉を切ると有毒の黄色い液がでる。

鎮静・鎮痛の作用もあるため、尾崎紅葉が胃がんの痛み止めに使ったと言われている。名前は黄色の乳液がでるので「草の黄」であるとか、皮膚病にも効くので「瘡（くさ）の王」であるとか、薬草の王様という意味で「草の王」であるとかの諸説がある。アリが好むエライオゾーム（種枕）がついており、アリによって種子が運ばれる。種子は沢山できるが、発芽するのは極めて少ないと言われている。

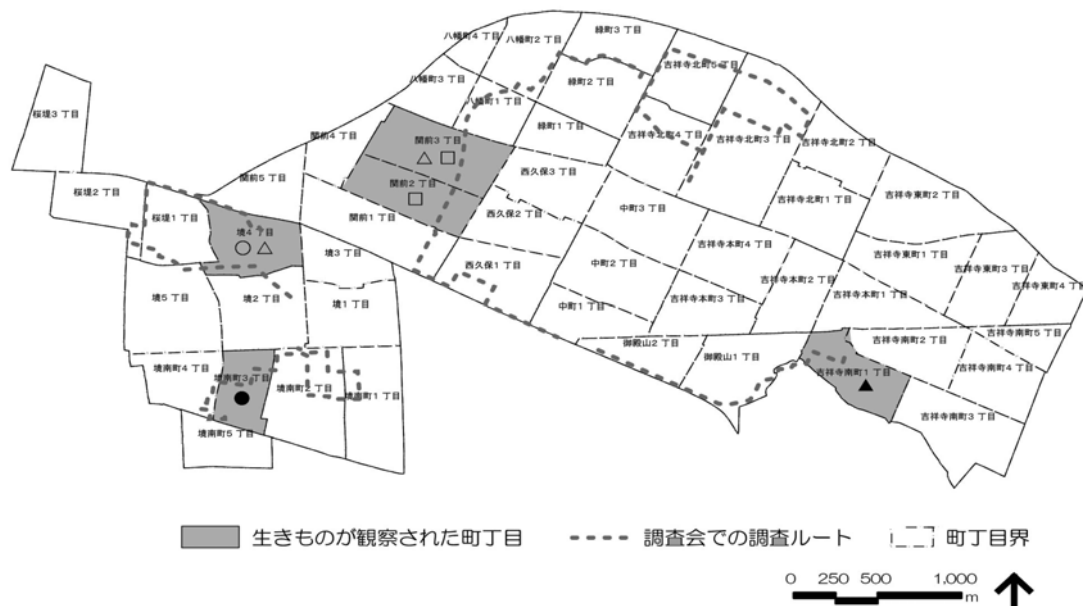
2. 観察された環境区分

①	②	③大木・ シボリックツリー	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
樹林環境	並木環境		生垣環境	公園環境	農地環境	宅地・庭先	水辺環境	ビオトープ
			●	●		●	●	

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は 調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
5	22	晴	境南町3丁目					●					1		●	B
5	22	晴	境南町3丁目				●						1		●	B
6	26	晴	境4丁目					●					1			調査協力員
7	19	晴	吉祥寺南町1丁目				●				●		1		●	E
8	22	晴	関前3丁目					●					1			調査協力員
8	31	晴	境4丁目					●					1			調査協力員
9	29	晴	関前2丁目							●			1			調査協力員
10	9	曇	関前3丁目					●					1			調査協力員

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9本）、●（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9本）、○（のべ10本以上）	●
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9本）、▲（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9本）、△（のべ10本以上）	●
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9本）、□（のべ10本以上）	
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9本）、★（のべ10本以上）	
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9本）、☆（のべ10本以上）	

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.	種名	分類	科・属
27	ムラサキケマン	草本	ケシ科キケマン属

1. 調査対象種の特徴

山野のやや湿ったところに生える2年草。全体が柔らかくて折れやすく、傷つけるとやや悪臭がある有毒植物。葉は2～3回羽状に細かく裂ける。花は茎の上部にびっしりと総状につき、紅紫色で長さ1.2～1.8cm。まれに白花もある。

ムラサキケマンのケマン（華鬘）とは、仏殿の欄間などを飾る仏具のことで、花の形が似ていると見立てての名前。果実は蒴果で、種子にはアリの好むエライオソーム（種枕）があり、アリによって種子が運ばれる。ウスバシロチョウというアゲハチョウ科のチョウの食草。

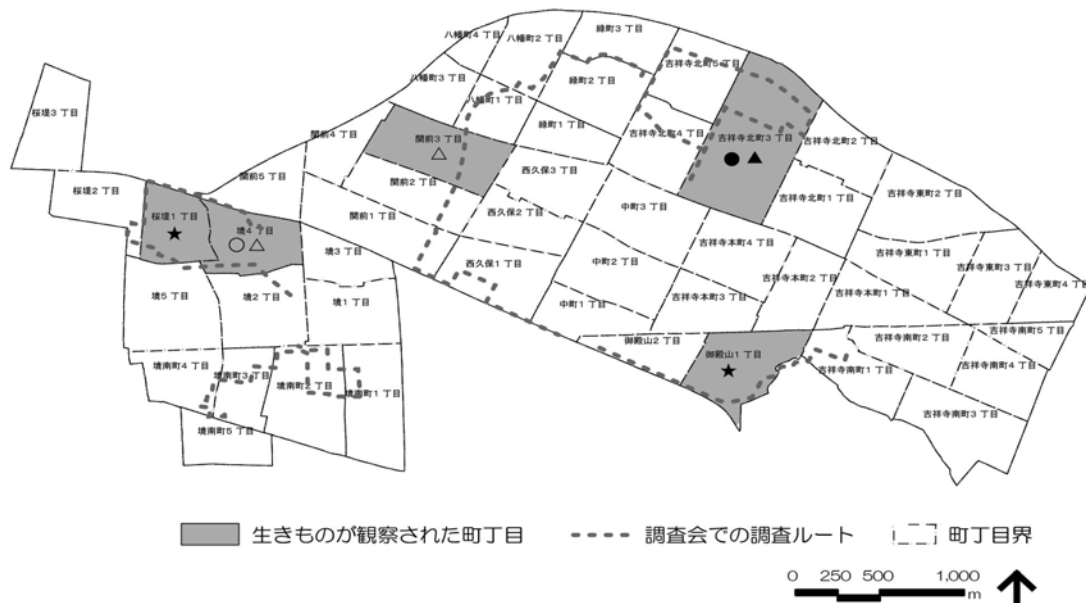
2. 観察された環境区分

①	②	③大木・ シホ・リクナリ	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
樹林環境	並木環境		生垣環境	公園環境	農地環境	宅地・庭先	水辺環境	ビオトープ
	●			●		●	●	

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は 調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
5	22	晴	吉祥寺北町3丁目					●					1		●	D
5	27	晴	境4丁目		●								1			調査協力員
7	19	晴	吉祥寺北町3丁目					●			●		1		●	D
8	22	晴	関前3丁目					●					1			調査協力員
8	31	晴	境4丁目					●					1			調査協力員
11	27	晴	桜堤1丁目					●					1		●	A
11	27	晴	御殿山1丁目							●			1		●	E

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9本）、●（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9本）、○（のべ10本以上）	●
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9本）、▲（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9本）、△（のべ10本以上）	●
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9本）、□（のべ10本以上）	
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9本）、★（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9本）、☆（のべ10本以上）	

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.	種名	分類	科・属
28	イヌタデ	草本	タデ科タデ属

1. 調査対象種の特徴

路傍や畑、荒地などに普通に見られる高さ20～50cmの1年草。薬味に使うヤナギタデ（マタデ）に似るが、辛味がなく薬味としての役に立たないことから、イヌタデの名がついた。昔はネズミをとるネコに比べてイヌは吠えるばかりで役に立たないとの見方があり、犬待など、「劣る、役立たず」の意味で「イヌ」を枕詞につけた草木の名前が多い。

葉は互生し、長さ3～8cmの広披針形～披針形で先は尖る。托葉鞘は長さ7～8mmの筒形で、縁に長い毛があるのが特徴。花序は1～5cmで、紅色の小花を多数つける。花被は5裂し、花後に瘦果を包む。別名をアカマンマと呼び、赤飯にみたててままごとに使った。

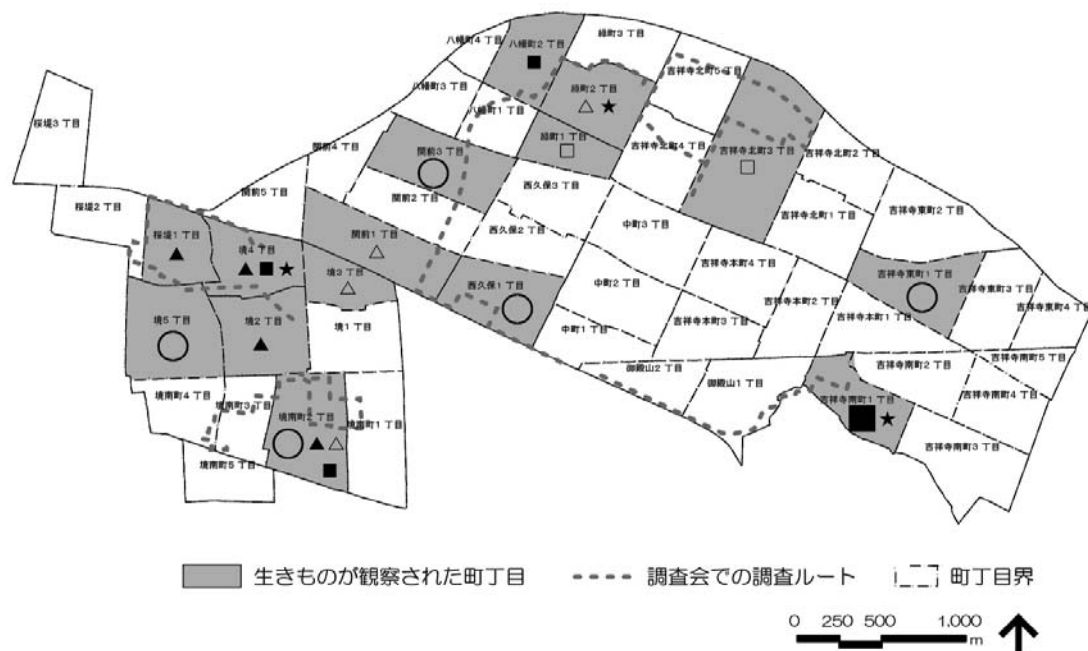
2. 観察された環境区分

①	②	③大木・ シボ リックツリ	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
樹林環境	並木環境		生垣環境	公園環境	農地環境	宅地・庭先	水辺環境	ビオトープ
●	●			●		●	●	●

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は 調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
6	20	曇	西久保1丁目		●								複			調査協力員
6	29	晴	吉祥寺東町1丁目		●					●			10			調査協力員
7	3	-	関前3丁目					●					複	歩道沿、小川沿、竹林周辺に多い		調査協力員
7	11	晴	境南町2丁目									●	複	水が流れる源泉あたりに生えている		調査協力員
7	11	晴	境5丁目		●								複			調査協力員
7	19	晴	桜堤1丁目								●		1		●	A
7	19	晴	境4丁目								●		1		●	A
7	19	晴	境2丁目					●					1		●	A
7	19	晴	境4丁目	●				●			●		1		●	A
7	19	晴	境南町2丁目					●					6		●	B
8	27	晴	関前1丁目					●					1	春には全滅		調査協力員
8	21	晴	緑町2丁目		●								6			調査協力員
9	20	曇	境南町2丁目							●			2			調査協力員
9	24	晴	境3丁目								●		1			調査協力員
9	18	-	八幡町2丁目	●				●					1	赤まんま		専門調査員
9	21	晴	境南町2丁目					●					1			専門調査員
9	22	-	境4丁目								●		1			専門調査員
9	22	-	境4丁目								●		1			専門調査員
9	24	晴	吉祥寺南町1丁目					●					複			専門調査員
10	1	晴	吉祥寺南町1丁目					●					複			専門調査員
9	25	晴	緑町1丁目							●			8			調査協力員
10	11	晴	吉祥寺北町3丁目							●			1			調査協力員
11	27	晴	境4丁目										1		●	A
11	27	晴	緑町2丁目					●		●			1		●	C
11	27	晴	吉祥寺南町1丁目					●					1		●	E

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9本）、●（のべ10本以上）	
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9本）、○（のべ10本以上）	●
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9本）、▲（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9本）、△（のべ10本以上）	●
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9本）、□（のべ10本以上）	●
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9本）、★（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9本）、☆（のべ10本以上）	

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.	種名	分類	科・属
29	ミズヒキ	草本	タデ科タデ属

1. 調査対象種の特徴

林縁や路傍に見られる高さ50~80cmの多年草。葉は互生し、長さ7~15cmの広楕円形~倒卵形で先は急に尖り、中央付近にしばしば黒斑紋がある。茎の先に長さ約30cmの細い総状花序をだし、小花がまばらに横向きに着く。花被片は4深裂し、上側の3枚は赤く、下側の1枚は白い。そのため上から見ると赤く、下から見ると白いので、紅白のミズヒキに例えた名前がついた。瘦果は花被片に包まれたまま熟し、先が鉤型に曲がった花柱が残り、これで動物に付着して種子が運ばれる。

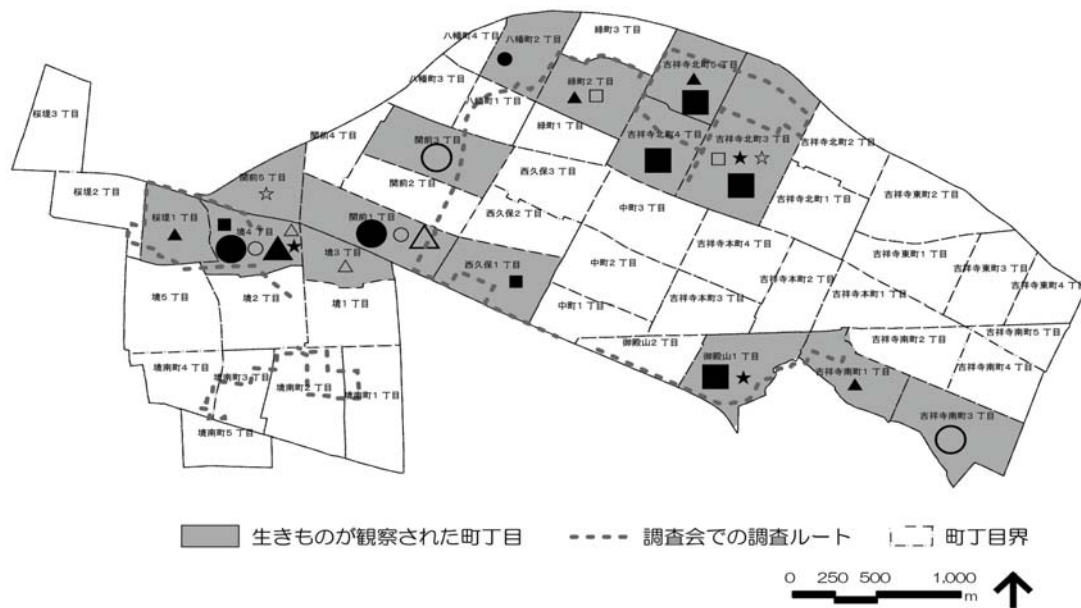
2. 観察された環境区分

①	②	③大木・ シボ リックツリ	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
樹林環境	並木環境		生垣環境	公園環境	農地環境	宅地・庭先	水辺環境	ビオトープ
●	●			●		●	●	

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は 調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
5	22	晴	境4丁目	●				●					複		●	A
5	22	晴	八幡町2丁目	●				●					1		●	C
5	22	晴	関前1丁目								●		複		●	C
5	27	晴	関前3丁目					●					1			調査協力員
5	22	晴	関前1丁目								●		1			調査協力員
6	11	曇	吉祥寺南町3丁目							●			複			調査協力員
6	26	晴	境4丁目					●					1			調査協力員
7	3		関前3丁目					●					複	池の周囲にふ入りの葉が多くみられる		調査協力員
7	19	晴	桜堤1丁目								●		1		●	A
7	19	晴	境4丁目								●		複		●	A
7	19	晴	境4丁目					●					1		●	A
7	19	晴	緑町2丁目								●		1		●	C
7	19	晴	吉祥寺北町5丁目	●									1		●	D
7	19	晴	吉祥寺南町1丁目					●			●		1		●	E
8	22	晴	境4丁目					●					1			調査協力員
8	31	晴	境4丁目					●					1			調査協力員
8	14	晴	関前1丁目								●		複			調査協力員
9	24	晴	境3丁目								●		1			調査協力員
9	18	-	西久保1丁目								●		1			専門調査員
9	22	-	境4丁目								●		1	花		専門調査員
9	22	-	境4丁目	●				●					1			専門調査員
9	24	晴	御殿山1丁目	●									1	白花		専門調査員
9	24	晴	御殿山1丁目	●									複	紅花		専門調査員
10	1	晴	御殿山1丁目	●									複	白花		専門調査員
10	13	曇	吉祥寺北町5丁目	●									複			専門調査員
10	13	曇	吉祥寺北町4丁目							●			複			専門調査員
10	13	曇	吉祥寺北町3丁目					●			●		複			専門調査員
10	11	晴	吉祥寺北町3丁目							●			2			調査協力員
10	8	晴	緑町2丁目		●								1			調査協力員
11	27	晴	境4丁目					●					1		●	A
11	27	晴	吉祥寺北町3丁目					●					1		●	D
11	27	晴	御殿山1丁目							●			1		●	E
11	27	晴	吉祥寺北町3丁目					●					1	種		調査協力員
1	2	晴	関前5丁目		●								1			調査協力員

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9本）、●（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9本）、○（のべ10本以上）	●
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9本）、▲（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9本）、△（のべ10本以上）	●
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9本）、□（のべ10本以上）	●
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9本）、★（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9本）、☆（のべ10本以上）	●

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.	種名	分類	科・属
30	ネジバナ	草本	ラン科ネジバナ属

1. 調査対象種の特徴

日当たりのよい草地や芝生などに生える多年草。根は白く、紡錘状に肥大する。葉は長さ5～20cm、幅0.3～1cmの線状倒披針形で先端は尖る。花茎は高さ10～40cmになり、花序は長さ5～15cmで、小さな花を螺旋状につける。

ネジバナの名は螺旋状に花序がねじれることによる。捩じれには、左巻き、右巻きの両方があり、途中で巻き方をかえるものもある。別名のモジズリ（捩摺）は、捩じれ模様に染めた絹織物の名前で、捩じれた花序をこの模様に見立てたもの。

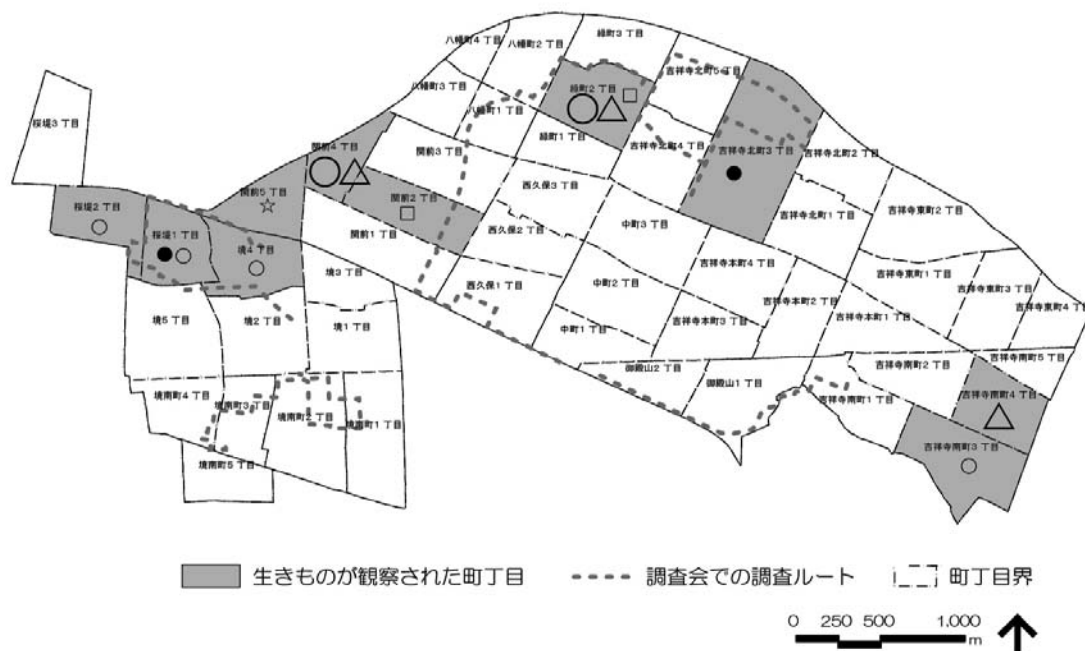
2. 観察された環境区分

①	②	③大木・ ツバキ・リクツリ	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
樹林環境	並木環境		生垣環境	公園環境	農地環境	宅地・庭先	水辺環境	ビオトープ
	●			●		●	●	

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は 調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
5	22	晴	桜堤1丁目							●			1		●	A
5	22	晴	桜堤1丁目					●			●		3		●	A
5	22	晴	吉祥寺北町3丁目					●			●		1		●	D
5	22	晴	桜堤1丁目							●			1	中央広場群集		調査協力員
5	30	曇	緑町2丁目		●								複			調査協力員
6	10	-	境4丁目		●								1			調査協力員
6	26	-	関前4丁目		●								6			調査協力員
6	26	晴	境4丁目				●						1			調査協力員
6	29	曇	吉祥寺南町3丁目							●			3			調査協力員
7	4	-	境4丁目							●			1			調査協力員
7	4	-	桜堤2丁目							●			1			調査協力員
7	4	-	関前4丁目		●								200			調査協力員
8	1	-	吉祥寺南町4丁目							●			複			調査協力員
8	12	晴	関前4丁目							●			複			調査協力員
8	21	晴	緑町2丁目		●								複			調査協力員
10	8	晴	緑町2丁目		●								1			調査協力員
10	24	晴	関前2丁目							●			1			調査協力員
1	2	晴	関前5丁目		●								2	刈り残し、保存10cm位		調査協力員

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9本）、●（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9本）、○（のべ10本以上）	●
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9本）、▲（のべ10本以上）	
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9本）、△（のべ10本以上）	●
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9本）、□（のべ10本以上）	●
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9本）、★（のべ10本以上）	
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9本）、☆（のべ10本以上）	●

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.	種名	分類	科・属
31	シュンラン	草本	ラン科シュンラン属

1. 調査対象種の特徴

松林など乾燥した林内に生える多年草。葉は長さ20～35cm、幅0.6～1cmの線形で固い。花茎は肉質で太く、高さ10～25cmになり、膜質の鱗片に覆われる。花はふつう1個つき、萼片は帯緑色～帯黄緑色で、長さ3～3.5cm。側花弁はやや小さい。唇弁は白色で濃赤紫色の斑点がある。

花期は3～4月。中には花の色が紫色や黄色、赤色のものなどがあり、葉に黄色や白色の斑が入るもの等があって、昔から高価に取引され、古典植物として知られている。花を塩漬けにしたものは、桜湯と同様に祝い事に使われた。

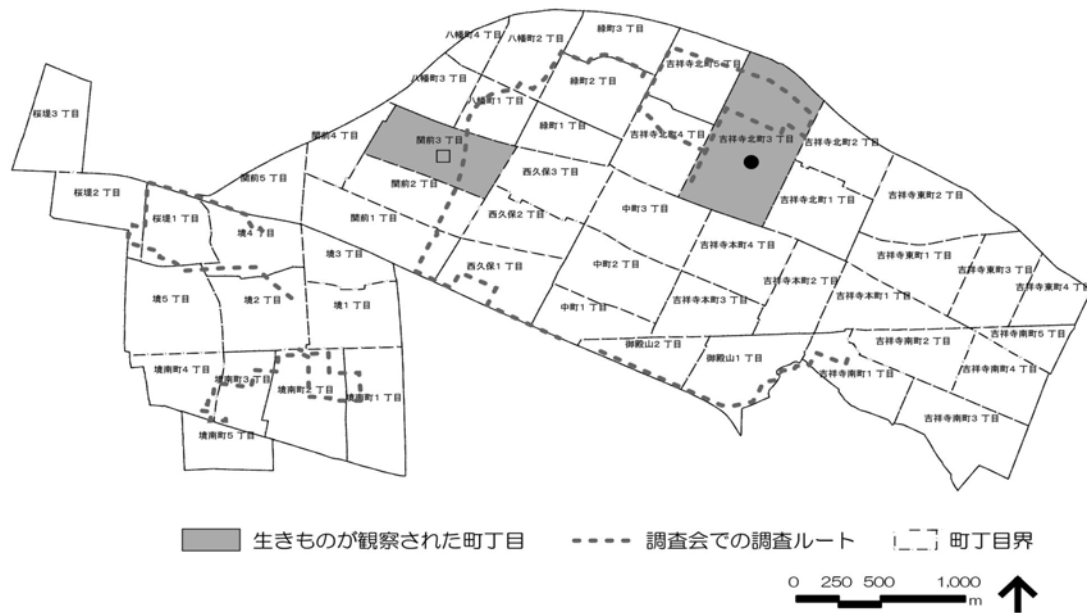
2. 観察された環境区分

①	②	③大木・	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
樹林環境	並木環境	シボ・リクツリ	生垣環境	公園環境	農地環境	宅地・庭先	水辺環境	ビオトープ
				●			●	

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
5	22	晴	吉祥寺北町3丁目					●			●		1		●	D
10	9	曇	関前3丁目					●					1			調査協力員

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9本）、●（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9本）、○（のべ10本以上）	
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9本）、▲（のべ10本以上）	
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9本）、△（のべ10本以上）	
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9本）、□（のべ10本以上）	●
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9本）、★（のべ10本以上）	
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9本）、☆（のべ10本以上）	

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.	種名	分類	科・属
32	ノカンゾウ	草本	ユリ科ワスレグサ属

1. 調査対象種の特徴

田の畔や溝のふちなど、やや湿った場所に多い多年草。ヤブカンゾウよりもひとまわり小型で、葉幅が1～1.5cmと細いことがヤブカンゾウとの違いである。花もヤブカンゾウの八重にたいしてノカンゾウは一重で、花の色はヤブカンゾウよりも赤味が強く、橙赤色～赤褐色と変化が多い。
ベニカンゾウの別名もある。ヤブカンゾウと同様に、若芽を山菜として利用し、花は乾燥させて金糸菜と呼ばれ、中国料理に用いられる。

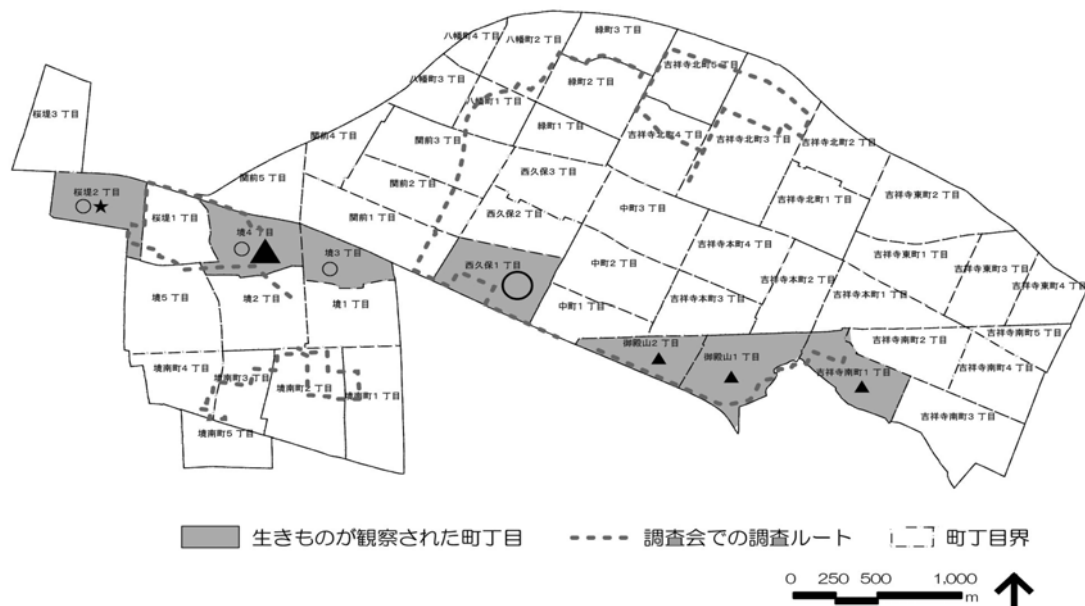
2. 観察された環境区分

① 樹林環境	② 並木環境	③大木・ ツボミ・リクツリ	④ 生垣環境	⑤ 公園環境	⑥ 農地環境	⑦ 宅地・庭先	⑧ 水辺環境	⑨ ビオトープ
	●			●			●	

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は 調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
7	4		境4丁目								●		1			調査協力員
7	4		桜堤2丁目		●								1			調査協力員
7	11	晴	境3丁目								●		3			調査協力員
7	12		西久保1丁目								●		複			調査協力員
7	19	晴	境4丁目								●		複		●	A
7	19	晴	吉祥寺南町1丁目								●		1		●	E
7	19	晴	御殿山1丁目								●		1		●	E
7	19	晴	御殿山2丁目								●		1		●	E
11	27	晴	桜堤2丁目					●			●		1		●	A

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9本）、●（のべ10本以上）	
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9本）、○（のべ10本以上）	●
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9本）、▲（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9本）、△（のべ10本以上）	
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9本）、□（のべ10本以上）	
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9本）、★（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9本）、☆（のべ10本以上）	

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.	種名	分類	科・属
33	ノビル	草本	ユリ科ネギ属

1. 調査対象種の特徴

路傍や土手などにふつうに見られる多年草で、地下に白い球形の鱗茎があるのが特徴。混生葉は25～30cmで断面は三日月状。花茎は50～80cmになり、断面は三角形。花茎の先に淡紅紫色の花を散形状に多数つける。

日当たりの良い所では花よりも珠芽（ムカゴ）になることが多い。鱗茎や若葉を山菜として利用する。鱗茎は生のまま味噌をつけて食べるとおいしい。

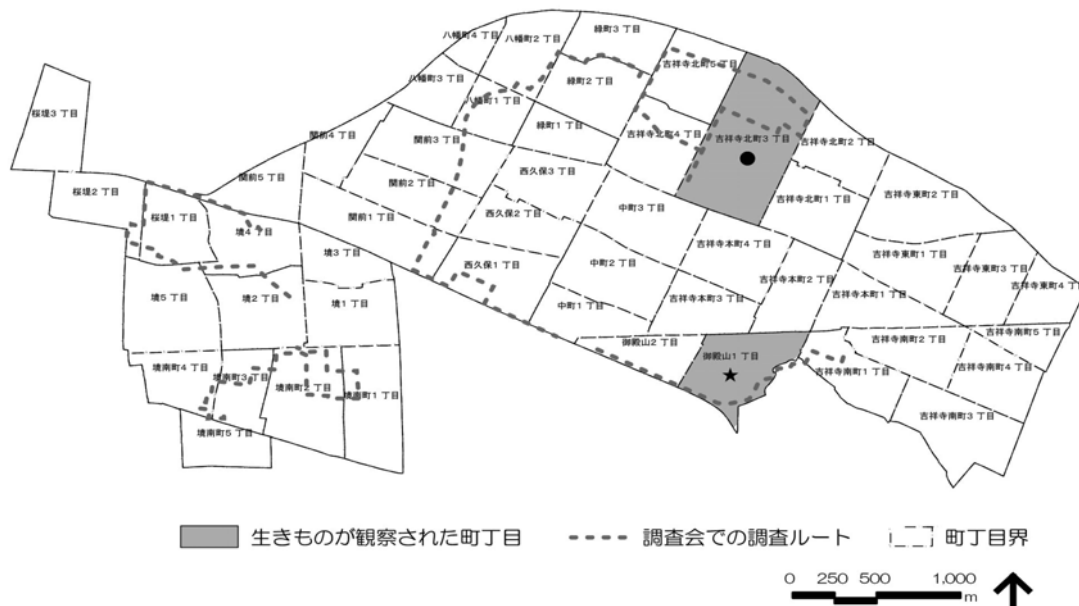
2. 観察された環境区分

① 樹林環境	② 並木環境	③大木・ ツボミ リックツリ	④ 生垣環境	⑤ 公園環境	⑥ 農地環境	⑦ 宅地・庭先	⑧ 水辺環境	⑨ ビオトープ
				●		●	●	

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は 調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
5	22	晴	吉祥寺北町3丁目					●			●		1		●	D
11	27	晴	御殿山1丁目							●			1		●	E

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9本）、●（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9本）、○（のべ10本以上）	
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9本）、▲（のべ10本以上）	
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9本）、△（のべ10本以上）	
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9本）、□（のべ10本以上）	
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9本）、★（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9本）、☆（のべ10本以上）	

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.	種名	分類	科・属
34	ウバユリ	草本	ユリ科ユリ属

1. 調査対象種の特徴

湿った林内で見られる多年草で、茎の高さは0.6～1 m。葉は茎の中部につき、長い葉柄がある。葉身は卵状楕円形で基部は心形。茎の上部に緑白色の花が横向きに半開きで咲く。ウバユリの名前は、花期に葉が枯れていることから、「葉（齒）がない」のころ合わせからきた名前と言われている。

オオウバユリは花期にも葉が残る。花が咲いた株は球根が小さくなり、翌年は開花せず、数年後に球根が十分に肥大してのちに開花する。アイヌの人達は、ウバユリ（オオウバユリ）の根から澱粉を取り出し、食用にした。繊維が多いため、ヤマユリの根のように蒸かして食べるには向かず、裏ごしして繊維を取り除く必要がある。

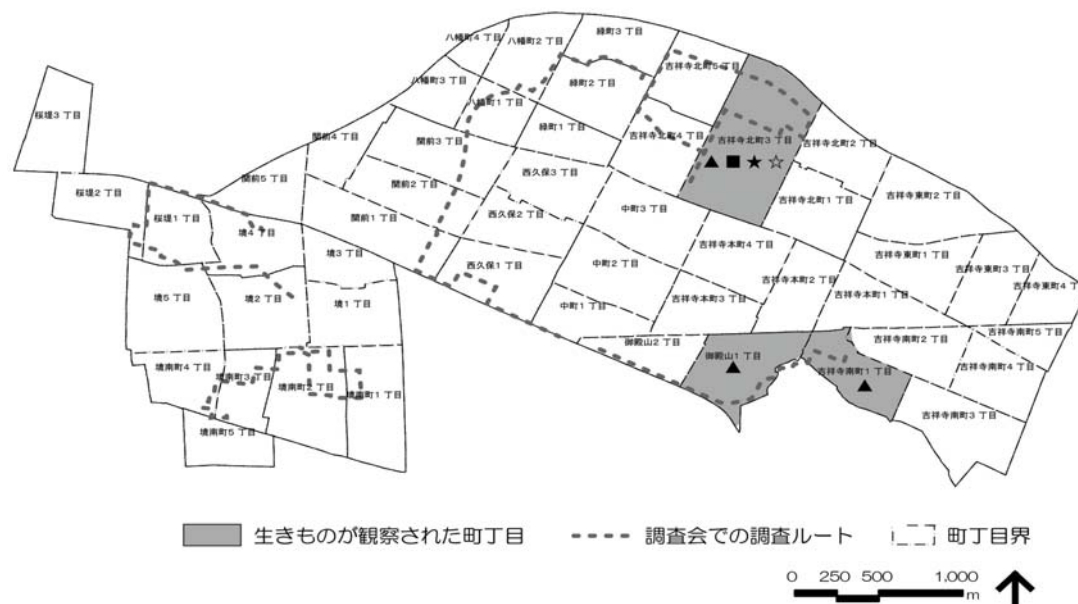
2. 観察された環境区分

①	②	③大木・ シホ・リクツリ	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
樹林環境	並木環境		生垣環境	公園環境	農地環境	宅地・庭先	水辺環境	ヒ・ホ・フ
				●			●	

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は 調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
7	19	晴	吉祥寺北町3丁目					●			●		3		●	D
7	19	晴	吉祥寺南町1丁目					●			●		1		●	E
7	19	晴	御殿山1丁目					●			●		2		●	E
10	13	曇	吉祥寺北町3丁目					●			●		1			専門調査員
11	27	晴	吉祥寺北町3丁目					●					1		●	D
11	27	晴	吉祥寺北町3丁目					●					1	種		調査協力員

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9本）、●（のべ10本以上）	
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9本）、○（のべ10本以上）	
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9本）、▲（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9本）、△（のべ10本以上）	
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9本）、□（のべ10本以上）	
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9本）、★（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9本）、☆（のべ10本以上）	●

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.	種名	分類	科・属
35	ヤブラン	草本	ユリ科ヤブラン属

1. 調査対象種の特徴

山野の木陰に生える多年草。葉は根生し、長さ30~60cm、幅0.8~1.2cmの線形。花茎は高さ30~50cmになり、淡紫色の小さな花が総状に多数つく。種子は直径6~7mmの球形で光沢のある黒色をしている。黒い果実に見えるが、果皮は成熟する前に落ちてしまっているため、種子がむき出しになっているのが特徴。

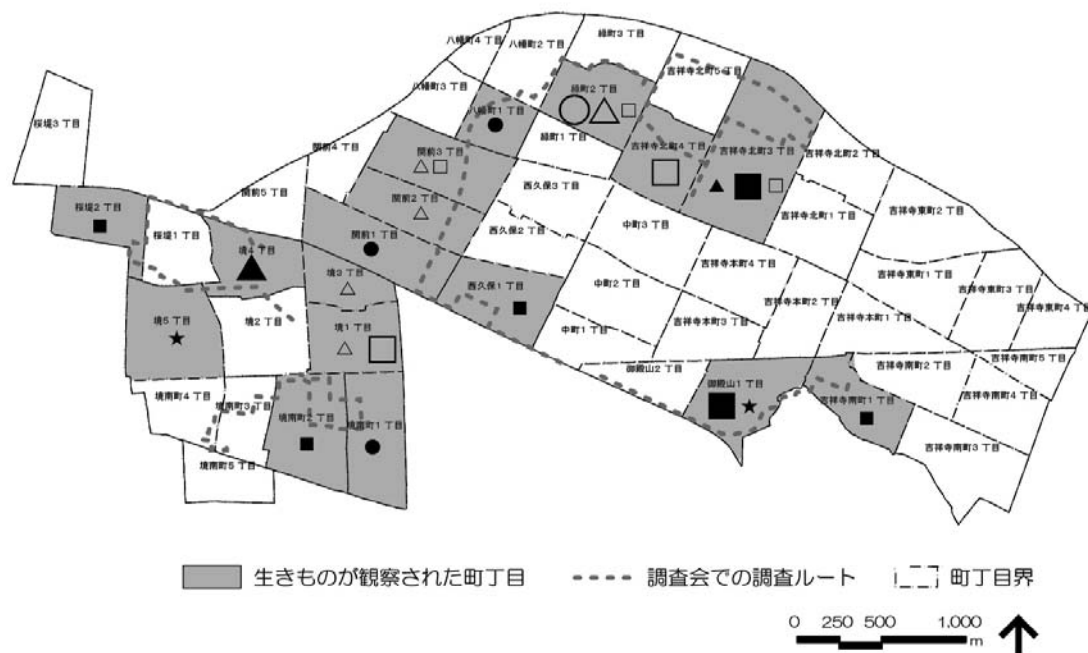
2. 観察された環境区分

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
樹林環境	並木環境	大木・ ツボ・リクツリ	生垣環境	公園環境	農地環境	宅地・庭先	水辺環境	ビオトープ
●	●			●		●	●	

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は 調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
5	22	晴	境南町1丁目	●									1		●	B
5	22	晴	八幡町1丁目		●								1		●	C
5	22	晴	関前1丁目								●		1		●	C
5	30	曇	緑町2丁目		●								複	中木の下に植栽として		調査協力員
7	19	晴	境4丁目								●		複		●	A
7	19	晴	吉祥寺北町3丁目					●			●		1		●	D
8	21	晴	緑町2丁目		●								複			調査協力員
8	22	晴	関前3丁目					●					1			調査協力員
9	1	晴	境1丁目					●					1			調査協力員
9	24	晴	境3丁目								●		1			調査協力員
9	21	晴	関前2丁目							●			1			調査協力員
9	18	-	西久保1丁目								●		1			専門調査員
9	21	晴	境南町2丁目	●									1			専門調査員
9	21	晴	境南町2丁目		●								1			専門調査員
9	22	-	桜堤2丁目					●			●		1			専門調査員
9	24	晴	吉祥寺南町1丁目					●					1			専門調査員
10	1	晴	御殿山1丁目	●				●					複			専門調査員
10	13	曇	吉祥寺北町3丁目					●			●		複			専門調査員
10	8	晴	緑町2丁目		●								1			調査協力員
10	9	曇	関前3丁目					●					1			調査協力員
10	9	曇	関前3丁目					●					1			調査協力員
10	9	曇	関前3丁目					●					1			調査協力員
10	11	晴	吉祥寺北町3丁目							●			1			調査協力員
10	22	曇	吉祥寺北町4丁目							●			複			調査協力員
10	22	曇	境1丁目							●			複			調査協力員
11	27	晴	境5丁目										1		●	A
11	27	晴	御殿山1丁目							●			1		●	E

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9本）、●（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9本）、○（のべ10本以上）	●
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9本）、▲（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9本）、△（のべ10本以上）	●
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9本）、□（のべ10本以上）	●
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9本）、★（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9本）、☆（のべ10本以上）	

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.	種名	分類	科・属
36	チカラシバ	草本	イネ科チカラシバ属

1. 調査対象種の特徴

日当たりのよい草地にふつうに見られる多年草。草丈50~80cmになり、多数叢生して大きな株を作る。葉は根もとに集まり、長さ30~70cm、幅4~7mmの線形で、固く表面はざらつく。葉鞘はやや扁平で上端に長い毛がある。

花序は長さ10~20cm、幅約2cmの円柱状で、基部に暗紫色の剛毛のある小穂を多数つける。名前は土にしっかりと根を張って、容易には引き抜けないことからチカラシバの名がついた。

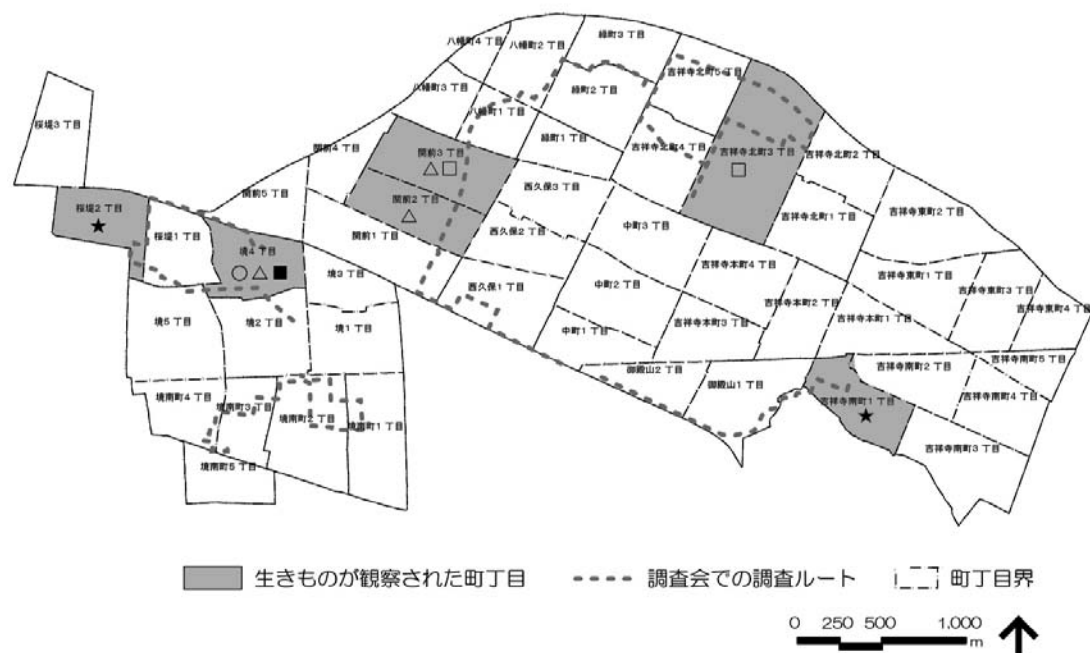
2. 観察された環境区分

①	②	③大木・ シボリックツリ	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
樹林環境	並木環境		生垣環境	公園環境	農地環境	宅地・庭先	水辺環境	ビオトープ
●				●		●	●	

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は 調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
6	26	晴	境4丁目					●					1			調査協力員
8	22	晴	関前3丁目					●					1			調査協力員
8	31	晴	境4丁目					●					1			調査協力員
9	21	晴	関前2丁目							●			1			調査協力員
9	22	-	境4丁目	●				●					1			専門調査員
10	11	晴	吉祥寺北町3丁目					●		●			1			調査協力員
10	9	曇	関前3丁目					●					1			調査協力員
10	9	曇	関前3丁目					●					1			調査協力員
11	27	晴	桜堤2丁目					●			●		1		●	A
11	27	晴	吉祥寺南町1丁目					●					1		●	E

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9本）、●（のべ10本以上）	
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9本）、○（のべ10本以上）	●
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9本）、▲（のべ10本以上）	
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9本）、△（のべ10本以上）	●
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9本）、□（のべ10本以上）	●
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9本）、★（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9本）、☆（のべ10本以上）	

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.	種名	分類	科・属
37	ホンドタヌキ	ほ乳類	イヌ科

1. 調査対象種の特徴

主に里山に生息する。成体は体長40~50cm、尾長約15cmのすんぐりした体型で夜間に活動することが多い。親と子の家族単位で群れを作るが、春に生まれた子供は秋には親離れして単独で生活する。冬籠もりはしないで冬でも活動する。雑食性で何でも食べるが山では果実、鳥、ネズミ、カエル、ヘビ、サワガニ、ミミズ、昆虫等を食べている。市街地でも暮らすようになり主に残飯ゴミを食べている。市街地に暮らしている個体は疥癬にかかっていることが多く毛の抜けている個体を見ることが多い。

穴を自分で掘ったりキツネ等が掘った穴で寝ているが、市街地では家屋の床下に巣を作ることも多い。ため糞と言って糞を一ヶ所にする習性がある。

2. 観察された環境区分

①	②	③大木・	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
樹林環境	並木環境	ツボ・リクツリ	生垣環境	公園環境	農地環境	宅地・庭先	水辺環境	ビオトープ

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
														(なし)		

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9匹）、●（のべ10匹以上）	
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9匹）、○（のべ10匹以上）	
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9匹）、▲（のべ10匹以上）	
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9匹）、△（のべ10匹以上）	
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9匹）、□（のべ10匹以上）	
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9匹）、★（のべ10匹以上）	
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9匹）、☆（のべ10匹以上）	

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.	種名	分類	科・属
38	アブラコウモリ	ほ乳類	ヒナコウモリ科

1. 調査対象種の特徴

市街地で見られる普通のコウモリ。家コウモリとも呼ばれ、家屋の屋根裏等をねぐらにしており自然の洞窟等を利用することはほとんど無い。また、家屋のない山地や森林内には生息しない。

成体の頭胴長38～60mm、尾長29～45mm、前腕長30～37mm、体重5～10g、夜行性で日没近くから夜間に飛び回りカ、ユスリカ、ウンカ等の小昆虫を捕まえて食べる。昆虫が捕れなくなる11月中頃から翌年3月中頃まで冬眠をするが都市部では温暖化により冬眠しないものも現れるようになった。雌は7月に2～3頭の仔を出産する。約30日ほどすると仔は巣立つ。寿命は雄が3年、雌は5年ほど。

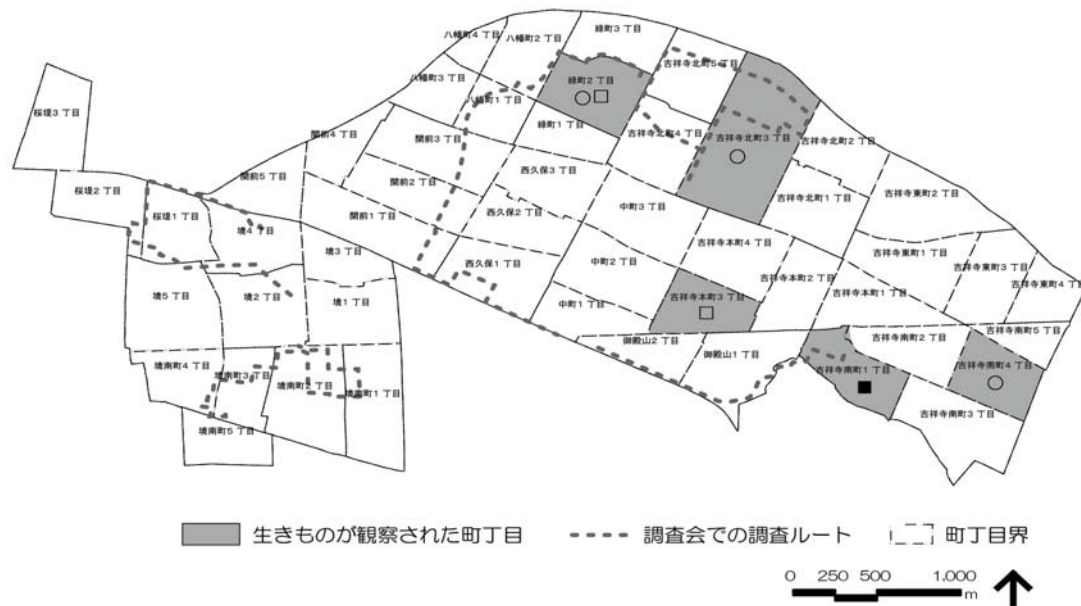
2. 観察された環境区分

①	②	③大木・	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
樹林環境	並木環境	シンボルツリー	生垣環境	公園環境	農地環境	宅地・庭先	水辺環境	ビオトープ
	●		●			●		

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
7	24	晴	緑町2丁目		●								3	夕方		調査協力員
8	1	-	吉祥寺南町4丁目							●			4	夕方		調査協力員
9	11	晴	吉祥寺北町3丁目							●			1			調査協力員
9	24	晴	吉祥寺南町1丁目				●						1			専門調査員
10	2	-	吉祥寺本町3丁目							●			1	死体		調査協力員
10	8	晴	緑町2丁目		●								1			調査協力員

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9匹）、●（のべ10匹以上）	
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9匹）、○（のべ10匹以上）	
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9匹）、▲（のべ10匹以上）	
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9匹）、△（のべ10匹以上）	●
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9匹）、□（のべ10匹以上）	●
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9匹）、★（のべ10匹以上）	
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9匹）、☆（のべ10匹以上）	

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.	種名	分類	科・属
39	アズマモグラ	ほ乳類	モグラ科

1. 調査対象種の特徴

日本特産種で本州の中部以北、東日本を中心に地中にトンネルを掘って生息する。京都府、紀伊半島、広島県、四国の一部にも生息している。北海道にはおらず、関東より西には同属のコウベモグラが生息している。成体の頭胴長120～160mm、尾長14～22mm、体重50～130g、湿潤な土壤に生息し太平洋側の個体の方が大きい。

トンネルを掘って土中のミミズや昆虫、植物の種子等を食べる。トンネルを掘って発生した土砂は地上に出され山のようになりモグラ塚と呼ばれる。眼は退化し明暗がわかる程度、前足は爪が大きく土を掘るのに適した形状をしている。雌は春に2～6頭の仔を出産する。寿命は約3年と言われる。

2. 観察された環境区分

①	②	③大木・	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
樹林環境	並木環境	ツボ・リクツリ	生垣環境	公園環境	農地環境	宅地・庭先	水辺環境	ビオトープ
●			●				●	

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
9	24	晴	吉祥寺南町1丁目				●						複			専門調査員
9	24	晴	御殿山1丁目	●									複			専門調査員
10	7	晴	西久保1丁目								●		1	通路跡		専門調査員

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9匹）、●（のべ10匹以上）	
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9匹）、○（のべ10匹以上）	
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9匹）、▲（のべ10匹以上）	
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9匹）、△（のべ10匹以上）	
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9匹）、□（のべ10匹以上）	
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9匹）、★（のべ10匹以上）	
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9匹）、☆（のべ10匹以上）	

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.	種名	分類	科・属
40	カルガモ	鳥類	カモ科

1. 調査対象種の特徴

多くのカモ類は冬に日本にやってきて越冬する冬鳥であるが、カルガモは一年中日本に留まる。国内でも冬期に結氷する地方のものは暖地に移動する。

全長約60cmで雄雌ともほぼ同じ色、同じ大きさをしている。市街地の小さな池の近くの草むらなどでも春から夏にかけて繁殖し、10個前後の卵を産む。雛が巣立つと近くの川や池に誘導して生活するようになる。

他のカモの雛に似るが過眼線があること、くちばしが黒く先端が黄色いこと、脚や水かきがオレンジ色などから区別は容易。水辺の草の実や水中の藻や貝をたべる。時には水中に潜ることもある。

2. 観察された環境区分

①	②	③大木・ ツバキ・リンドウ	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
樹林環境	並木環境		生垣環境	公園環境	農地環境	宅地・庭先	水辺環境	ビオトープ
	●			●		●	●	●

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は 調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
5	22	晴	吉祥寺南町1丁目								●		2		●	E
5	-	晴	境4丁目									●	4			調査協力員
7	7	-	関前2丁目		●								6	小カモと親カモ		調査協力員
8	2	曇	吉祥寺南町1丁目					●			●		11			調査協力員
8	24	晴	吉祥寺南町1丁目					●			●		5			調査協力員
8	25	晴	吉祥寺南町3丁目					●			●		19			調査協力員
8	25	晴	吉祥寺南町3丁目					●			●		1			調査協力員
9	17	晴	吉祥寺南町3丁目					●			●		17			調査協力員
9	17	晴	吉祥寺南町3丁目					●			●		8			調査協力員
9	20	曇	吉祥寺南町1丁目					●					複			調査協力員
11	5	晴	吉祥寺南町1丁目								●		8			調査協力員
11	27	晴れ	関前1丁目								●		4		●	C
12	19	-	境4丁目								●		7			調査協力員
12	19	-	境3丁目								●		7			調査協力員
12	26	-	境4丁目								●		11			調査協力員
12	31	-	境4丁目								●		1			調査協力員
1	2	-	桜堤2丁目								●		8			調査協力員
1	3	-	境3丁目								●		1			調査協力員
1	8	-	桜堤1丁目								●		1			調査協力員
1	10	晴	吉祥寺南町1丁目					●			●		2	七井橋から		調査協力員
1	10	晴	吉祥寺南町1丁目					●			●		9	池西側		調査協力員
1	10	晴	吉祥寺南町1丁目								●		5			調査協力員
1	28	晴	境1丁目							●			4	玉川はどうか、と境大橋からのぞいたら水量は少ないけれど橋の下流にカルガモが4羽泳いでいました。		調査協力員

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9羽）、●（のべ10羽以上）	●
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9羽）、○（のべ10羽以上）	●
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9羽）、▲（のべ10羽以上）	
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9羽）、△（のべ10羽以上）	●
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9羽）、□（のべ10羽以上）	●
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9羽）、★（のべ10羽以上）	●
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9羽）、☆（のべ10羽以上）	●

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.	種名	分類	科・属
41	オナガ	鳥類	カラス科

1. 調査対象種の特徴

頭と胴はムクドリとほぼ同じ大きさであるが尾が身体より長い。頭が黒く、背は薄い灰褐色、翼と尾は青灰色、喉から腹は灰白色、尾羽の先端は白い。全長は34~39cm、このうち尾羽は20~23cm。

中部地方から東の本州に分布しているが局所的。かつては本州全土や九州の一部にも分布していた。分布範囲が狭くなった理由は不明。関東平野や長野県では比較的よく見ることができる。人里近くの開けた森林に生息して高木のある公園や屋敷林でも繁殖する。5月から7月に樹上に木の枝で皿状の巣を作り6~9個の卵を産む。常に小郡で行動し、巣も数つがいが近くに営巣し、外敵に対して集団で防衛する。雑食性で木の実、果実、昆虫、小動物などを食べる。

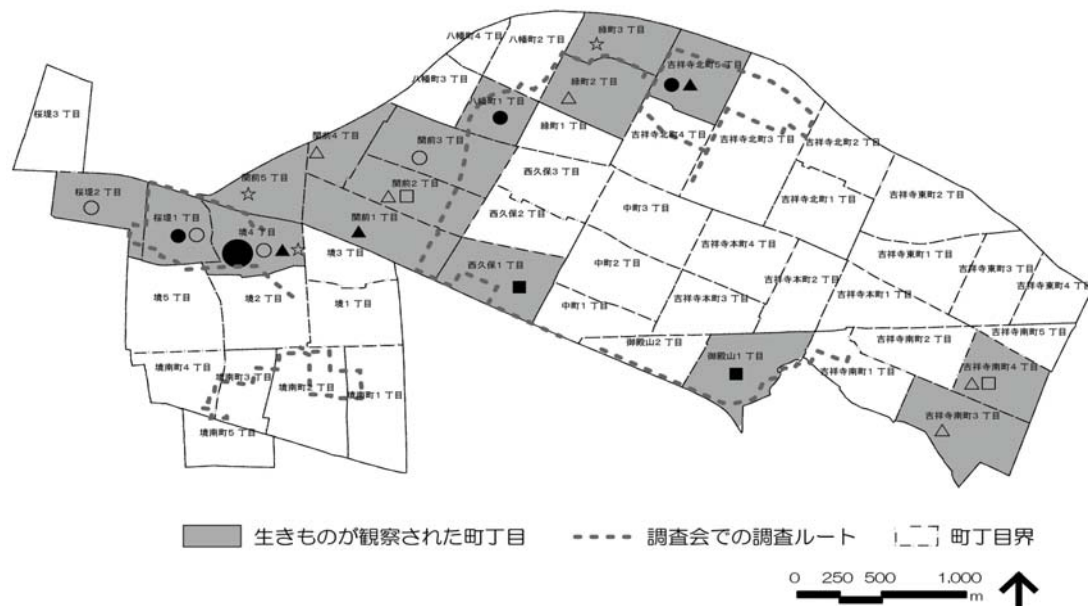
2. 観察された環境区分

①	②	③大木・	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
樹林環境	並木環境	ツバ・リックツリ	生垣環境	公園環境	農地環境	宅地・庭先	水辺環境	ビオトープ
●	●		●	●	●	●	●	●

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
5	22	晴	桜堤1丁目							●			1		●	A
5	22	晴	境4丁目					●					1		●	A
5	22	晴	境4丁目	●				●					複		●	A
5	22	晴	八幡町1丁目									●	1		●	C
5	22	晴	吉祥寺北町5丁目	●									1		●	D
5	22	晴	桜堤1丁目							●			1			調査協力員
5	22	晴	境4丁目					●					1			調査協力員
5	27	晴	関前3丁目					●					1			調査協力員
5	27	晴	境4丁目					●					1			調査協力員
5	30	晴	桜堤2丁目		●						●		1			調査協力員
5	22	晴	関前3丁目					●					1			調査協力員
6	3	晴	境4丁目					●					1			調査協力員
6	18	晴	境4丁目					●					1			調査協力員
6	26	晴	境4丁目					●					3			調査協力員
7	19	晴	境4丁目								●		1		●	A
7	19	晴	関前1丁目					●					1		●	C
7	19	晴	吉祥寺北町5丁目	●									2		●	D
8	1	-	吉祥寺南町4丁目							●			6	朝方		調査協力員
8	14	-	吉祥寺南町3丁目							●			1			調査協力員
8	31	晴	関前2丁目							●			1			調査協力員
9	4	晴	緑町2丁目		●								1			調査協力員
9	7	晴	関前4丁目	●									1			調査協力員
9	24	晴	御殿山1丁目	●									1			専門調査員
10	7	晴	西久保1丁目					●					4			専門調査員
10	27	晴	関前2丁目							●			2			調査協力員
11	3	晴	吉祥寺南町4丁目						●				3			調査協力員
12	2	-	境4丁目							●			7			調査協力員
12	31	-	関前5丁目						●				6			調査協力員
1	5	晴	緑町3丁目				●						1			調査協力員
1	7	晴	関前5丁目						●				3			調査協力員
1	8	晴	緑町3丁目				●						3	鳴きながら枝渡り		調査協力員

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9羽）、●（のべ10羽以上）	●
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9羽）、○（のべ10羽以上）	●
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9羽）、▲（のべ10羽以上）	●
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9羽）、△（のべ10羽以上）	●
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9羽）、□（のべ10羽以上）	●
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9羽）、★（のべ10羽以上）	
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9羽）、☆（のべ10羽以上）	●

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.	種名	分類	科・属
42	カワセミ	鳥類	カワセミ科

1. 調査対象種の特徴

川や池で小魚やエビを水中にダイブして捕らえるスズメ位の大きさで背中がコバルト色、腹部がオレンジ色の小鳥。体長17cmほどだがくちばしが長く、姿形が独特で他の鳥と間違えることはない。雄雌の区別は長いくちばしを見ると判別できる。上下のくちばしが黒いのが雄、下側のくちばしが赤いのが雌。

巣は垂直に切り立った土手に50~90cmの横穴を掘って3~4個の卵を産む。巣は水辺の近くの土手に作るのが普通だが、時に1km近く離れた場所に営巣することもあるという。巣穴は支障がないかぎり使い続けるようだ。

2. 観察された環境区分

①	②	③大木・	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
樹林環境	並木環境	ツボ・リクツリ	生垣環境	公園環境	農地環境	宅地・庭先	水辺環境	ビオトープ
				●		●	●	

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
5	22	晴	吉祥寺南町1丁目								●		1		●	E
11	27	晴	緑町2丁目					●		●			1		●	C
1	3	-	境4丁目								●		1			調査協力員
1	8	-	境4丁目								●		1			調査協力員
1	10	晴	吉祥寺南町1丁目					●			●		1			調査協力員
1	10	晴	吉祥寺南町1丁目								●		1			調査協力員

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9羽）、●（のべ10羽以上）	●
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9羽）、○（のべ10羽以上）	
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9羽）、▲（のべ10羽以上）	
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9羽）、△（のべ10羽以上）	
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9羽）、□（のべ10羽以上）	
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9羽）、★（のべ10羽以上）	●
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9羽）、☆（のべ10羽以上）	●

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.	種名	分類	科・属
43	コゲラ	鳥類	キツツキ科

1. 調査対象種の特徴

平地から山地の雑木林に生息する日本で最も小さなキツツキ。市街地の公園などでもよく見られ、縄張り表示や家族との確認合図でギーと鳴くので声だけでも確認は容易である。雄の後頭部には小さな赤い班があるが屋外での確認はできない。木の表面や皮の隙間に付いた昆虫やカマキリの卵、枯れ木枯れ枝の中に棲む昆虫の幼虫を突っついて掘り出して食べる。ハゼなどの果実も食べる。

枯れ木、枯れ枝の斜めになった下側に入口の直径3～4cmの洞を掘って巣を作る。5～7月に5～6個の卵を産む。巣は毎年新しく作る。垂直の樹に留まる時、尾羽で身体を支えている。

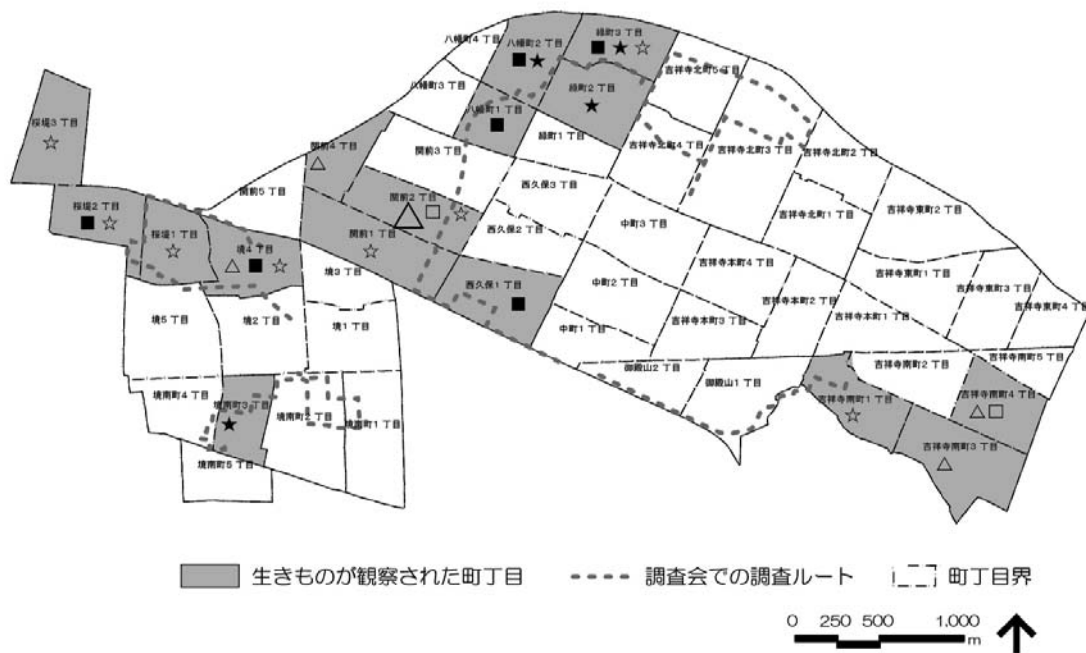
2. 観察された環境区分

① 樹林環境	② 並木環境	③大木・ ツボ・リクツツ-	④ 生垣環境	⑤ 公園環境	⑥ 農地環境	⑦ 宅地・庭先	⑧ 水辺環境	⑨ ビオトープ
●	●		●	●		●	●	

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は 調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
8	17	晴	関前2丁目							●			19			調査協力員
8	25	晴	吉祥寺南町3丁目					●		●			1			調査協力員
8	30		吉祥寺南町4丁目							●			1	朝方		調査協力員
9	18	晴	関前2丁目							●			2			調査協力員
9	19		境4丁目					●					1			調査協力員
9	20	曇	吉祥寺南町4丁目							●			1	朝		調査協力員
9	21	晴	関前4丁目		●								1			調査協力員
10	7	晴	緑町3丁目		●								1			専門調査員
10	7	晴	八幡町2丁目					●					1			専門調査員
10	7	晴	八幡町1丁目		●								1			専門調査員
10	7	晴	西久保1丁目								●		1			専門調査員
10	23	晴	桜堤2丁目					●			●		1			専門調査員
10	23	晴	境4丁目	●				●					1			専門調査員
10	3		吉祥寺南町4丁目							●			1			調査協力員
10	9	曇	関前2丁目							●			1			調査協力員
10	11	晴	関前2丁目							●			1			調査協力員
10	12	晴	関前2丁目					●					1			調査協力員
11	21	晴	関前2丁目							●			1			調査協力員
11	27	晴	境南町3丁目					●		●			1		●	B
11	27	晴	緑町3丁目					●		●			1		●	C
11	27	晴	緑町2丁目					●		●			1		●	C
11	27	晴	八幡町2丁目					●					1		●	C
11	28	晴	関前2丁目							●			2	柿の実に小鳥集まる		調査協力員
12	26		桜堤1丁目								●		1			調査協力員
12	31		関前1丁目								●		1			調査協力員
1	2		桜堤2丁目								●		1			調査協力員
1	3		境4丁目								●		1			調査協力員
1	5	晴	緑町3丁目				●						1	木をつつく音		調査協力員
1	8		桜堤1丁目								●		1			調査協力員
1	8		桜堤3丁目					●					1			調査協力員
1	8		境4丁目								●		1			調査協力員
1	9		境4丁目								●		1			調査協力員
1	10	晴	吉祥寺南町1丁目					●					1			調査協力員

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9羽）、●（のべ10羽以上）	
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9羽）、○（のべ10羽以上）	
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9羽）、▲（のべ10羽以上）	
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9羽）、△（のべ10羽以上）	●
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9羽）、□（のべ10羽以上）	●
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9羽）、★（のべ10羽以上）	●
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9羽）、☆（のべ10羽以上）	●

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.	種名	分類	科・属
44	ハクセキレイ	鳥類	セキレイ科

1. 調査対象種の特徴

平地から山地の河川とその近くに生息し、特に下流域で多く見られる。また、都市部にも適応し、公園などの地上で昆虫やパン屑などをついばんでいるのをよく見ることができる。雑食性で主に昆虫を食べる。脚を交互に動かして歩き、止まると尻を上下に振る。

普段は単独で行動するが、冬になると集団で寝るようになり、駅前等の街路樹に集団ねぐらを作ることもある。体長約21cm、頬は白く、黒い過眼線があることでよく似たセグロセキレイと見分けることができる。雄の夏羽は頭から背中が黒く、胸に大きな前掛け状の黒斑がある。雌や若鳥は、この雄の黒い部分が灰色になる。5～7月に建物の隙間などに枯れ草等で皿状の巣を作り、4～5個の卵を産む。

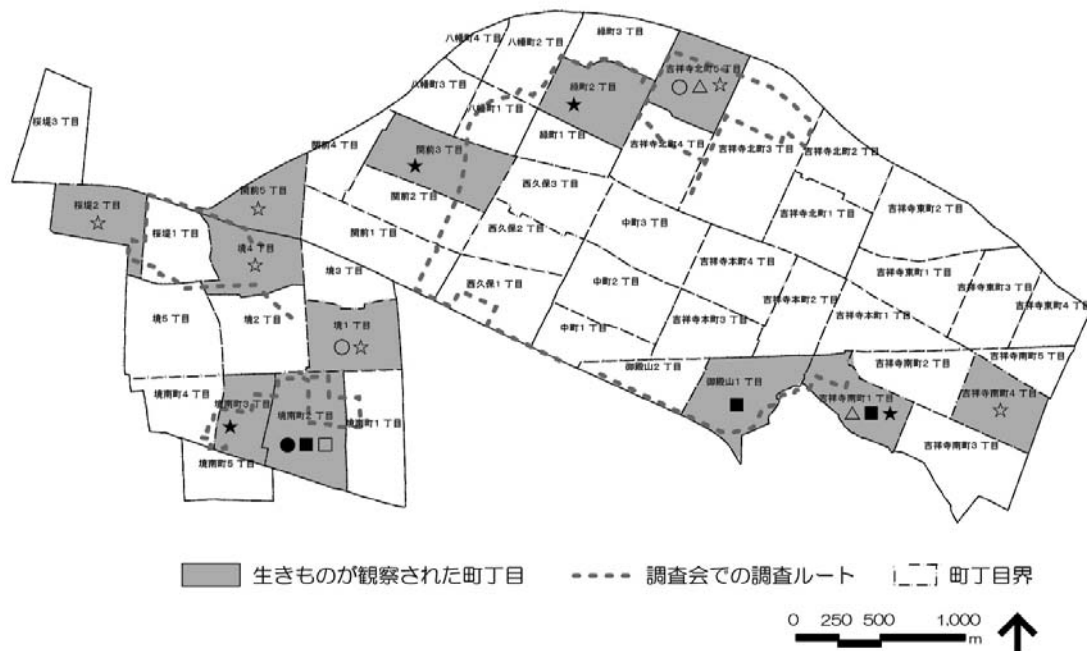
2. 観察された環境区分

①	②	③大木・ ツボ・リックツ-	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
樹林環境	並木環境		生垣環境	公園環境	農地環境	宅地・庭先	水辺環境	ビオトープ
●	●		●	●	●	●	●	

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は 調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
5	22	晴	境南町2丁目					●					1		●	B
6	13	晴	吉祥寺北町5丁目				●						3			調査協力員
7	7	-	境1丁目		●								1			調査協力員
8	2	曇	吉祥寺南町1丁目					●					1			調査協力員
8	1	晴	吉祥寺北町5丁目		●								1	四季を通して時々みかける		調査協力員
9	20	曇	吉祥寺南町1丁目					●					1			調査協力員
9	24	晴	吉祥寺南町1丁目				●						複			専門調査員
9	24	晴	御殿山1丁目	●									1			専門調査員
10	27	晴/曇	境南町2丁目		●								1			専門調査員
10	5	曇	境南町2丁目		●					●			1	空を東の方へとんでいった		調査協力員
11	15	-	吉祥寺南町4丁目							●			2			調査協力員
11	13	晴	境南町2丁目							●			1			調査協力員
11	27	晴	境南町3丁目					●		●			1		●	B
11	27	晴	緑町2丁目					●		●			1		●	C
11	27	晴	関前3丁目					●					1		●	C
11	27	晴	関前3丁目					●					1		●	C
11	27	晴	吉祥寺南町1丁目					●					1		●	E
11	27	晴	吉祥寺南町4丁目						●				1	畑に餌をあさりにくる		調査協力員
12	15	-	境4丁目							●			1			調査協力員
12	19	-	関前5丁目					●					1			調査協力員
12	25	-	関前5丁目					●					1			調査協力員
12	29	-	境1丁目							●			1			調査協力員
12	31	-	関前1丁目								●		1			調査協力員
12	28	晴	吉祥寺北町5丁目		●								1			調査協力員
12	29	晴	関前5丁目					●					2			調査協力員
1	2	-	境4丁目							●			1			調査協力員
1	2	-	桜堤2丁目				●						1			調査協力員
1	7	晴	吉祥寺南町4丁目					●					1			調査協力員
1	29	晴	関前5丁目							●			1			調査協力員

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9羽）、●（のべ10羽以上）	●
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9羽）、○（のべ10羽以上）	●
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9羽）、▲（のべ10羽以上）	
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9羽）、△（のべ10羽以上）	●
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9羽）、□（のべ10羽以上）	●
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9羽）、★（のべ10羽以上）	●
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9羽）、☆（のべ10羽以上）	●

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.	種名	分類	科・属
45	ツバメ	鳥類	ツバメ科

1. 調査対象種の特徴

夏鳥として春先になると台湾やフィリピンなどから渡来し10月中旬になると越冬のため戻って行く。全長約17cm。体は上面が黒く、下面は白い。喉と額が赤く喉に黒い横帯がある。尾羽は二股に分かれこの形状を燕尾(えんぴ)と言う。尾羽の先端近くに白斑が並ぶ。

飛翔しながら飛んでいる昆虫を捕らえて食べ、水面すれすれに飛行し水を飲む。人家の軒先などに泥と枯れ草を混ぜた半碗形の巣を作るが、カラスの被害を受けやすいため巣の設置位置は構造物の奥まった所や、人が頻繁に出入りする場所に変わってきている。3～7個の卵を産み、年内に2回子育てをする場合が多い。

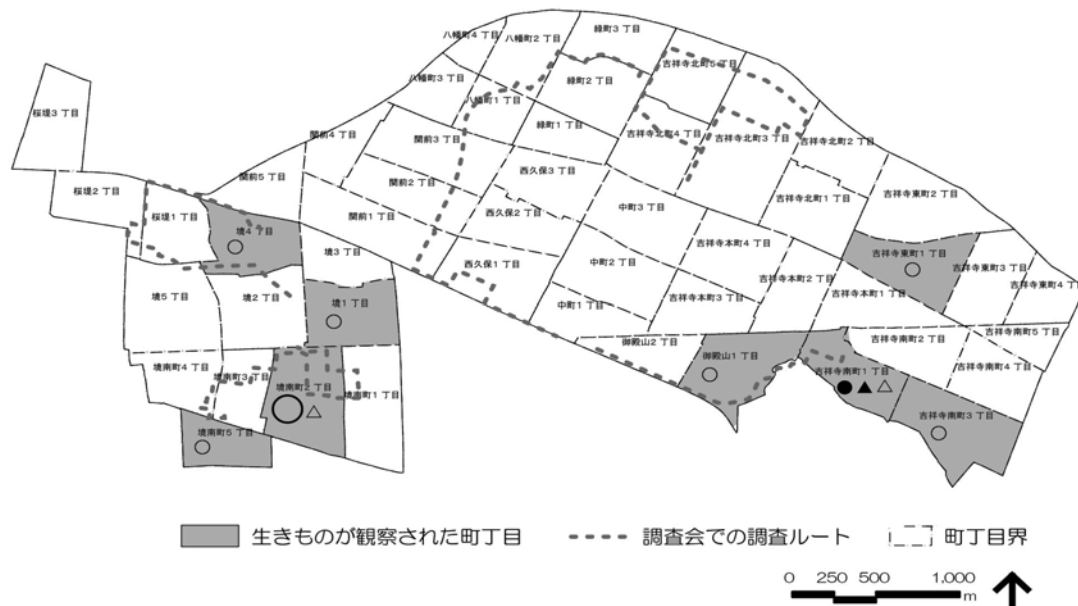
2. 観察された環境区分

①	②	③大木・ ツバ・リクツリ	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
樹林環境	並木環境		生垣環境	公園環境	農地環境	宅地・庭先	水辺環境	ビ・オトフ
	●			●	●	●		

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は 調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
5	22	晴	吉祥寺南町1丁目		●								2		●	E
5	22	晴	吉祥寺南町1丁目		●								6		●	E
5	25	晴	吉祥寺東町1丁目							●			2			調査協力員
5	25	晴	境南町2丁目							●			5	空を飛んでいった		調査協力員
6	12	晴	境南町5丁目							●			2	巣があった		調査協力員
6	12	晴	境南町2丁目							●			1	巣をつくっていたがその後は住んでいる様子はない。 たまたま飛んでくる程度		調査協力員
6	13	-	御殿山1丁目					●					1	飛んでいった		調査協力員
6	20	曇	境1丁目		●								2	電線にとまっていた		調査協力員
6	27	-	境南町2丁目							●			4	気付いたら子ツバメが3羽いて、親がエサを運んできていた		調査協力員
6	29	晴	境4丁目							●			1			調査協力員
7	9	曇	吉祥寺南町3丁目							●			1			調査協力員
7	9	曇	境1丁目							●	●		2			調査協力員
7	9	曇	境南町2丁目							●			1	1羽はここで生まれたものか？2羽で飛来し巣を作る かのような雰囲気だった		調査協力員
7	19	晴	吉祥寺南町1丁目		●								1		●	E
7	20	晴	境南町2丁目							●			2	前回の巣とは違う場所に巣		調査協力員
8	2	曇	吉祥寺南町1丁目					●					1			調査協力員

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9羽）、●（のべ10羽以上）	●
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9羽）、○（のべ10羽以上）	●
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9羽）、▲（のべ10羽以上）	●
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9羽）、△（のべ10羽以上）	●
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9羽）、□（のべ10羽以上）	
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9羽）、★（のべ10羽以上）	
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9羽）、☆（のべ10羽以上）	

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.	種名	分類	科・属
46	スズメ	鳥類	ハタオリドリ科

1. 調査対象種の特徴

人家の有る所に生息する体長約14cmの小鳥。頭上は栗色、背は褐色で黒い縦斑があり、頬は白く目立つ黒斑がある。喉にも黒斑があり、腹はとても薄い褐色をしている。雌雄の区別は同じ色をしており難しい。

人家の軒下などの奥まった所に営巣するが、現在の家では軒下などに隙間がないため、電柱に設置された変圧器の台に使われている箱形パイプの中などに巣を作っているのを見るようになった。巣は枯れ草で作られ直径10cm程、4～8個の卵を産む。年に数回繁殖する。雑食性だが、春から秋にかけて主に昆虫を食べ、秋～春にかけては集団で草の実を食べている。

2. 観察された環境区分

①	②	③大木・ ツボ リックツリ	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
樹林環境	並木環境		生垣環境	公園環境	農地環境	宅地・庭先	水辺環境	ビオトープ
●	●		●	●	●	●	●	

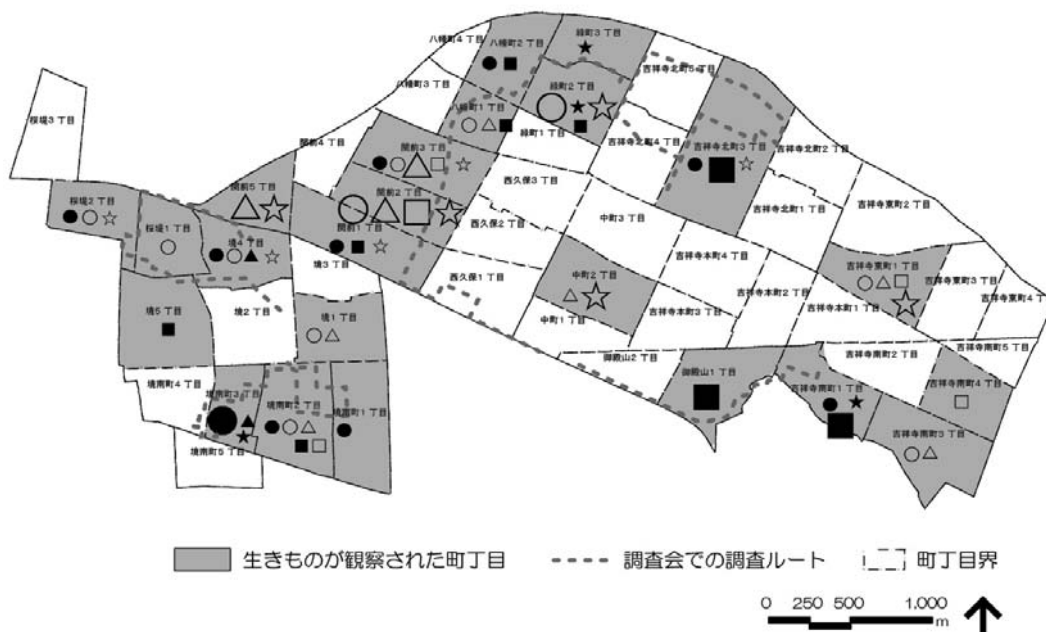
3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は 調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
5	22	晴	桜堤2丁目								●		1		●	A
5	22	晴	境4丁目					●					1		●	A
5	22	晴	境南町3丁目					●					複		●	B
5	22	晴	境南町3丁目		●								1		●	B
5	22	晴	境南町3丁目							●			3		●	B
5	22	晴	境南町3丁目					●					1		●	B
5	22	晴	境南町2丁目					●					1		●	B
5	22	晴	境南町1丁目							●			1		●	B
5	22	晴	八幡町2丁目	●				●					1		●	C
5	22	晴	関前1丁目					●					1		●	C
5	22	晴	関前1丁目		●								1		●	C
5	22	晴	関前3丁目					●			●		2		●	C
5	22	晴	吉祥寺北町3丁目								●		1		●	D
5	22	晴	吉祥寺南町1丁目							●			1		●	E
5	22	晴	境4丁目					●					1			調査協力員
5	22	晴	八幡町1丁目					●					3			調査協力員
5	25	晴	吉祥寺東町1丁目							●			5			調査協力員
5	25	晴	境南町2丁目							●			1			調査協力員
5	27	晴	関前3丁目					●					1			調査協力員
5	27	晴	境4丁目					●					1			調査協力員
5	30	曇	緑町2丁目		●								複			調査協力員
6	5	晴	関前2丁目							●			1			調査協力員
6	7	晴	関前2丁目							●			1	気温22.2℃		調査協力員
6	8	晴	関前2丁目							●			1			調査協力員
6	11	曇	吉祥寺南町3丁目						●				6			調査協力員
6	12	-	関前2丁目							●			1			調査協力員
6	15	-	吉祥寺東町1丁目							●			2	門のよこのうきこみにとまっていて、元気な声がしていた		調査協力員
6	18	-	関前2丁目							●			1			調査協力員
6	20	晴	関前2丁目							●			複			調査協力員
6	20	曇	関前2丁目		●								3			調査協力員
6	29	晴	境1丁目							●			2			調査協力員
7	4	-	桜堤1丁目								●		1			調査協力員
7	4	-	桜堤2丁目		●								1			調査協力員
7	5	晴	境南町2丁目						●				3			調査協力員
7	6	-	関前2丁目							●			1			調査協力員
7	7	-	関前2丁目		●								2			調査協力員
7	9	曇	境1丁目					●	●				3			調査協力員

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
7	11	晴	境南町2丁目							●			3	道路の向かい側に生産緑地		調査協力員
7	11	晴	境4丁目		●								1			調査協力員
7	11	晴	桜堤1丁目		●								1			調査協力員
7	11	晴	境4丁目		●								1			調査協力員
7	15	晴	桜堤2丁目					●					1			調査協力員
7	19	晴	境4丁目							●			1		●	A
7	19	晴	境南町3丁目							●			1		●	B
7	19	晴	境南町3丁目							●			1		●	B
7	19	晴	境南町3丁目							●			1		●	B
7	19	晴	境南町2丁目							●			1	朝 姿を見る 数が少なくなっていく		調査協力員
7	20	晴	境1丁目							●			1			調査協力員
7	30	雨	関前2丁目				●						1			調査協力員
7	30	雨	関前2丁目							●			1			調査協力員
7	23	晴	吉祥寺東町1丁目							●			3			調査協力員
7	27	晴	吉祥寺東町1丁目							●			3			調査協力員
8	1	晴	吉祥寺東町1丁目							●			3			調査協力員
8	12	晴	関前3丁目					●					6			調査協力員
8	13	曇	中町1丁目								●		1			調査協力員
8	17	晴	関前2丁目							●			1			調査協力員
8	22	晴	関前3丁目					●					1			調査協力員
8	25	晴	吉祥寺南町3丁目					●					2			調査協力員
8	27	晴	関前3丁目					●					1			調査協力員
8	27	晴	関前3丁目						●				2			調査協力員
8	31	晴	関前3丁目						●				2			調査協力員
9	2	晴	境1丁目		●								2			調査協力員
9	4	晴	関前5丁目						●				12			調査協力員
9	16	雨	境南町2丁目							●			2			調査協力員
9	17	曇	八幡町1丁目							●			3			調査協力員
9	19	晴	関前2丁目							●			36			調査協力員
9	20	晴	関前2丁目							●			2			調査協力員
9	21	晴	関前3丁目					●					1			調査協力員
9	23	晴	関前2丁目							●			5			調査協力員
9	24	晴	吉祥寺南町1丁目				●						複			専門調査員
9	24	晴	御殿山1丁目	●									複			専門調査員
10	7	晴	緑町2丁目		●								3			専門調査員
10	7	晴	八幡町2丁目					●					8			専門調査員
10	7	晴	八幡町1丁目		●								2			専門調査員
10	7	晴	関前1丁目		●								1	コミセン前の果樹園 裸地・草地・木		専門調査員
10	23	晴	境5丁目						●				7			専門調査員
10	27	晴/曇	境南町2丁目					●					5,6			専門調査員
10	13	曇	吉祥寺北町3丁目								●		複			専門調査員
9	28	雨	境南町2丁目						●				1			調査協力員
9	29	晴	関前3丁目				●						6			調査協力員
10	9	曇	関前2丁目							●			2			調査協力員
10	9	曇	関前3丁目					●					1			調査協力員
10	9	曇	関前3丁目					●					1			調査協力員
10	12	晴	関前2丁目							●			1			調査協力員
10	15	晴	関前2丁目							●			1			調査協力員
10	20	晴	関前2丁目							●			7			調査協力員
10	23	晴	吉祥寺東町1丁目							●			3			調査協力員
10	24	晴	関前3丁目					●					1			調査協力員

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
10	27	晴	関前2丁目							●			3			調査協力員
11	3	晴	吉祥寺南町4丁目							●			3			調査協力員
11	3	晴	吉祥寺南町4丁目						●				10			調査協力員
11	4	晴	関前2丁目							●			12			調査協力員
11	15	曇	吉祥寺東町1丁目							●			3			調査協力員
11	15	-	関前2丁目							●			1			調査協力員
11	17	晴	関前2丁目							●			6			調査協力員
11	21	晴	関前2丁目							●			2			調査協力員
11	22	曇	関前2丁目							●			4			調査協力員
11	27	晴	境南町3丁目					●		●			1		●	B
11	27	晴	緑町3丁目					●		●			2		●	C
11	27	晴	緑町2丁目					●		●			1		●	C
11	27	晴	吉祥寺南町1丁目					●					3		●	E
11	28	晴	関前2丁目							●			6	柿の実に小鳥集まる		調査協力員
12	1	晴	関前2丁目							●			3			調査協力員
12	8	晴	関前2丁目							●			5			調査協力員
12	19	-	関前1丁目								●		1			調査協力員
12	19	-	関前5丁目							●			20			調査協力員
12	25	晴	緑町2丁目					●					6	ひなたぼっこ		調査協力員
12	25	晴	関前2丁目							●			5			調査協力員
12	25	-	関前5丁目					●					1			調査協力員
12	27	晴	関前2丁目							●			5			調査協力員
12	29	晴	緑町2丁目							●			9	ケヤキの木		調査協力員
12	31	晴	緑町2丁目							●			10	ケヤキの木		調査協力員
12	31	-	境4丁目								●		1			調査協力員
1	2	-	境4丁目					●					1			調査協力員
1	2	-	桜堤2丁目					●					1			調査協力員
1	2	晴	関前3丁目						●				3			調査協力員
1	2	晴	関前5丁目	●									1			調査協力員
1	6	晴	関前2丁目							●			7			調査協力員
1	6	晴	関前2丁目					●					2			調査協力員
1	15	晴	緑町2丁目		●					●			複	枯木の枝に群れていた		調査協力員
1	15	晴	中町2丁目		●								複	枯木の枝渡り		調査協力員
1	17	晴	吉祥寺東町1丁目							●			10			調査協力員
1	20	晴	関前3丁目					●					5			調査協力員
1	29	晴	中町2丁目							●			3	中町集会所の北側住宅地の木々の間		調査協力員
1	31	晴	吉祥寺北町3丁目							●			2			調査協力員

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9羽）、●（のべ10羽以上）	●
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9羽）、○（のべ10羽以上）	●
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9羽）、▲（のべ10羽以上）	●
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9羽）、△（のべ10羽以上）	●
専門調査員による補充調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9羽）、□（のべ10羽以上）	●
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9羽）、★（のべ10羽以上）	●
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9羽）、☆（のべ10羽以上）	●

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.	種名	分類	科・属
47	キジバト	鳥類	ハト科

1. 調査対象種の特徴

山バトとも呼ばれ、平地から山地に生息する。体長約33cm、雌雄同色で頭から首・胸・腹にかけて淡い紫褐色、翼上面(雨覆)は濃灰色と赤褐色の鱗模様、尾は濃灰色で尾羽の先端が淡い灰色、首の左右に黒と淡い青色の横縞模様がある。

雑食性で主に果実や種子を食べるが昆虫やミミズ、残飯なども食べる。
ほぼ一年中繁殖し、樹や建造物に枯れ枝で皿状の巣を作り2個の卵を産む。巣は何回も使われることが多い。

2. 観察された環境区分

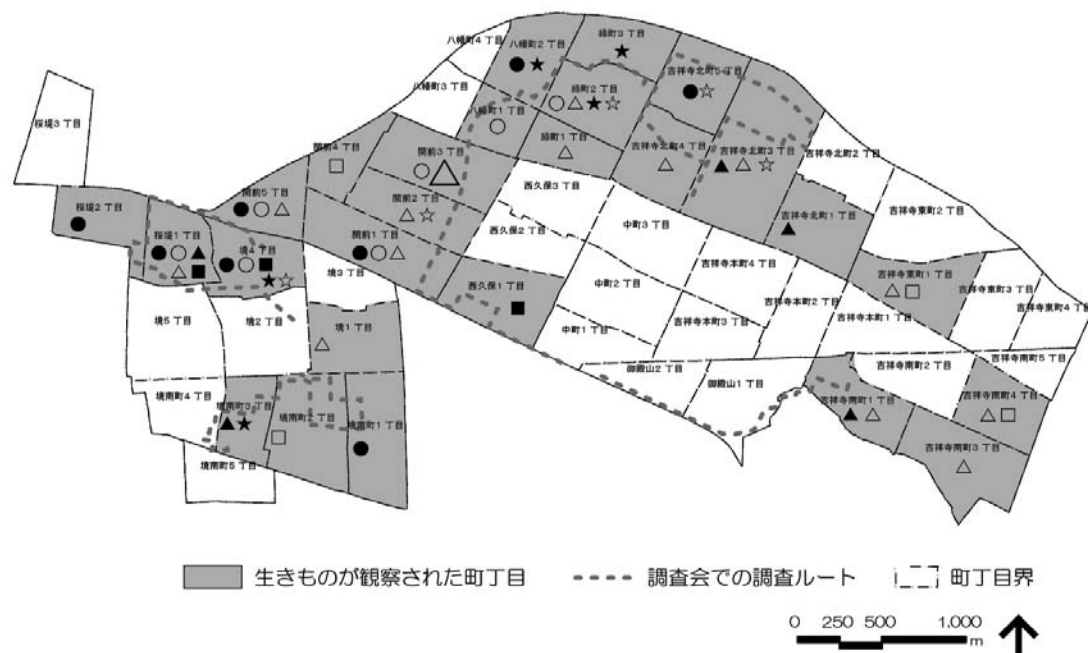
①	②	③大木・ツボ・リクツリ	④生垣環境	⑤公園環境	⑥農地環境	⑦宅地・庭先	⑧水辺環境	⑨ビオトープ
●	●		●	●	●	●	●	

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
5	22	晴	桜堤2丁目					●					1		●	A
5	22	晴	桜堤1丁目					●		●			1		●	A
5	22	晴	桜堤1丁目				●	●		●	●		1		●	A
5	22	晴	境4丁目					●					1		●	A
5	22	晴	境4丁目					●			●		1		●	A
5	22	晴	関前5丁目					●	●		●		1		●	A
5	22	晴	境南町1丁目							●			2		●	B
5	22	晴	八幡町2丁目	●				●					1		●	C
5	22	晴	関前1丁目		●								1		●	C
5	22	晴	吉祥寺北町5丁目	●									1		●	D
5	22	晴	桜堤1丁目					●		●			1			調査協力員
5	22	晴	桜堤1丁目					●					1			調査協力員
5	22	晴	境4丁目					●					1			調査協力員
5	22	晴	八幡町1丁目	●				●					1			調査協力員
5	27	晴	関前3丁目					●					1			調査協力員
5	30	曇	緑町2丁目		●								複			調査協力員
6	20	曇	関前1丁目		●								2	電線にとまっていた		調査協力員
6	20	曇	関前3丁目					●			●		1			調査協力員
7	4	-	関前5丁目								●		1			調査協力員
7	19	晴	桜堤1丁目							●			2		●	A
7	19	晴	境南町3丁目		●								1		●	B
7	19	晴	吉祥寺北町3丁目					●			●		1		●	D
7	19	晴	吉祥寺南町1丁目							●			2		●	E
7	20	晴	吉祥寺北町3丁目						●				1			調査協力員
7	15	晴	関前5丁目		●								2			調査協力員
7	27	晴	関前5丁目						●				1			調査協力員
7	30	雨	関前2丁目				●						1			調査協力員
7	30	雨	関前2丁目							●			1			調査協力員
7	30	雨	関前2丁目							●			1			調査協力員
8	1	-	吉祥寺南町4丁目							●			1	巣		調査協力員
8	30	-	吉祥寺南町4丁目							●			2			調査協力員
8	4	晴	関前1丁目					●					1			調査協力員
8	2	曇	吉祥寺南町1丁目					●					2			調査協力員
8	25	晴	吉祥寺南町3丁目					●					1			調査協力員
8	8	晴	関前3丁目					●					10			調査協力員
8	1	晴	吉祥寺東町1丁目							●			2	小さい。今春生まれたのか		調査協力員
9	13	晴	吉祥寺北町4丁目							●			1			調査協力員
9	19	晴	吉祥寺北町4丁目							●			1			調査協力員

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
9	2	晴	境1丁目					●					1	鳴き声		調査協力員
9	2	晴	緑町1丁目					●		●			2			調査協力員
9	4	晴	緑町2丁目		●								1			調査協力員
9	20	-	桜堤1丁目								●		1			調査協力員
10	7	晴	西久保1丁目					●					1			専門調査員
10	7	晴	西久保1丁目								●		1			専門調査員
10	23	晴	境4丁目					●			●		2	エゴノキの実を食べていた		専門調査員
10	23	晴	桜堤1丁目								●		1			専門調査員
9	29	晴	関前4丁目							●			1			調査協力員
10	7	晴	境南町2丁目		●					●			1	姿はなく鳴き声のみ確認		調査協力員
11	15	曇	吉祥寺東町1丁目							●			2			調査協力員
11	1	-	吉祥寺南町4丁目							●			5			調査協力員
11	15	-	吉祥寺南町4丁目							●			2			調査協力員
11	6	晴	境南町2丁目		●								2	巣を作っているようだった		調査協力員
11	27	晴	境4丁目					●		●			1		●	A
11	27	晴	境南町3丁目					●		●			1		●	B
11	27	晴	境南町3丁目					●		●			1		●	B
11	27	晴	緑町3丁目					●		●			7		●	C
11	27	晴	緑町2丁目					●		●			1		●	C
11	27	晴	八幡町2丁目					●					1		●	C
12	9	晴	関前2丁目							●			2			調査協力員
12	19	-	境4丁目							●			1			調査協力員
12	19	-	境4丁目								●		1			調査協力員
12	26	-	境4丁目								●		1			調査協力員
12	30	-	境4丁目					●			●		1			調査協力員
12	31	-	境4丁目								●		1			調査協力員
1	2	-	境4丁目								●		1			調査協力員
1	3	-	境4丁目								●		1			調査協力員
1	30	晴	吉祥寺北町5丁目				●			●			1			調査協力員
1	16	晴	緑町2丁目					●		●			1	歩いて虫をついばんでいる		調査協力員
1	29	晴	緑町2丁目					●					6	地面の虫をつついてる		調査協力員
1	8	-	境4丁目								●		1			調査協力員
1	31	晴	吉祥寺北町3丁目							●			1			調査協力員

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9羽）、●（のべ10羽以上）	●
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9羽）、○（のべ10羽以上）	●
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9羽）、▲（のべ10羽以上）	●
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9羽）、△（のべ10羽以上）	●
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9羽）、□（のべ10羽以上）	●
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9羽）、★（のべ10羽以上）	●
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9羽）、☆（のべ10羽以上）	●

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.	種名	分類	科・属
48	ウグイス	鳥類	ヒタキ科

1. 調査対象種の特徴

平地から高山帯まで生息し、積雪地のものは冬期に低地に移動する。木や笹の茂った藪の中でチャッ・チャッと鳴きながら移動するスズメ大の小鳥で見るのが難しい。体長約15cm、雌雄同色で背面がくすんだ緑褐色、腹面は白色に近い褐色で、顔に淡色の眉斑がある。よく似ているムシクイ類より尾が長いので区別できる。

地鳴きのチャッ・チャッを笹鳴き、ホーホケョをさえずり、警戒音のケキョケキョ…を谷渡りと呼び、どれも特徴的で鳴き声だけでウグイスと判断できる。雑食性で夏季は主に昆虫を食べ、冬期には種子や果実なども食べている。藪の中に笹やススキの葉で球状の巣を作り、4～6個の卵を産む。

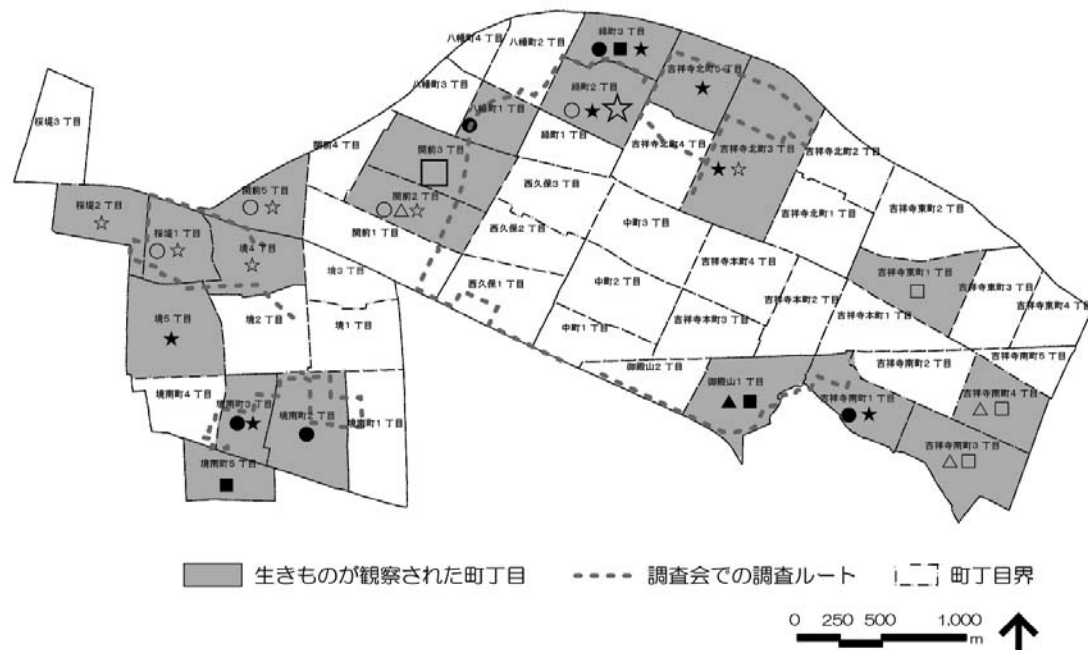
2. 観察された環境区分

①	②	③大木・ ツボ・リクツリ	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
樹林環境	並木環境		生垣環境	公園環境	農地環境	宅地・庭先	水辺環境	ビオトープ
			●	●		●		

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は 調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
6	13	-	御殿山1丁目					●					1	鳴き声だけが美しくきこえた		調査協力員
7	18	晴	関前3丁目				●						1			調査協力員
11	29	晴	緑町2丁目							●			1	鳴き声		調査協力員
12	31	晴	緑町2丁目							●			1	鳴き声		調査協力員
12	26	-	境4丁目					●					1			調査協力員
1	8	-	関前5丁目							●			1			調査協力員
1	9	-	境4丁目					●					1			調査協力員

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9羽）、●（のべ10羽以上）	
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9羽）、○（のべ10羽以上）	●
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9羽）、▲（のべ10羽以上）	
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9羽）、△（のべ10羽以上）	
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9羽）、□（のべ10羽以上）	
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9羽）、★（のべ10羽以上）	
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9羽）、☆（のべ10羽以上）	●

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.	種名	分類	科・属
49	メジロ	鳥類	メジロ科

1. 調査対象種の特徴

日本全国の低地から山地まで広く分布しており、スズメよりもやや小さく、全長約12cm、頭から尾の先までの上面が緑色の強い褐色で一般的に鶯色と呼ばれている。喉から腹面はくすんだ白色で喉は黄色味が強い。眼の回りが白く輪になっており名前の由来となっている。

繁殖期以外は群れを作り行動している。繁殖期になると二羽で行動するようになる。花の蜜が好きで梅、椿、桜などの花にくちばしを突っ込んで蜜をなめているのをよく見かける。雑食性で普段は昆虫や種子、果実を食べている。木の枝の間にハンモック状の巣を作り4～5個の卵を産む。

2. 観察された環境区分

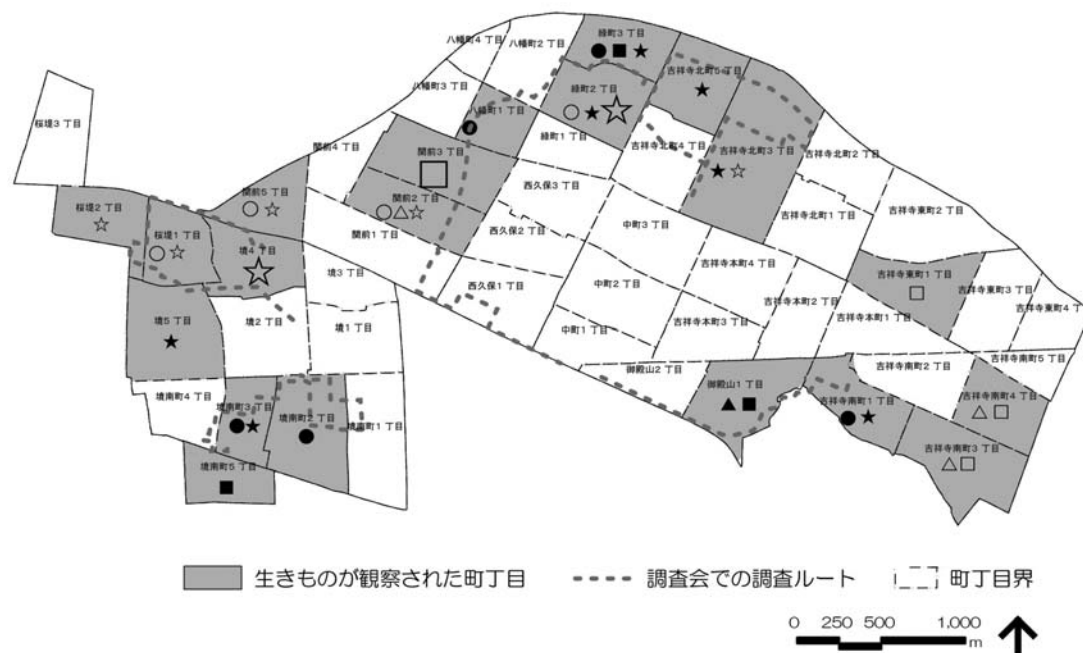
①	②	③大木・ツボ・リクツリ	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
樹林環境	並木環境		生垣環境	公園環境	農地環境	宅地・庭先	水辺環境	ビオトープ
●	●		●	●	●	●	●	

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
5	22	晴	境南町3丁目	●									1		●	B
5	22	晴	境南町2丁目	●									1		●	B
5	22	晴	緑町3丁目		●								1		●	C
5	22	晴	八幡町1丁目		●								1		●	C
5	22	晴	吉祥寺南町1丁目								●		2		●	E
5	22	晴	緑町2丁目		●								3			調査協力員
7	1		関前2丁目							●			1			調査協力員
7	4		桜堤1丁目		●								1			調査協力員
7	6		関前2丁目							●			1			調査協力員
7	15	晴	関前5丁目		●								2			調査協力員
7	19	晴	御殿山1丁目										2		●	E
8	1		吉祥寺南町4丁目							●			6	朝方		調査協力員
9	2	晴	吉祥寺南町3丁目							●			2			調査協力員
9	18	晴	関前2丁目							●			1			調査協力員
9	24	晴	御殿山1丁目	●									1			専門調査員
10	7	晴	緑町3丁目		●								5			専門調査員
10	23	晴	境5丁目							●			1			専門調査員
10	3		吉祥寺南町4丁目							●			4			調査協力員
11	1		吉祥寺南町4丁目							●			3			調査協力員
11	15	曇	吉祥寺東町1丁目							●			2			調査協力員
11	24	晴	吉祥寺南町3丁目							●			1			調査協力員
11	25	晴	関前3丁目							●			10	庭の力キを食べていた		調査協力員
11	27	晴	境5丁目										8		●	A
11	27	晴	境南町3丁目					●		●			1		●	B
11	27	晴	境南町3丁目					●		●			1		●	B
11	27	晴	緑町3丁目					●		●			1		●	C
11	27	晴	緑町2丁目					●		●			1		●	C
11	27	晴	吉祥寺北町5丁目							●			1		●	D
11	27	晴	吉祥寺北町3丁目					●					3		●	D
11	27	晴	吉祥寺南町1丁目					●					2		●	E
11	27	晴	吉祥寺北町3丁目				●						1			調査協力員
12	19	晴	緑町2丁目							●			2	ケヤキの木		調査協力員
12	12	-	境4丁目							●			1			調査協力員
12	15	-	関前5丁目						●				1			調査協力員
12	19	-	境4丁目								●		1			調査協力員
12	23	-	境4丁目					●					1			調査協力員
12	25	-	桜堤1丁目							●			1			調査協力員
12	25	-	関前5丁目					●					1			調査協力員

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
12	26	-	境4丁目								●		1			調査協力員
12	31	-	境4丁目								●		1			調査協力員
12	31	-	境4丁目								●		1			調査協力員
12	13	晴	関前2丁目							●			2			調査協力員
1	4	晴	緑町2丁目							●			2			調査協力員
1	5	晴	緑町2丁目							●			2	ケヤキの木		調査協力員
1	26	晴	緑町2丁目							●			2	椿の花		調査協力員
1	27	晴	緑町2丁目							●			2	梅の花		調査協力員
1	30	曇	緑町2丁目							●			1	梅の花		調査協力員
1	16	晴	緑町2丁目					●					複	もちの木の繁る葉の中うるさく鳴く		調査協力員
1	2	-	桜堤1丁目								●		1			調査協力員
1	2	-	桜堤2丁目								●		1			調査協力員
1	2	-	桜堤1丁目							●			1			調査協力員
1	3	-	境4丁目								●		1			調査協力員
1	3	-	境4丁目								●		1			調査協力員
1	8	-	桜堤2丁目								●		1			調査協力員
1	8	-	境4丁目					●					1			調査協力員
1	8	-	境4丁目								●		1			調査協力員
1	12	-	吉祥寺北町3丁目							●			1	時々やってくる		調査協力員

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9羽）、●（のべ10羽以上）	●
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9羽）、○（のべ10羽以上）	●
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9羽）、▲（のべ10羽以上）	●
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9羽）、△（のべ10羽以上）	●
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9羽）、□（のべ10羽以上）	●
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9羽）、★（のべ10羽以上）	●
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9羽）、☆（のべ10羽以上）	●

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.	種名	分類	科・属
50	ニホンカナヘビ	は虫類	カナヘビ科

1. 調査対象種の特徴

日本固有種で平地から低山地の藪や草地、庭などに棲んでいる。成体の全長は16～27cmで尾が長く全長の2分3近くを占める。上面は褐色の隆起のあるかさついた鱗で覆われており、腹面は灰色から黄色味をおびた白色の鱗で覆われる。側面には細い白線と太い黒褐色の帯が走るが幼体では不明瞭、また個体による変動が大きく全く目立たないものもある。

主に昆虫などを食べ、地上に置かれた岩や木材の下に普段は隠れていて、卵を産む場所も同様な所で2～6個の卵を産む。年に数回産卵を繰り返す場合もある。日向で日光浴をしているのを見ることが多い。

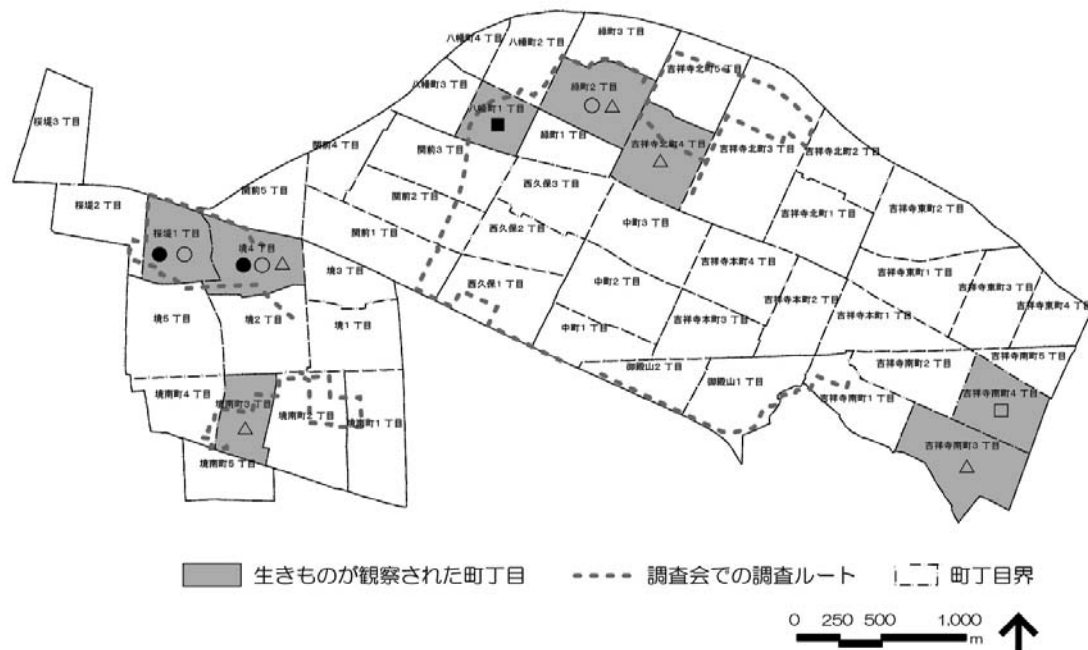
2. 観察された環境区分

①	②	③大木・ ツボ・リクツリ	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
樹林環境	並木環境		生垣環境	公園環境	農地環境	宅地・庭先	水辺環境	ビオトープ
●	●		●	●		●	●	

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は 調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
5	22	晴	桜堤1丁目							●			1		●	A
5	22	晴	桜堤1丁目				●	●		●	●		1		●	A
5	22	晴	境4丁目	●				●					1		●	A
5	22	晴	桜堤1丁目					●					1			調査協力員
5	22	晴	桜堤1丁目							●			1			調査協力員
5	22	晴	境4丁目					●					1			調査協力員
6	16	晴	緑町2丁目		●								1	道で死んだ状態でみた		調査協力員
7	19	晴	境南町3丁目							●			1	子どもの死骸		調査協力員
7	24	晴	緑町2丁目		●								1			調査協力員
9	19	晴	吉祥寺北町4丁目							●			1			調査協力員
9	15	曇	吉祥寺南町3丁目							●			1			調査協力員
9	19	-	境4丁目							●			1			調査協力員
9	18	-	八幡町2丁目	●				●					1			専門調査員
10	15	-	吉祥寺南町4丁目							●			1	植木鉢の中		調査協力員

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9匹）、●（のべ10匹以上）	●
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9匹）、○（のべ10匹以上）	●
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9匹）、▲（のべ10匹以上）	
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9匹）、△（のべ10匹以上）	●
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9匹）、□（のべ10匹以上）	●
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9匹）、★（のべ10匹以上）	
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9匹）、☆（のべ10匹以上）	

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.	種名	分類	科・属
51	ニホントカゲ	は虫類	トカゲ科

1. 調査対象種の特徴

日本全土(一部の島を除く)に分布する。成体は全長約20~25cm、尾は頭胴長よりもはるかに長い。平地から低山地の林縁や人家近くに棲んでいる。

成体の体色は茶褐色で体側に黒褐色の帯が見られる。幼体は黒い体に5本の黄(金)色線が尾まで続き、尾はコバルトブルー。全体に艶やかでなめらか感がある。成長と共に尾の青色は消え、全体的に茶褐色となる。交尾期の4~5月に雄には腹部にオレンジ色の婚姻色が現れる。5~6月に岩の下や土手に開いた穴、石積みの中の奥の巣に5~16個の卵を産む。昆虫やミミズなどを食べている。尾は切れやすい。

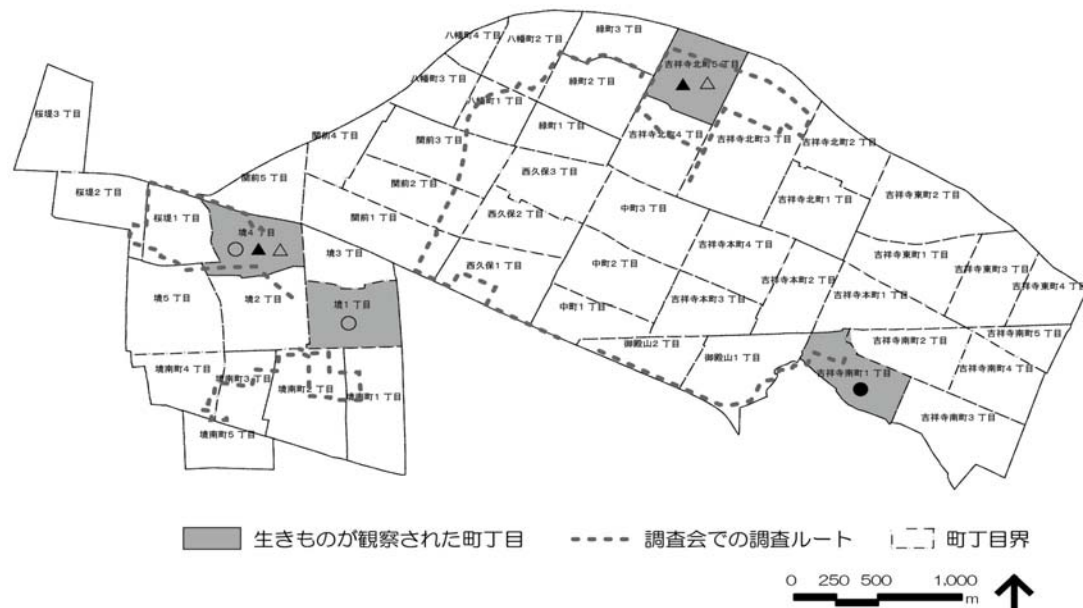
2. 観察された環境区分

①	②	③大木・ ツバ・リックツリ	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
樹林環境	並木環境		生垣環境	公園環境	農地環境	宅地・庭先	水辺環境	ビオトープ
●	●			●		●	●	

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は 調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
5	22	晴	吉祥寺南町1丁目								●		1		●	E
5	30	-	境1丁目							●			1			調査協力員
6	26	晴	境4丁目					●					1			調査協力員
7	19	晴	境4丁目								●		1		●	A
7	19	晴	境4丁目					●					1		●	A
7	19	晴	吉祥寺北町5丁目	●									1		●	D
8	7	-	境4丁目							●			1			調査協力員
8	8	-	境4丁目							●			1			調査協力員
8	19	晴	吉祥寺北町5丁目		●								1	濃く美しいコバルトブルー		調査協力員
9	18	-	境4丁目							●			1			調査協力員

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9匹）、●（のべ10匹以上）	●
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9匹）、○（のべ10匹以上）	●
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9匹）、▲（のべ10匹以上）	●
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9匹）、△（のべ10匹以上）	●
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9匹）、□（のべ10匹以上）	
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9匹）、★（のべ10匹以上）	
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9匹）、☆（のべ10匹以上）	

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.	種名	分類	科・属
52	アオダイショウ	は虫類	ナミヘビ科

1. 調査対象種の特徴

日本各地(沖縄諸島などは除く)に分布し、全長2mにも成長する。平地の人家付近から山地の森林まで見られる。背面は青色がかった褐色で不明瞭な4本の濃褐色の縦条がある。ただし全身が茶褐色のものもいる。幼蛇は灰色や明るい褐色をしており、背と体側に褐色のはしご型の横斑が並ぶため、マムシと間違えられやすい。石垣や樹木など地形を立体的に使用し、鳥や卵、ネズミやカエルなどの小動物を食べている。7～8月に4～15個の卵を巣穴に産みつける。

2. 観察された環境区分

①	②	③大木・	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
樹林環境	並木環境	ツボ リックツリ	生垣環境	公園環境	農地環境	宅地・庭先	水辺環境	ビオトープ
						●		

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
7	19	晴	御殿山1丁目							●			1		●	E

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9匹）、●（のべ10匹以上）	
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9匹）、○（のべ10匹以上）	
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9匹）、▲（のべ10匹以上）	●
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9匹）、△（のべ10匹以上）	
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9匹）、□（のべ10匹以上）	
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9匹）、★（のべ10匹以上）	
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9匹）、☆（のべ10匹以上）	

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.	種名	分類	科・属
53	ニホンヤモリ	は虫類	ヤモリ科

1. 調査対象種の特徴

福島県以南の本州、四国、九州、対馬などに分布し、人家や人家の近くに棲んでいる。全長約14cmほどに成長し尾は頭胴長よりも短い。主に建物で見られるが、人家近くの木の洞などでも見られることがある。灰褐色から黒褐色の体色をしているが周囲の状況により体色の濃淡を変えることができる。不鮮明な暗色の斑紋が上面にある。トカゲのような鱗ではなく、小さな粒状の鱗が体表にある。指は扁平で幅広の鱗の表面に鉤状の毛が生えており、これを壁面の細かな凹凸に引っかけて移動する。夜行性で昆虫などを食べている。5月～8月に壁の隙間、天井裏に2～3個の卵を産む。卵は初め表面が粘っていて柱などに付着し固まる。年1～2回産卵する。

2. 観察された環境区分

①	②	③大木・	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
樹林環境	並木環境	ツボ・リクツリ	生垣環境	公園環境	農地環境	宅地・庭先	水辺環境	ビオトープ
					●	●		

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
7	2	曇	関前5丁目						●				1	枝豆の葉の上で日光浴		調査協力員
7	21	-	吉祥寺南町3丁目							●			1	畑の敷きワラ 農業ふれあい公園は昆虫類の観察スポットとして機能していない		調査協力員
7	23	晴	関前5丁目						●				1			調査協力員
7	27	晴	関前5丁目						●				1			調査協力員
8	30	-	吉祥寺南町5丁目							●			1			調査協力員
8	30	-	吉祥寺南町4丁目							●			6			調査協力員
9	13	曇	吉祥寺南町3丁目							●			2			調査協力員
9	28	雨	吉祥寺北町3丁目							●			2	いつもいる		調査協力員
10	1	晴	吉祥寺南町5丁目							●			2	家の壁		調査協力員
10	5	晴	緑町2丁目							●			1			調査協力員
10	15	-	吉祥寺南町4丁目							●			3	家と塀の隙間		調査協力員

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9匹）、●（のべ10匹以上）	
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9匹）、○（のべ10匹以上）	●
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9匹）、▲（のべ10匹以上）	
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9匹）、△（のべ10匹以上）	●
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9匹）、□（のべ10匹以上）	●
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9匹）、★（のべ10匹以上）	
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9匹）、☆（のべ10匹以上）	

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.	種名	分類	科・属
54	ニホンアカガエル	両生類	アカガエル科

1. 調査対象種の特徴

本州、四国、九州、隠岐、大隅諸島に分布し、平地や丘陵地の湿地や水田に生息する。
 平地で普通に見られる黒褐色から赤褐色の体長約6cmになる中型のカエルで、口先はやや尖り、背面は平滑でほとんど突起物が無い。鼓膜部分が黒く、眼から後ろに延びる背側線は明瞭でほとんど折れ曲がらない。
 主にバッタなどの昆虫を食べる。産卵は2月頃に水深の浅い止水部でおこなわれ、球状の卵塊を作る。

2. 観察された環境区分

① 樹林環境	② 並木環境	③大木・ ツボ・リックツリ	④ 生垣環境	⑤ 公園環境	⑥ 農地環境	⑦ 宅地・庭先	⑧ 水辺環境	⑨ ビオトープ

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は 調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
														(なし)		

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9匹）、●（のべ10匹以上）	
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9匹）、○（のべ10匹以上）	
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9匹）、▲（のべ10匹以上）	
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9匹）、△（のべ10匹以上）	
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9匹）、□（のべ10匹以上）	
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9匹）、★（のべ10匹以上）	
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9匹）、☆（のべ10匹以上）	

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.	種名	分類	科・属
55	アズマヒキガエル	両生類	ヒキガエル科

1. 調査対象種の特徴

本州の近畿付近から東北地方まで分布する。海岸から高山までの森林に広範囲に生息し、都市部の公園や人家の庭でも見られる。

体長16cmにもなる大形のカエルで四肢は短く太く、歩いて移動するのに適した体型になっている。陸棲で繁殖期以外は積極的に水に入ることは無い。体色は変化に富み、黒褐色、赤褐色、黄褐色など褐色系で側面から腹部は白地に黒の斑模様がある。皮膚にはたくさんの隆起があり一般にイボと呼んでいる特に眼の後ろに大きな隆起があり、これを耳腺と言い耳腺やイボから白い毒液を出して外敵から身を守る。夜行性で昆虫や甲殻類等の小動物を食べ、昼間は倒木や石の下、積もった落ち葉の中などで休んでいる。東京では3～4月に浅い池などに集まり、ひも状の卵のうを産む。

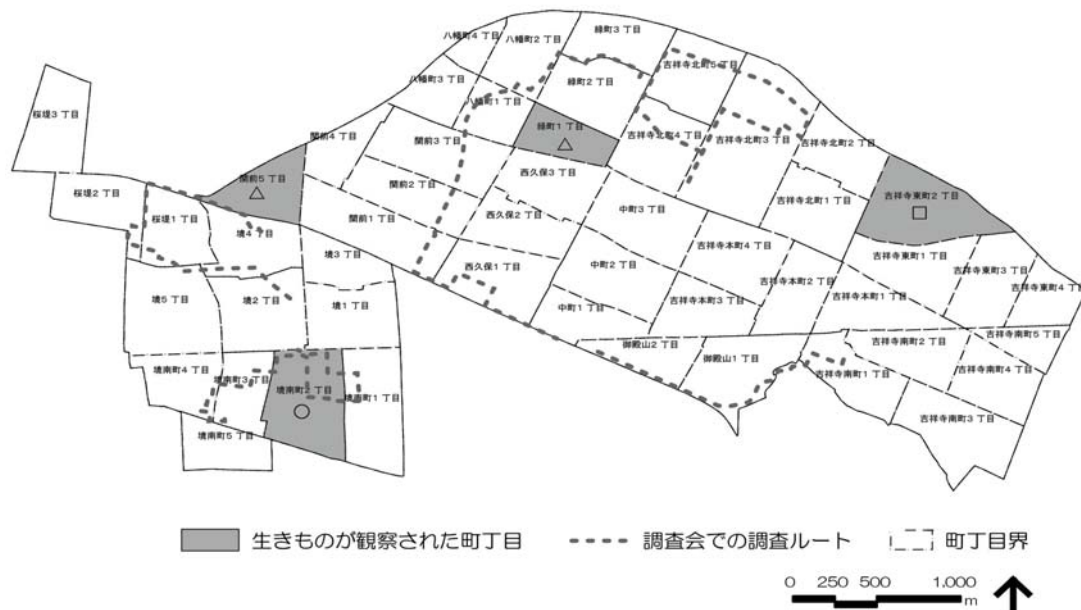
2. 観察された環境区分

①	②	③大木・ ツル・リクツリ	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
樹林環境	並木環境		生垣環境	公園環境	農地環境	宅地・庭先	水辺環境	ヒ・オ-フ
	●				●	●		●

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は 調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
7	11	晴	境南町2丁目									●	1	小さな子どものカエルでも体型は大人そのもの		調査協力員
9	4	晴	緑町1丁目		●								1			調査協力員
9	4	晴	関前5丁目						●				1			調査協力員
9	25	雨	吉祥寺東町2丁目							●			1			調査協力員

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9匹）、●（のべ10匹以上）	
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9匹）、○（のべ10匹以上）	●
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9匹）、▲（のべ10匹以上）	
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9匹）、△（のべ10匹以上）	●
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9匹）、□（のべ10匹以上）	●
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9匹）、★（のべ10匹以上）	
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9匹）、☆（のべ10匹以上）	

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.	種名	分類	科・属
56	ヒダリマキマイマイ	魚貝類	オナジマイマイ科

1. 調査対象種の特徴

左巻きのカタツムリで本州の中部地方、関東地方、東北地方に分布する。半樹上性で平地から山地湿った場所に生息している。殻径は約5cmにもなり、やや高い円錐形で、殻色は黄褐色から褐色まで色々あり、普通は巻きに沿って1本の濃褐色の線がある。殻口は環状に厚くなり白い。体の上面は黒や褐色の斑点があるが、個体差が大きい。

枯葉やキノコ、石などに付いた藻類を食べる。7～9月に産卵し、1回で約30個ほどの卵を産む。

2. 観察された環境区分

① 樹林環境	② 並木環境	③大木・ ツル・リクツリ	④ 生垣環境	⑤ 公園環境	⑥ 農地環境	⑦ 宅地・庭先	⑧ 水辺環境	⑨ ビオトープ

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は 調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
														(なし)		

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9匹）、●（のべ10匹以上）	
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9匹）、○（のべ10匹以上）	
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9匹）、▲（のべ10匹以上）	
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9匹）、△（のべ10匹以上）	
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9匹）、□（のべ10匹以上）	
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9匹）、★（のべ10匹以上）	
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9匹）、☆（のべ10匹以上）	

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.	種名	分類	科・属
57	ミスジマイマイ	魚貝類	オナジマイマイ科

1. 調査対象種の特徴

関東地方以北に分布する。平野部の疎林に生息し、樹木の多い公園や庭などでも見られる。地上から樹上まで使って活動しているため木に付いているのをよく見ることができる。

殻の径は4.5cmほどになり、殻高はヒダリマキマイマイより低く、ペーゴマの形に似ている。殻には3本の線があるのが一般的だが4本から線のないものまで個体により変化がある。殻口は円形に近く内側が赤みを帯びる。体の背に1本の縦線が入る。春から初夏にかけて産卵し、1回に30個ほどの卵を産む。

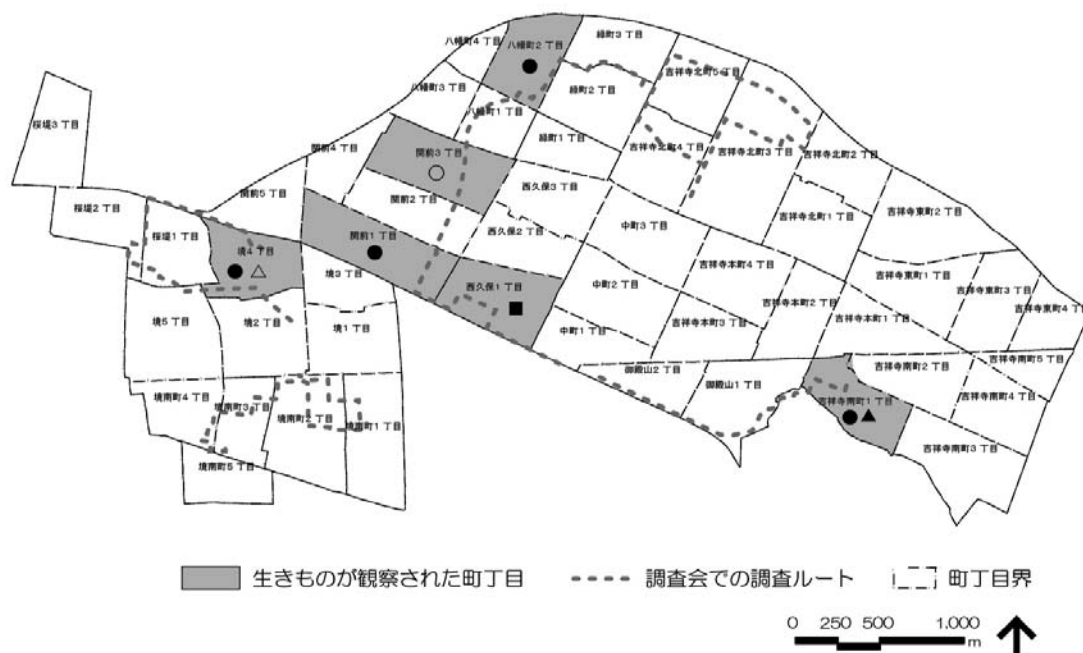
2. 観察された環境区分

①	②	③大木・ ツボ リックツリ	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
樹林環境	並木環境		生垣環境	公園環境	農地環境	宅地・庭先	水辺環境	ビオトープ
●			●	●			●	

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は 調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
5	22	晴	境4丁目	●				●					1		●	A
5	22	晴	八幡町2丁目	●				●					1		●	C
5	22	晴	関前1丁目					●					1		●	C
5	22	晴	吉祥寺南町1丁目	●				●			●		2		●	E
5	22	晴	関前3丁目								●		1			調査協力員
7	19	晴	吉祥寺南町1丁目	●				●			●		3		●	E
9	23	-	境4丁目				●						1			調査協力員
10	7	晴	西久保1丁目								●		1			専門調査員

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9匹）、●（のべ10匹以上）	●
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9匹）、○（のべ10匹以上）	●
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9匹）、▲（のべ10匹以上）	●
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9匹）、△（のべ10匹以上）	●
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9匹）、□（のべ10匹以上）	
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9匹）、★（のべ10匹以上）	
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9匹）、☆（のべ10匹以上）	

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.	種名	分類	科・属
58	クロアゲハ	昆虫類	アゲハチョウ科

1. 調査対象種の特徴

成虫は森林内を好み、開けた場所に出てくることは少ない。林縁部でよく見られる。赤い花を好みツツジやヒガンバナで吸蜜するがクサギやヤブガラシ、アベリアの花にもよく飛来する。

翅は黒色で後翅後端に赤い紋が入る。春型は後翅上面に青い鱗粉が混ざる。雄には前翅と後翅が重なる狭い部分に白(黄)紋があり羽ばたいている時にちらりと見ることができる。幼虫はミカンやサンショウの葉を食べる。

2. 観察された環境区分

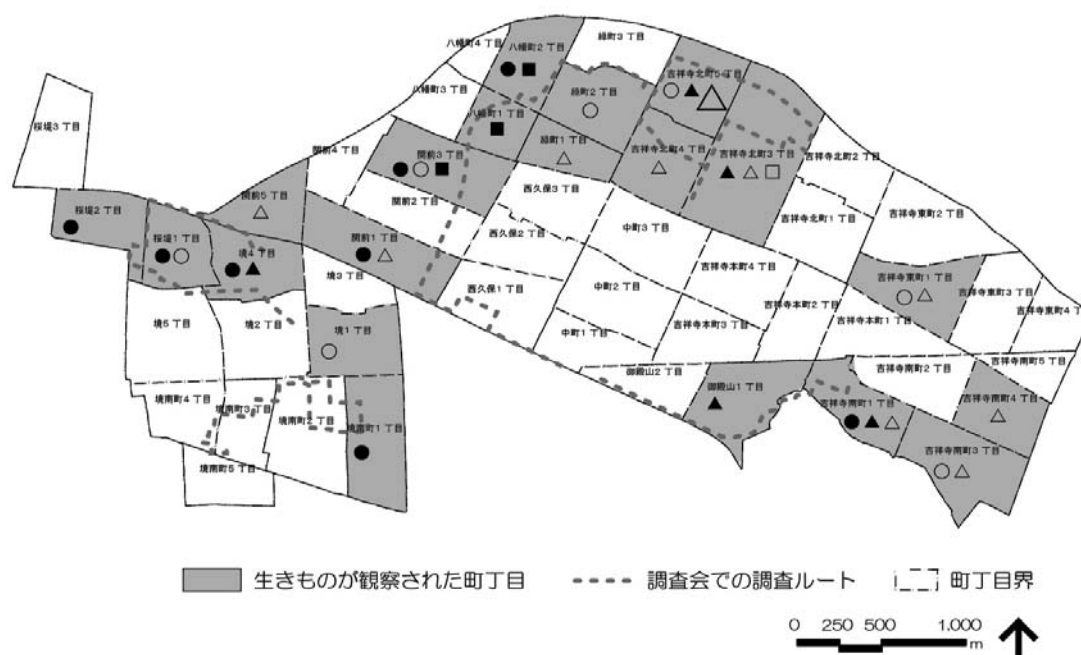
①	②	③大木・ シボリックツリー	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
樹林環境	並木環境		生垣環境	公園環境	農地環境	宅地・庭先	水辺環境	ビオトープ
●	●		●	●	●	●	●	

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は 調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
5	22	晴	桜堤2丁目					●			●		1		●	A
5	22	晴	桜堤1丁目							●			1		●	A
5	22	晴	桜堤1丁目					●			●		1		●	A
5	22	晴	桜堤1丁目				●	●		●	●		1		●	A
5	22	晴	境4丁目	●				●					1		●	A
5	22	晴	境南町1丁目	●									1		●	B
5	22	晴	八幡町2丁目	●				●					1		●	C
5	22	晴	八幡町2丁目	●				●					1		●	C
5	22	晴	関前3丁目					●			●		1		●	C
5	22	晴	関前1丁目					●					1		●	C
5	22	晴	吉祥寺南町1丁目								●		2		●	E
5	22	晴	桜堤1丁目							●			1			調査協力員
5	22	晴	緑町2丁目					●		●			1			調査協力員
5	22	晴	関前3丁目					●					1			調査協力員
6	5	晴	吉祥寺北町5丁目				●						1			調査協力員
7	1	曇	吉祥寺南町3丁目							●			1			調査協力員
7	5	曇	吉祥寺東町1丁目							●			2	雄1 雌1。雄は斑点がカラフルできれい		調査協力員
7	16	-	境1丁目					●			●		1			調査協力員
7	19	晴	境4丁目								●		1		●	A
7	19	晴	吉祥寺北町5丁目	●									1		●	D
7	19	晴	吉祥寺北町3丁目					●			●		1		●	D
7	19	晴	吉祥寺南町1丁目							●			1		●	E
7	19	晴	吉祥寺南町1丁目							●			1		●	E
7	19	晴	御殿山1丁目							●			1		●	E
7	22	晴	吉祥寺北町5丁目		●								2			調査協力員
7	27	晴	関前5丁目						●				1			調査協力員
7	28	晴	吉祥寺北町5丁目		●								3			調査協力員
8	2	曇	吉祥寺南町1丁目					●					1			調査協力員
8	3	晴	吉祥寺北町5丁目				●						1			調査協力員
8	10	-	吉祥寺北町4丁目							●			1			調査協力員

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
8	14	曇	吉祥寺北町5丁目										1			調査協力員
8	17	晴	吉祥寺北町5丁目				●						2			調査協力員
8	18	晴	吉祥寺北町4丁目							●			1			調査協力員
8	23	-	吉祥寺北町4丁目							●			1			調査協力員
8	24	晴	吉祥寺南町1丁目					●					1			調査協力員
8	30	-	吉祥寺南町4丁目							●			1			調査協力員
8	25	晴	吉祥寺南町3丁目					●					1			調査協力員
9	2	晴	吉祥寺北町5丁目				●						1			調査協力員
9	4	晴	緑町1丁目	●									2			調査協力員
9	7	晴	関前5丁目					●					1			調査協力員
9	9	晴	吉祥寺北町5丁目	●									1			調査協力員
9	11	晴	吉祥寺東町1丁目							●			1			調査協力員
9	12	晴	吉祥寺北町3丁目							●			1			調査協力員
9	17	晴	吉祥寺南町3丁目					●					1			調査協力員
9	18	-	関前1丁目								●		1			調査協力員
9	18	晴	吉祥寺北町5丁目	●									1			調査協力員
9	29	曇	吉祥寺北町3丁目							●			1			調査協力員
10	7	晴	八幡町2丁目					●					1	♀		専門調査員
10	7	晴	八幡町1丁目	●									1	♀		専門調査員
10	7	晴	関前3丁目					●					1	♀		専門調査員

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9匹）、●（のべ10匹以上）	●
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9匹）、○（のべ10匹以上）	●
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9匹）、▲（のべ10匹以上）	●
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9匹）、△（のべ10匹以上）	●
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9匹）、□（のべ10匹以上）	●
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9匹）、★（のべ10匹以上）	
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9匹）、☆（のべ10匹以上）	

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.	種名	分類	科・属
59	クロオオアリ	昆虫類	アリ科

1. 調査対象種の特徴

体全体が黒色の大きなアリ。小型働きアリの体長は約8mm、頭の大きな大型働きアリの体長は約12mmで腹部の節には光沢があるがその他には光沢がない。腹部には褐色の短毛が生える。よく似た一回り小さなクロヤマアリとの違いは胸部を側面から見た時にクロオオアリは背線が緩やかな弧をえがく。対してクロヤマアリは背線が二山になるので見分けることができる。

公園や庭などで普通に見られる。日当たりのよい裸地や草地の土中に巣を作り、6月頃に働きアリの倍近い大きさの羽アリが飛び出す。主に昆虫を食べている。

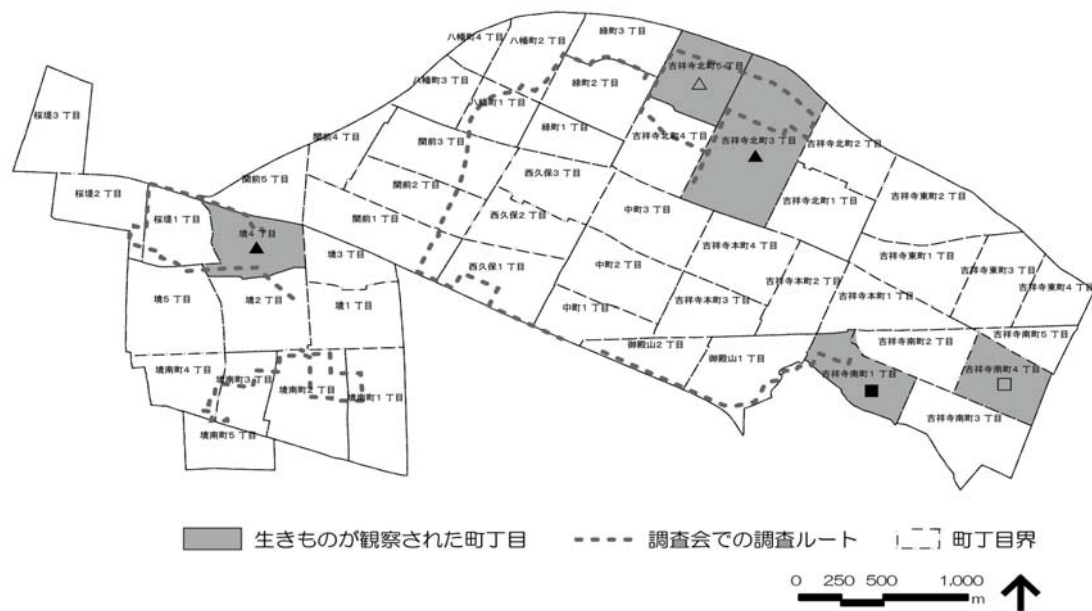
2. 観察された環境区分

①	②	③大木・ ツボ・リクツリ	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
樹林環境	並木環境		生垣環境	公園環境	農地環境	宅地・庭先	水辺環境	ビオトープ
	●		●	●		●	●	

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は 調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
7	19	晴	境4丁目							●			1		●	A
7	19	晴	吉祥寺北町3丁目					●			●		1		●	D
7	20	晴	吉祥寺北町5丁目		●								複			調査協力員
9	24	晴	吉祥寺南町1丁目				●						複			専門調査員
11	1	-	吉祥寺南町4丁目							●			複			調査協力員

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9匹）、●（のべ10匹以上）	
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9匹）、○（のべ10匹以上）	
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9匹）、▲（のべ10匹以上）	●
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9匹）、△（のべ10匹以上）	●
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9匹）、□（のべ10匹以上）	●
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9匹）、★（のべ10匹以上）	
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9匹）、☆（のべ10匹以上）	

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.	種名	分類	科・属
60	ゴマダラカマキリ	昆虫類	カミキリムシ科

1. 調査対象種の特徴

体長25～35mm、黒地の体に白点が散らばる。触角は体長より長く黒と青灰色の斑模様。脚も同様の斑であるが青味が強い。

成虫は6～8月に発生し、イチジク、クワ、ミカン、ヤナギ等の葉や樹皮を食べ、幼虫はこれら植物の樹内を食べる。食樹の種類が多いため都会内の公園でも見ることがある。

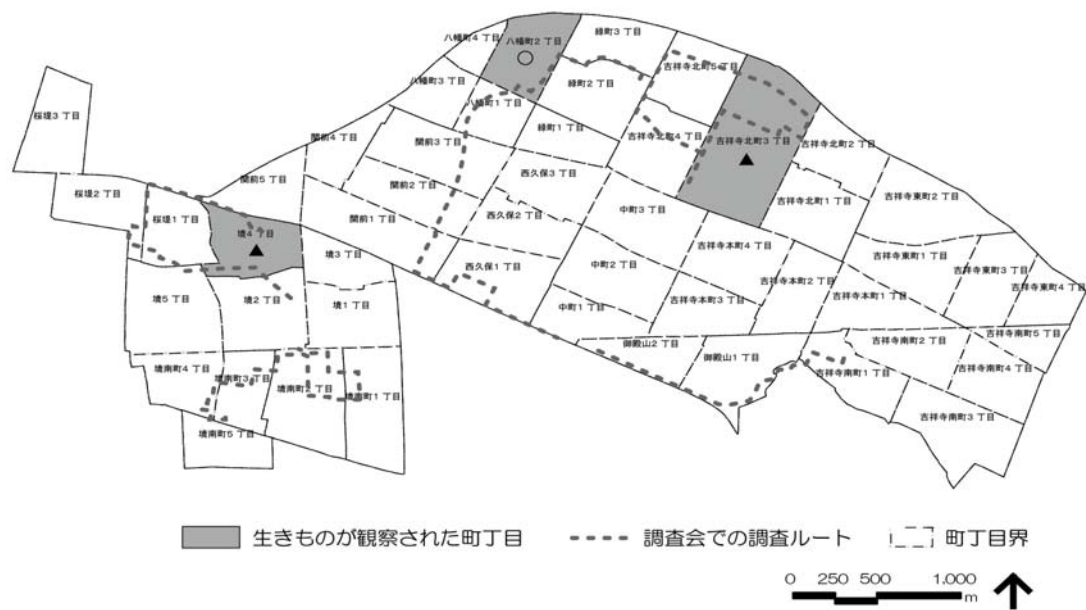
2. 観察された環境区分

①	②	③大木・ ツバキ・リクツリ	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
樹林環境	並木環境		生垣環境	公園環境	農地環境	宅地・庭先	水辺環境	ビオトープ
				●		●	●	

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は 調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
6	26	-	八幡町2丁目							●			1			調査協力員
7	19	晴	境4丁目							●			1		●	A
7	19	晴	吉祥寺北町3丁目					●			●		1		●	D

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9匹）、●（のべ10匹以上）	
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9匹）、○（のべ10匹以上）	●
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9匹）、▲（のべ10匹以上）	●
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9匹）、△（のべ10匹以上）	
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9匹）、□（のべ10匹以上）	
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9匹）、★（のべ10匹以上）	
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9匹）、☆（のべ10匹以上）	

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.	種名	分類	科・属
61	ハグロトンボ	昆虫類	カワトンボ科

1. 調査対象種の特徴

体長57～67mm、翅が黒く雄は成熟すると胸・腹部が金緑色に輝く。雌は翅が茶色味をおび、胸や腹はく艶がない。河川中流から下流の流れの緩やかで挺水植物や沈水植物の多い場所に棲む。

6～7月に羽化し未成熟個体は河川から離れ、林内で成熟するまで暮らす。成虫は飛んでる小昆虫を捕らえて食べ、幼虫は小魚や水生小昆虫を捕らえて食べる。

2. 観察された環境区分

①	②	③大木・ ツボ・リクツリ	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
樹林環境	並木環境		生垣環境	公園環境	農地環境	宅地・庭先	水辺環境	ビオトープ
	●			●		●	●	

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は 調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
5	22	晴	境4丁目					●					1			調査協力員
7	7	晴	吉祥寺北町5丁目		●								1			調査協力員
8	14	晴	関前1丁目								●		2			調査協力員
8	2	曇	吉祥寺南町1丁目					●			●		2			調査協力員
8	25	晴	吉祥寺南町3丁目					●			●		4			調査協力員
8	25	晴	吉祥寺南町3丁目					●			●		2			調査協力員
9	15	-	境4丁目							●			1			調査協力員
9	17	晴	吉祥寺南町3丁目					●			●		2			調査協力員
9	17	晴	吉祥寺南町3丁目					●			●		1			調査協力員
9	17	晴	吉祥寺南町3丁目					●			●		1			調査協力員
10	8	晴	緑町2丁目		●								1			調査協力員

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9匹）、●（のべ10匹以上）	
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9匹）、○（のべ10匹以上）	●
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9匹）、▲（のべ10匹以上）	
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9匹）、△（のべ10匹以上）	●
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9匹）、□（のべ10匹以上）	●
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9匹）、★（のべ10匹以上）	
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9匹）、☆（のべ10匹以上）	

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.	種名	分類	科・属
62	ベニシジミ	昆虫類	シジミチョウ科

1. 調査対象種の特徴

開けた明るい草地で見られる赤い小さなチョウ。前翅長13~19mm、前翅の表裏には黒褐色の斑点があり、後翅の表は黒褐色、裏は銀灰色。春に見られる個体は赤色が強く、秋に見られる個体は黒っぽい。幼虫はスイバやギシギシ等を食べ、幼虫で冬越しする。

2. 観察された環境区分

①	②	③大木・ ツバキ・リンドウ	④生垣環境	⑤公園環境	⑥農地環境	⑦宅地・庭先	⑧水辺環境	⑨ビオトープ
	●		●	●	●	●	●	

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は 調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
8	8	晴	関前3丁目					●					2			調査協力員
8	10	雨	吉祥寺南町4丁目						●				1			調査協力員
8	17	晴	関前5丁目						●				1	体の中心が黒っぽい		調査協力員
8	19	晴	吉祥寺南町4丁目						●				1			調査協力員
8	20	晴	吉祥寺北町4丁目				●						2			調査協力員
8	22	晴	関前3丁目					●					1			調査協力員
8	30	-	吉祥寺南町4丁目							●			3			調査協力員
9	2	晴	吉祥寺北町5丁目				●						1			調査協力員
9	4	晴	緑町1丁目		●								2			調査協力員
9	7	晴	関前5丁目						●				1			調査協力員
9	9	晴	吉祥寺北町5丁目		●								2			調査協力員
9	11	晴	吉祥寺東町1丁目							●			1			調査協力員
9	18	-	関前1丁目								●		1			調査協力員
9	18	晴	吉祥寺北町5丁目		●								2			調査協力員
9	20	曇	吉祥寺南町1丁目					●					1			調査協力員
9	22	晴	吉祥寺東町1丁目				●						2			調査協力員
9	25	雨	吉祥寺東町2丁目							●			1			調査協力員
9	26	晴	西久保3丁目							●			2			調査協力員
10	15	晴	関前5丁目							●			2			調査協力員
10	18	晴	吉祥寺東町1丁目							●			1			調査協力員
10	23	晴	吉祥寺東町1丁目							●			1			調査協力員
11	3	晴	吉祥寺南町4丁目						●				1			調査協力員
11	3	晴	吉祥寺南町4丁目							●			1			調査協力員
11	15	曇	吉祥寺東町1丁目							●			1			調査協力員

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9匹）、●（のべ10匹以上）	
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9匹）、○（のべ10匹以上）	
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9匹）、▲（のべ10匹以上）	
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9匹）、△（のべ10匹以上）	●
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9匹）、□（のべ10匹以上）	●
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9匹）、★（のべ10匹以上）	
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9匹）、☆（のべ10匹以上）	

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.	種名	分類	科・属
63	クマゼミ	昆虫類	セミ科

1. 調査対象種の特徴

体長60～70mm、体は黒く艶があり、羽化直後は金色の毛で覆われている。翅は透明。7～8月に羽化する。温暖な地域の平地や低山地に生息し、関東では生息地域に限られる。雄は日の出から正午までの午前中にシャアシャア・・・と鳴く。

幼虫はセンダン、アオギリ等の特定の樹木に多く付く。写真は雄であるが体型は雌も大きくは変わらない。

2. 観察された環境区分

① 樹林環境	② 並木環境	③大木・ ツバキ・リクツリ	④ 生垣環境	⑤ 公園環境	⑥ 農地環境	⑦ 宅地・庭先	⑧ 水辺環境	⑨ ビオトープ

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
													(なし)			

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9匹）、●（のべ10匹以上）	
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9匹）、○（のべ10匹以上）	
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9匹）、▲（のべ10匹以上）	
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9匹）、△（のべ10匹以上）	
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9匹）、□（のべ10匹以上）	
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9匹）、★（のべ10匹以上）	
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9匹）、☆（のべ10匹以上）	

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.	種名	分類	科・属
64	ヒグラシ	昆虫類	セミ科

1. 調査対象種の特徴

体長23~40mm、体は雄の腹部が長く雌は一般的で、雄雌とも茶褐色の地に緑色と黒色の斑紋があるが色彩変化が多く見られる。翅は透明で淡黒褐色紋がある。

6月下旬~8月に羽化し、時にはスギ林等で大量発生する。写真は雌で、雄の腹部は雌よりも長くなる。幼虫はスギやヒノキ等の針葉樹の根から汁を吸う。

2. 観察された環境区分

① 樹林環境	② 並木環境	③大木・ ツボ・リクツリ-	④ 生垣環境	⑤ 公園環境	⑥ 農地環境	⑦ 宅地・庭先	⑧ 水辺環境	⑨ ビオトープ

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
													(なし)			

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9匹）、●（のべ10匹以上）	
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9匹）、○（のべ10匹以上）	
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9匹）、▲（のべ10匹以上）	
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9匹）、△（のべ10匹以上）	
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9匹）、□（のべ10匹以上）	
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9匹）、★（のべ10匹以上）	
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9匹）、☆（のべ10匹以上）	

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.	種名	分類	科・属
65	オオシオカラトンボ	昆虫類	トンボ科

1. 調査対象種の特徴

腹長33~37mm、雌雄共ほぼ同じ大きさ。成熟した雄の体は青灰色で腹部の先端が黒い。雌と未成熟の雄は黄色に黒の斑模様で、雌雄共に翅は透明で後翅の基部は黒い。よく似たシオカラトンボとは眼の色が濃く黒く見え、シオカラトンボは空色の眼なので区別はしやすい。

平地や丘陵地、低山地の周囲に樹林のある池沼などに生息する。シオカラトンボより薄暗い小水域を好む。5月中旬から羽化し10月末まで見られる。下側の写真は羽化したての雄。

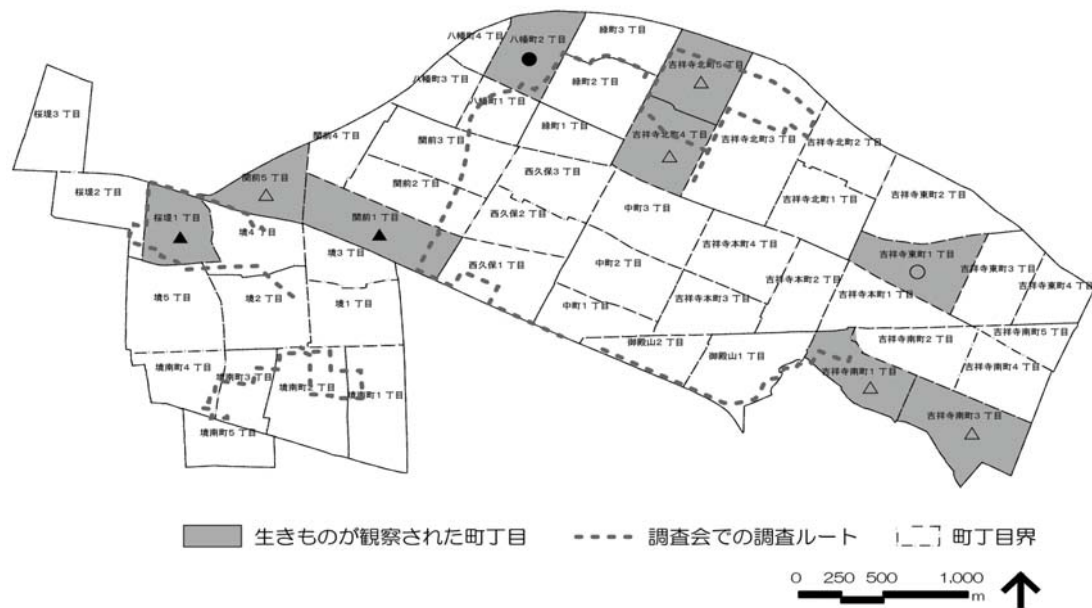
2. 観察された環境区分

①	②	③大木・ ツボ・リクツリ	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
樹林環境	並木環境		生垣環境	公園環境	農地環境	宅地・庭先	水辺環境	ビオトープ
●	●			●	●	●	●	●

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は 調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
5	22	晴	八幡町2丁目	●				●					1		●	C
7	15	晴	吉祥寺東町1丁目							●			1			調査協力員
7	19	晴	桜堤1丁目							●			1		●	A
7	19	晴	関前1丁目		●								複		●	C
7	22	晴	吉祥寺北町5丁目		●								1	プール床面の水たまり場		調査協力員
7	27	晴	関前5丁目						●				1			調査協力員
8	2	曇	吉祥寺南町1丁目					●			●		1			調査協力員
8	6	-	吉祥寺南町3丁目							●			1			調査協力員
8	21	晴	吉祥寺北町4丁目									●	2			調査協力員
8	25	晴	吉祥寺南町3丁目					●			●		1			調査協力員

4. 確認された場所（町丁目ごと）



凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9匹）、●（のべ10匹以上）	●
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9匹）、○（のべ10匹以上）	●
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9匹）、▲（のべ10匹以上）	●
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9匹）、△（のべ10匹以上）	●
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9匹）、□（のべ10匹以上）	
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9匹）、★（のべ10匹以上）	
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9匹）、☆（のべ10匹以上）	

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認

no.	種名	分類	科・属
66	オンブバッタ	昆虫類	オンブバッタ科

1. 調査対象種の特徴

成体雄の体長は約20mm、雌の体長は約40mmで、体の色は褐色から緑色までの間の色々な段階の色調がある。ショウリョウバッタに似るが体の大きさがショウリョウバッタよりもとても小さい。体長が重なるオンブバッタの雌とショウリョウバッタ雄とではオンブバッタの方が体幅が太いことや後ろ足が短い等の違いがある。

畑や空き地、公園等で多いが日当たりのよい開けた場所よりも林縁部や構築物の脇など半日陰の場所によく見られる。これは食べ物の違いによるもので、イネ科ではない普通の植物の葉を好むからで、公園では日陰に生えるイノコズチの葉をよく食べている。

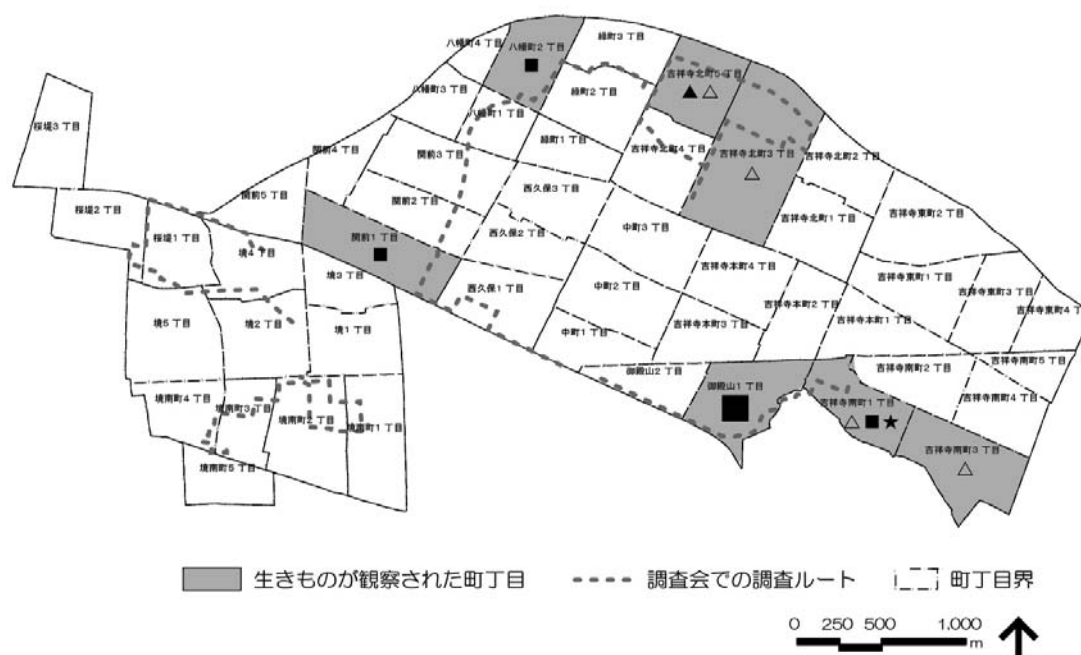
2. 観察された環境区分

①	②	③大木・ シボ・リックツリ	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
樹林環境	並木環境		生垣環境	公園環境	農地環境	宅地・庭先	水辺環境	ビオトープ
●	●		●	●	●	●		

3. 観察記録

月	日	天候	町丁目	環境区分									数	備考	調査会	記入者又は 調査ルート
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
7	19	晴	吉祥寺北町5丁目	●									1		●	D
7	20	晴	吉祥寺北町3丁目						●				1			調査協力員
9	9	晴	吉祥寺北町5丁目		●								2			調査協力員
9	20	曇	吉祥寺南町1丁目					●					1			調査協力員
9	15	曇	吉祥寺南町3丁目							●			1			調査協力員
9	24	晴	吉祥寺南町1丁目				●						2			専門調査員
9	29	晴	吉祥寺南町1丁目					●					1			専門調査員
10	1	晴	御殿山1丁目	●									複			専門調査員
10	7	晴	八幡町2丁目					●					1	♂		専門調査員
10	7	晴	関前1丁目		●								1	♂		専門調査員
11	27	晴	吉祥寺南町1丁目	●						●			1		●	E

4. 確認された場所（町丁目ごと）

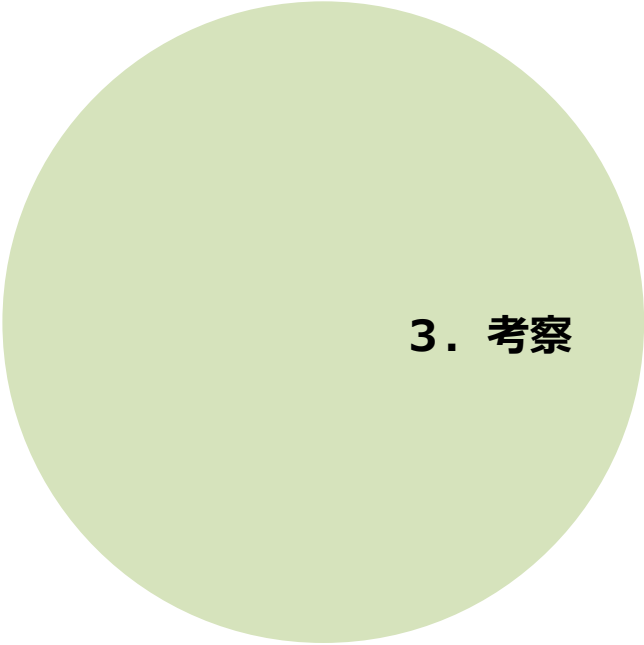


凡例

調査会・期間		確認の有無
第1回調査会 2010（平成22）年5月22日	●（のべ1～9匹）、●（のべ10匹以上）	
観察記録ノート 5/22-7/18	○（のべ1～9匹）、○（のべ10匹以上）	
第2回調査会 2010（平成22）年7月19日	▲（のべ1～9匹）、▲（のべ10匹以上）	●
観察記録ノート 7/19-9/24	△（のべ1～9匹）、△（のべ10匹以上）	●
専門調査員による補完調査 （第3回調査会中止のため）9/18-10/27	■（のべ1～9本）、■（のべ10本以上）	●
観察記録ノート 9/25-11/26	□（のべ1～9匹）、□（のべ10匹以上）	
第4回調査会 2010（平成22）年11月27日	★（のべ1～9匹）、★（のべ10匹以上）	●
観察記録ノート 2010/11/27-2011/1/31	☆（のべ1～9匹）、☆（のべ10匹以上）	

※町丁目ごと

●：確認、無印：未確認



3. 考察

3. 考察（成果と課題）

1) 調査結果について

（1）調査場所と時期・時間について

《成果》

①市域全体を調査対象にすることができた

調査は、専門家のみならず市民も参加することから、調査会は事務局が事前に調査ルートを決めたが、調査会以外での調査協力員のフォローにより、調査範囲は市域全体を対象とすることができた。また、春・夏・秋・冬を通して調査を実施することができた。

②調査協力員が安全に調査に参加することができた

調査会当日は、日射しが強い真夏や寒さの厳しい冬など、過酷な調査環境下を避けて開催した。また、調査ルートごとに事務局スタッフを2人ずつ配置したことにより、調査に慣れない市民も安全に調査に参加することができた。

《課題》

①調査データが調査ルート上に偏在した

調査データは、調査会当日だけでは十分に結果が得られないため、その他の日は調査協力員個人で調査し、記録に反映できるよう観察記録ノートの配布・回収を行った。しかし、調査会と調査会の間の期間が長く、さらには30人程度の調査協力員だけでは個人の負担が大きいため、調査会実施日ほどのデータを収集することが出来なかった。結果として、調査会で収集した調査ルート上にデータが偏在した。

より多くの調査結果を広く収集するためには、参加者募集方法の改善が必要である。例えば、調査参加者を市内の小・中学校単位で募集することで、市域全体を調査対象地にできるだけなく、本市の未来を担う子どもたちの生物多様性や環境への意識を高めることができる。

杉並区で、5年毎に行われている「杉並区自然環境調査」の中では、調査場所や時間を限定せずに、調査項目は場所と生きものだけのシンプルな「身の回り自然アンケート」を継続的に実施している。また、夏の昆虫とセミの抜け殻に特化したアンケート調査を行うなど、並行して様々な手法の調査を実施しており、市民参加者数200名を越える実績を残している。

②調査データ未回収の時期・時間が存在した

調査会は、本業務期間に合わせて春の調査を5月以降に実施している。また、調査協力員が安全に安心して参加できるよう、調査会は日中に実施した。そのため、3月下旬～4月初旬にしか観察されない生きものや、夜間に活動する生きもののデータを収集する

機会がなかった。

今後は、調査への参加者募集やデータ集計を行う期間を除いても、調査期間を1年通して確保することが必要である。

(2) 調査区分と調査場所ごとに見られた生きものについて

《成果》

①武蔵野市独自の環境区分を設定することができた

環境区分は、既往調査結果や武蔵野市の環境や生物に詳しい学識経験者の意見をふまえ、都市型の環境である武蔵野市に相応しいものを、独自に設定することができた。

②調査員が事前に調査すべき環境の特性について把握することができた

環境区分は、調査説明会以前に設定し、専門調査員のみならず調査協力員も事前に説明できたことから、すべての参加者が調査すべき環境の特性について理解することができた。

③町丁目ごとに見られる生きものを把握することができた

調査記録は、調査場所の町丁目の他、施設名などを記載できるように記録シートを作成した。これにより、現場で町丁目の判断がつかずに記入漏れがあった場合も、観察された場所を特定できる情報がシートに記載されており、観察記録に情報漏れを防ぐことができ、確実にデータを入力することができた。

《課題》

①環境区分の判定が困難であった

町丁目を単位として調査結果を記録したため、データ集計時は環境区分を明確にすることは非常に困難であった。また、市の緑の状況調査である自然環境等実態調査の直近データが平成17年度であったため、環境区分を正確に把握することはできなかった。

今後は、市域全体を対象とした各環境区分を示した資料の精度を上げ、その資料を使いながら調査を行う必要がある。また、環境区分ごとの傾向を把握する場合には、調査協力員でも確実に記録できるよう、1)(2)《成果》③のような記入シートや記入手順の工夫が必要である。

(3) 調査対象種について

《成果》

①武蔵野市独自の調査対象種を設定することができた

調査対象種は、これまでの調査結果や武蔵野市の環境や動植物に詳しい学識経験者の意見をふまえて作成したことにより、大方の種を観察することができた。

②調査対象種以外のデータを数多く収集することができた

調査対象種数は、調査協力員でも生きものの同定をしやすい、確実に調査結果が集まるよう、66 種に厳選した。しかし、本調査では、調査対象種に限らずその他の生きものの記録もつけたことから、調査対象種外のデータを数多く収集することができた。

今後、本調査結果は、調査対象種の見直しなどに活用することができる。

《課題》

①夜行性の生きものの調査結果が欠如した

1) (1) 《課題》①で述べたように、夜間に活動する生きものは、調査会の時間帯では観察することができなかったため、日中でも確認できる同定方法の指定、調査時間帯の早朝・夜間への拡大など、調査方法の見直しが必要である。

②生きものの観察のしやすさから観察記録数が分類により偏在した

調査対象となる生きものは、機敏に動き回る生きものから静止したままである生きものまで、その特性により観察のしやすさが大きく異なる。とりわけ、木本や草本については、移動しないことから調査協力員でも容易に観察することができ、結果、観察された種数は木本と草本が多く見られた。

今後は、1) (1) 《課題》①で述べたように、調査会の開催のほか、アンケート調査の実施など、様々な手法を並行して実施し、分類にかかわらず調査記録数を確保する必要がある。

2) 調査の企画・運営について

(1) 調査協力員（調査参加者）の募集

《成果》

①市内全域から調査協力員が集まった

調査協力員は、平成 23 年度 3 月 15 日号の市報で募集するとともに、ホームページへの掲載や公共施設でちらしを配布し募集した。また、調査の準備として実施した「生きものの目撃情報」の情報募集シートでも調査を実施する旨及び調査協力員募集を行った。これにより、環境や生きものに興味のある参加者を本市全域から集めることができた。

《課題》

①調査への参加目的が伝わりにくかった

市民の参加者の中には、調査協力員という名称から、報酬を期待して参加した人がいた。

今後は、市民に誤解を防ぐための調査員名称への見直しや、参加目的・意義の繰り返し説明が必要である。

(2) 説明会・調査会

《成果》

①説明会や調査会当日のレクチャーにより円滑に調査を実施できた

説明会では、調査目的や方法の説明を行うだけでなく、質疑応答時間を設けることでスムーズに調査日を迎えることができた。また、調査会当日は、専門調査員及び事務局スタッフ（市職員・委託先会社）による説明・レクチャーを行った上で調査を開始し、さらには調査中にも随時質問等を受け付けたことから、調査を円滑に進めることができた。

②各調査会後発行のたよりで市民へ調査結果をフィードバックできた

調査会後参加者へ、調査ルートごとの記録や当日の様子を、たより形式で報告をすることにより、調査結果をフィードバックすることができた。

③専門調査員の配置により、各分類全般に生きものの観察結果を集められた

各調査ルートに動物の専門家と植物の専門家を配置したことにより、1) (3) ②で述べたように数に偏りがあるものの、各分類全般に生きものの観察結果を集めることができた。また、毎回ほぼ同じ専門調査員が担当することにより、参加者へ季節変化の中の生きものの様子を伝えることができた。

《課題》

①調査協力員同士の意見共有の場がなかった

本年度は調査及び集計スケジュールの関係から、調査ルートをまたいで参加者が交流する機会はなかった。

説明会参加者からの意見にもあったが、市民の環境や生きものに対する意識向上のためにも、今後は年間の活動が終わった後に全参加者が集まり、報告や意見交換をする機会を設ける必要がある。

②専門調査員の配置について

調査ルートによっては、毎回同じ専門調査員が担当することにより、多少見られる生きものに偏りも見られた。しかし、一方で毎回同じ専門調査員から説明を受けたことにメリットを感じている参加者もいた。今後は、専門調査員への協力依頼を早期から行い、事務局で調整を図る必要がある。

(3) データ収集方法（個別の観察記録ノート）

《課題》

1) (1) 《課題》①で述べたように、調査会以外の観察記録を集める目的で調査協力員へデータ収集の協力を求めたが、調査会と調査会の間の一期間に集まる調査結果の総

数が調査会 1 回に集められる数を大きく下回った。

今後は、調査会参加者のみならず、より多くの市民からデータを集められるよう、1)

(1)《課題》①で述べた杉並区の事例などを参考に、呼び掛け範囲の拡大や参加方法の改善が必要である

3) 生きものマップについて

①生きもの調査でのレクチャー等を反映した観察ポイントの掲載

生きものマップでは、本市の歴史や調査対象種 66 種の紹介の他、本調査を踏まえて、「水辺で見られる生きもの…アメンボ、オオシオカラトンボなどのトンボ類」「社寺林…イヌシデ、タブノキ、シラカシ、スダジイ」「雑草と呼ばれ、よく見る野草…イヌタデ、ヘビイチゴ、キンミズヒキ」等、生きもの観察を行う際のポイントごとに生きものをまとめて掲載した。また、それらの生きものが見られる市内の場所も記載したことで、個人での生きもの観察がしやすくなる。

②市域全体の典型的な環境を把握することができる

本調査でも使用した 9 つの環境区分のうち、生垣環境を除く 8 環境区分について、市域全体で把握できるマップを掲載したことから、生きものの生息生育する環境を知ることができる。

4) 本調査データの活用方法について

①調査結果をビジュアル的に説明

本調査で観察された調査対象種ごとに確認された町丁目・環境・個体数の量を整理した。また、報告書には一目で市内のどこでどれくらい生きものが確認されたかビジュアル的に把握してもらえるよう地図に示した。

②環境区分との照合による自然度評価

調査対象種の生息環境について、資料の環境区分図と照合し確認することができる。今後、環境区分図あるいは自然度評価がわかるような地図情報とその調査結果を照合することで、町丁目ごとに生物生息状況を含めた自然度の評価を行うことが可能である。

③環境保全の施策への反映

市では、武蔵野市環境基本計画に、環境の保全に向けた、目標及び施策の方向を定めている。今回の調査結果を受け、第三期武蔵野市環境基本計画に、計画的な生物生息状況調査の実施に向けた検討を進めるとともに、本調査結果を生物多様性についての情報提供及び啓発に活用することを盛り込んだ。

ところで、市の基礎統計や近隣都市との比較のほか、生活環境に関わる様々なデータを地図情報として視覚的に表現した市政情報集として武蔵野市地域環境指標がある。本

調査のデータは、4)《提言》①②に示したように地図情報としての性質もあり、地域生活環境指標に反映することで、政策的な評価の対象または政策立案の際の参考資料とすることができる。

④生物多様性保全のための方針の検討

都市において、生きものの生息状況は、人の生活やコミュニティと関係性が深く、人と生きものの共生関係の上に成り立っている。武蔵野市で、自然とどのように関わり、人と生きものの共生関係をどのように築いていくか、本調査結果により知見を得られた。今後、その知見は生物多様性保全のためのプロジェクトの基礎となる。

5) 今後の生物生息状況調査への提言

上記の成果と課題から、今後の生物生息状況調査のため、以下のとおり提言する。

《調査項目・方法の再検討》

①調査目的に合わせて記録シートを工夫する。

(例：環境区分ごとの傾向を把握ために、環境区分を明確に記録するための調査シートへ改変)

②町丁目だけでなく環境区分を確認できる資料を用意する。

③調査時期・時間の拡大により、調査結果の欠如を防ぐ。

④本調査結果を活用して、調査対象種を見直す。

《調査の企画・運営》

①市内小・中学校への呼び掛け等、調査参加者を拡大するための募集方法を採用する。

②調査データ数を増やすために、アンケート調査など様々な調査手法を取り入れる。

③継続的な調査の実施により、市民参加者数を拡大させる。

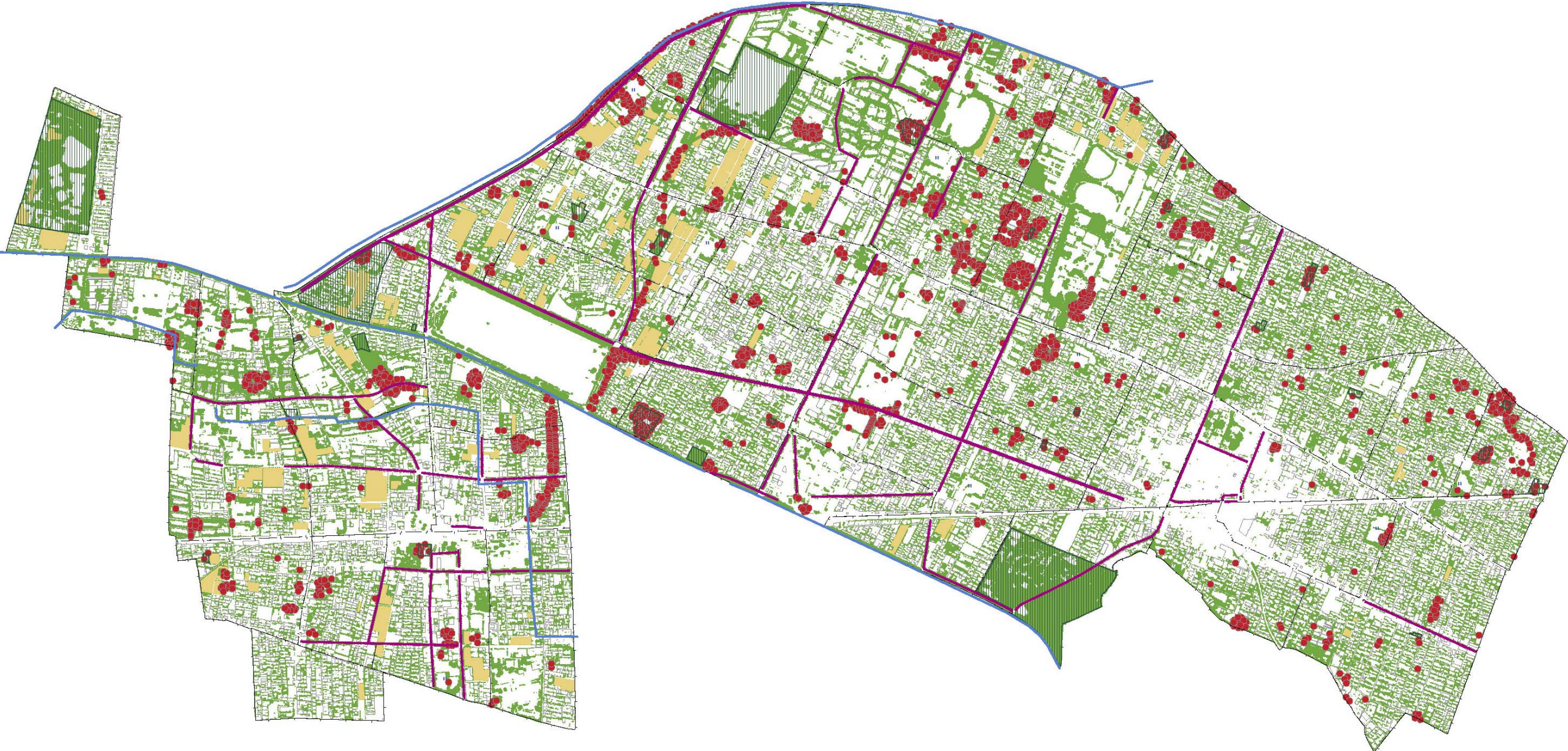
④調査期間は、調査に向けた準備期間及びデータ集計期間を含めず1年間確保するため、事業期間は最低2年とする。

⑤年間の調査を終えてからの報告会の開催など調査スケジュールを見直す。

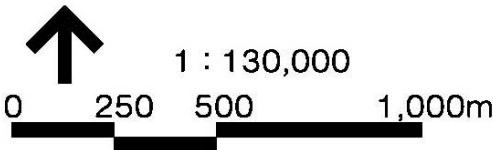


- 資料 -

資料 1 環境区分図



- 凡例
- | | |
|------------|-------|
| 樹林環境 | 水辺環境 |
| 並木環境 | ビオトープ |
| 大木・シンボルツリー | 行政界 |
| 公園環境 | 町丁目界 |
| 農地環境 | |
| 宅地・庭先 | |



資料2 武蔵野市生物生息状況調査スタッフ

公募による調査協力員と専門家である専門調査員とで、調査を実施した。調査の企画や運営にあたっては、武蔵野市環境市民会議にアドバイスをいただくとともに、株式会社タム地域環境研究所に業務を委託した。

1) 調査協力員

赤松 不二子（関前）
安部 彰仁（吉祥寺本町）
石黒 愛子（緑町）
市川 直二（吉祥寺北町）
糸井 守（吉祥寺南町）
井部 文哉（吉祥寺東町）
大野 朋子（吉祥寺東町）
大平 敦子（市外）
川村 陸明（吉祥寺南町）
小林 恵美子（御殿山）
小峰 光弘（吉祥寺東町）
坂本 アキ子（緑町）
佐口 幸太郎（境）
佐口 隆成（境）
渋谷 絵里（境）
鈴木 寔男（関前）
澄川 沃（吉祥寺北町）
瀬口 玲子（境）
坪田 勝典（西久保）
友成 穂秀（吉祥寺東町）
鳥海 京子（吉祥寺南町）
中嶋 隆（境）
中條 颯人（吉祥寺北町）
福田 薫（桜堤）
保母 未来（関前）
三木 由里子（境南町）
渡辺 寛明（中町）
匿名2名

2) 専門調査員

井口 豊重
梅田 彰
遠藤 博
川崎 勝悟
小林 聡
小町 友則
白田 紀子
杉山 顕一
須田 孫七
田島 清志
仲田 晶子
中西 由美子
深串 泰光
山崎 誠

3) 企画運営支援

武蔵野市環境市民会議
株式会社タム地域環境研究所

4) 主催

武蔵野市環境生活部環境政策課

資料3 調査対象種一覧

分類	調査対象種	
木本	1	アカマツ
	2	スギ
	3	オニグルミ
	4	イヌシデ
	5	コナラ
	6	クヌギ
	7	アカガシ
	8	ノイバラ
	9	カラスザンショウ
	10	アカメガシワ
	11	ヌルデ
	12	ゴンズイ
	13	ミズキ
	14	エゴノキ
	15	イボタノキ
	16	クサギ
	17	ガマズミ
	18	ニワトコ
草本	19	ツリガネニンジン
	20	カラスウリ
	21	タチツボスミレ
	22	メドハギ
	23	クズ
	24	ヘビイチゴ
	25	キンミズヒキ
	26	クサノオウ
	27	ムラサキケマン
	28	イヌタデ
	29	ミズヒキ
	30	ネジバナ
	31	シュンラン
	32	ノカンゾウ
	33	ノビル
	34	ウバユリ
	35	ヤブラン
	36	チカラシバ

分類	調査対象種	
ほ乳類	37	ホンドタヌキ
	38	アブラコウモリ
	39	アズマモグラ
鳥類	40	カルガモ
	41	オナガ
	42	カワセミ
	43	コゲラ
	44	ハクセキレイ
	45	ツバメ
	46	スズメ
	47	キジバト
	48	ウグイス
	49	メジロ
は虫類	50	ニホンカナヘビ
	51	ニホントカゲ
	52	アオダイショウ
	53	ニホンヤモリ
両生類	54	ニホンアカガエル
	55	アズマヒキガエル
魚貝類	56	ヒダリマキマイマイ
	57	ミスジマイマイ
昆虫類	58	クロアゲハ
	59	クロオオアリ
	60	ゴマダラカミキリ
	61	ハグロトンボ
	62	ベニシジミ
	63	クマゼミ
	64	ヒグラシ
	65	オオシオカラトンボ
	66	オンブバッタ

出典：武蔵野市環境基本計画
(平成11年)

- …武蔵野市における指標生物
- …武蔵野市における姿を消しつつある生物（今後見られなくなる可能性が高い種）
- …武蔵野市における姿を消しつつある生物（今後減少が予想される種）

資料4 対象種外リスト

2. 鳥類	エナガ	6. 昆虫類	シジミチョウ	7. 木本	イヌガヤ
	オオバシ		シデムシ		イヌツゲ
	オシドリ		シャクトリムシ		イヌマキ
	オナガガモ		ジャコウアゲハ		イボタノキ
	カラス類		ジュウニホシテントウ		イロハモミジ
	カワラヒワ		ショウジョウトンボ		ウキツリボク
	キツツキ		スジグロシロチョウ		ウコギ
	キンクロハジロ		スジグロモンシロ		ウバギリ
	ゴイサギ		スズメバチ		ウバメガシ
	コサギ		セイヨウミツバチ		ウバメガシワ
	シジュウカラ		ダンゴムシ		ウメ
	ツグミ		ダンダラテントウ		ウメモドキ
	ドバト		チャドクガ		エノキ
	ハシビロガモ		ツマグロオオヨコバイ		エンジュ
	ハシブトガラス		ツマグロヒョウモンチョウ		オオバクロモジ
	ヒヨドリ		ツユムシ		カエデ類
	ホシハジロ		トウキョウヒメハンショウ		カキ
	ホトトギス		ナナフシ		ガクアジサイ
	ムクドリ		ナナフシモドキ		ガクウツギ
4. 両生類	アマガエル		ナナホシテントウ		カクレミノ
	オタマジャクシ		ナミアゲハ		カジノキ
5. 魚貝類	キセルガイ		ナミテントウ		カシワ
6. 昆虫類	アオスジアゲハ		ナミヒョウモン		カヤ
	アオバハゴロモ		ニイニイゼミ		カラスザンショウ
	アカスジキンカメムシ		ニジュウヤホシテントウ		カラタチ
	アカボシゴマダラ		ニホントビナナフシ		カリン
	アゲハチョウ		ハナアブ		キャラボク
	アゴ		ハナムグリ		キョウチクトウ
	アブラゼミ		ハラグロオオテントウ		キンモクセイ
	アブラムシ		ヒラタアブ		クサソテツ
	アメンボ類		フタホシテントウ		クスノキ
	アリ		ミンミンゼミ		クチナシ
	イノコヅチカメコノハムシ		ムラサキシジミ		クマシデ
	ウラギンシジミ		モンシロチョウ		クマノミズキ
	オオカマキリ		ヤブヤンマ		グミ
	オオクロアリ		ヤマトシジミ		クリ
	オオスカシバ		ヨツボシテントウ		クロガネモチ
	オケラ		ルリシジミ		クロマツ
	ガガンボ	7. 木本	アオキ		クロモジ
	カブトムシ		アオギリ		クワ
	カマキリ		アカシデ		ケヤキ
	カラスアゲハ		アケビ		ゴールドクレスト
	キアゲハ		アジサイ類		コブシ
	キタキチョウ		アズマスギ		コボタンヅル
	キチョウ		アズマナギサ		コムラサキシキブ
	クヌギハケタマバチ		アセビ		ザイフリボク
	クロウリハムシ		アブチロン		サカキ
	クロスジギンヤンマ		アブラチャン		サクラ類
	クロマルエンマコガネ		アベリア (ハナソノツクバネウツギ)		ザクロ
	クロヤマアリ		イイギリ		サザンカ
	コシアキトンボ		イタヤカエデ		サネカズラ (ピナンカズラ)
	コジャノメ		イチジク		サルスベリ
	コミスジ		イチヨウ		サルトリイバラ
	シオカラトンボ				サワグルミ

7. 木本	サワラ	7. 木本	ヤマボウシ
	サンゴジュ		ロウバイ
	サンシュ	8. 草本	アカバナ
	サンショウ		アスタバ
	シイ		アヤメ
	シキミ		イタドリ
	シダレザクラ		イモカタバミ
	シナノキ		イワガラミ
	シュロ		オオバコ
	ショウノウ		オオフサモ
	シラカシ		カタバミ
	シロダモ		カラスノエンドウ
	シロヤマブキ		カラスビシャク
	スイカズラ		カラスムギ
	スダジイ		カラムシ
	セイヨウイボタノキ		カンアオイ
	センダン		キシヨウブ
	センリョウ		キュウリグサ
	ソメイヨシノ		キンラン
	ソヨゴ		クサフジ
	タブノキ		クジャクシダ
	タマアジサイ		コヒルガオ
	タラノキ		ザゼンソウ
	タラヨウ		シライトソウ
	チャノキ		シロツメクサ
	ツタsp		スギナ
	ツツジ		セイヨウタンポポ
	ツバキ		ダイコンソウ
	テイカカズラ		タケニグサ
	トウカエデ		チヂミザサ
	ドウダンツツジ		ツメクサ
	トウネズミモチ		ナガミヒナゲシ
	トサミズキ		ニリンソウ
	トチノキ		ハルジオン
	ナギ		ヒナゲシ
	ナツツタ		ヒメジオン
	ナツツバキ		ヒルガオ
	ネズミモチ		ミズバショウ
	ハナミズキ		ムサシアブミ
	ヒイラギモクセイ		ムシトリナデシコ
	ヒノキ		ムラサキシキブ
	ヒマラヤスギ		ヤブガラシ
	ヒメカンスゲ		ヤブカンゾウ
	ピラカンサ		ユウゲショウ
	マサキ		レンゲショウマ
	マテバシイ	9. クモ類	ギンメッキゴミグモ
	マユミ		ハナグモ
	マンサク		
	ミズキ		
	ムクノキ		
	ムクロジ		
	メグスリノキ		
	ヤマアジサイ		
	ヤマクワ		

身近な生きものの生息状況調査報告書

平成 2 4 年 3 月 発行

武蔵野市 環境生活部 環境政策課

〒180-8777 武蔵野市緑町 2-2-28

TEL 0422-60-1841 Fax 0422-51-9197

E-mail sec-kankyou@city.musashino.lg.jp

※詳細な調査記録は環境政策課で資料として保存しています。

